

**カンボジア王国**  
**政府統計能力向上プロジェクト**  
**フェーズ3**  
**中間レビュー調査報告書**

平成 25 年 2 月  
( 2013 年 )

**独立行政法人国際協力機構**  
**産業開発・公共政策部**

産 公
J R
13-016

**カンボジア王国**  
**政府統計能力向上プロジェクト**  
**フェーズ3**  
**中間レビュー調査報告書**

平成 25 年 2 月  
( 2013 年 )

**独立行政法人国際協力機構**  
**産業開発・公共政策部**

## 序 文

カンボジア王国政府の要請に基づき、日本国政府が「カンボジア政府統計能力向上プロジェクトフェーズ3」を行うことを決定したのに伴い、当機構は、2010年10月1日から2015年3月31日までの予定で本技術協力を行っている。

当機構は、2012年12月2日から15日まで中間レビュー調査を実施し、これまでの活動実績、進捗状況について、総合的なレビューを行うとともに、今後の対応等について協議した。

これらのレビュー結果は、ミニッツに取りまとめられ、調査団・カンボジア王国計画省統計局双方の合意の下に、署名交換が行われた。

本報告書は、中間レビュー調査及び協議結果を取りまとめたものであり、今後の技術協力事業を効果的かつ効率的に実施していくための参考として、活用されることを願うものである。

終わりに、これらの調査にご協力とご支援を頂いた関係各位に対し、心から謝意を表するとともに、引き続き本プロジェクトに対する支援をお願い申し上げる次第である。

平成25年2月

独立行政法人国際協力機構  
産業開発・公共政策部長 入柿 秀俊

# 目 次

序 文

目 次

カンボジア地図

写 真

略語一覧

評価調査結果要約表（和文・英文）

第1章 中間レビュー調査の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	2
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	3
1-5 調査方法	4
1-5-1 中間レビューの手順	4
1-5-2 評価設問と指標	5
1-5-3 データ収集・分析方法	5
1-5-4 調査の制約	6
第2章 プロジェクト概要	7
第3章 プロジェクトの実績	8
3-1 投入実績	8
3-1-1 日本側	8
3-1-2 カンボジア側	8
3-2 アウトプット達成状況	9
3-3 プロジェクト目標達成状況	14
3-4 上位目標達成状況	15
3-5 実施プロセス	16
3-5-1 プロジェクト実施	16
3-5-2 関係機関との調整	16
第4章 評価結果	18
4-1 妥当性	18
4-2 有効性	18
4-3 効率性	18
4-4 インパクト	19
4-5 持続性	20

第5章 結 論 .....	21
5-1 プロジェクトの実績 .....	21
5-2 5項目による評価 .....	21
第6章 提言と教訓 .....	22
6-1 提 言 .....	22
6-2 教 訓 .....	23
第7章 PDMの修正 .....	24
第8章 終了時評価に向けた検討事項 .....	25
付属資料	
1. 討議議事録（ミニッツ） .....	29
2. 修正PDM（和文） .....	80
3. 評価グリッド .....	82
4. 政府統計団員所見 .....	88
5. NISからのプロジェクト進捗説明発表資料 .....	90

# カンボジア地図





写 真



2013年中間人口年調査TC会合



計画大臣表敬訪問



コンポントム州計画局訪問



コンポントム州計画局内執務スペース



合同中間レビュー協議JCC



合同中間レビュー協議議事録署名

## 略 語 一 覧

略 語	英 文	和 文
ARO	Assistant Regional Officer	アシスタント・リージョナル・オフィサー
ASEAN	Association of Southeast Asian Nations	東南アジア諸国連合
CTC	Census Technical Committee	センサステクニカル委員会
C/P	Counterpart	カウンターパート
CPI	Consumer Price Index	消費者物価指数
FAO	Food and Agriculture Organization	国連食糧農業機関
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
MDG	Millennium Development Goals	ミレニアム開発目標
NCC	National Census Committee	国家センサス委員会
NIS	National Institute of Statistics	計画省統計局
NSC	National Steering Committee	国家運営委員会
NSDP	National Strategic Development Plan	国家戦略開発計画
OECD-DAC	Development Assistance Committee of the Organization for Economic Cooperation and Development	経済協力開発機構 開発援助委員会
PCC	Provincial Census Committee	州センサス委員会
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
POC	Priority Operating Cost	優先活動手当（プロジェクト手当）
RO	Regional Officer	リージョナル・オフィサー
SASPO	Small Area Statistics Sub-Project Officer	小地域統計サブプロジェクトオフィサー
SCC	Statistics Coordination Committee	統計調整委員会
SCO	Senior Commanding Officer	シニア・コマンディング・オフィサー
Sida	Swedish International Development Agency	スウェーデン国際開発協力庁
SMP	Statistics Master Plan	統計マスタープラン
TOT	Training of Trainers	講師育成研修
TWG	Technical Working Group	テクニカル・ワーキング・グループ
UNFPA	United Nations Population Fund	国連人口基金



## 評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：カンボジア	案件名：政府統計能力向上プロジェクトフェーズ3
分野：統計	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：産業開発・公共政策部 行財政・金融課	協力金額（評価時点）：4.7億円
協力期間： 2010年10月～2015年3月	先方関係機関：計画省統計局
	日本側協力機関：総務省統計局、総務省統計研修所、独立行政法人統計センター
他の関連協力：政府統計能力向上プロジェクト（2005.8～2007.3）、同フェーズ2（2007.4～2010.9）	
<p>1-1 協力の背景と概要</p> <p>カンボジア国（以下「カ」国）は内戦の影響により開発が遅れており、持続的成長と安定した社会の実現するため、グッド・ガバナンスの推進を重点分野に掲げ、開発政策の立案・モニタリングに活用可能な統計情報の整備を進めるべく、政府統計の実施能力向上に取り組んできた。政府統計実施機関である計画省統計局（NIS）は、人口センサス等全数対象調査の経験が不足し、能力向上が課題となっていたため、JICAは2005年以降、「政府統計能力向上プロジェクト」（フェーズ1及び2）を実施し、2008年の人口センサス実施支援を中心にNISの統計能力強化を支援してきた。これら協力によりNISの能力は向上しつつあるが、次回の人口センサス（2018年予定）まで、移転された技術・知識を維持することが課題であった。</p> <p>また、「カ」国政府は同国初の経済センサスの実施を2011年に予定しており、NISが同センサスに必要な専門技術・知識を身につけることが喫緊の課題の一つであった。さらに、地方分権化を推進する「カ」国において州政府による政策立案・モニタリングに統計情報の活用が期待されているが、州計画局による州以下の行政単位の統計結果分析・提供が十分でないため、州政府レベル以下では政府統計情報が殆ど活用されておらず、州計画局の政府統計能力の向上に努める必要があった。</p> <p>上記の課題にかかる「カ」国政府から我が国への要請を受け、JICAは総務省統計局の協力を得て、2010年10月から「政府統計能力向上プロジェクトフェーズ3」を開始した。本プロジェクトは、NISをカウンターパート（C/P）機関として、2010年10月から2015年3月までの4.5年間の予定で実施しており、現在11分野21名の専門家（チーフアドバイザー、調査計画策定、センサス、調査実施監理、集計/プログラミング、集計、審査、地図作成、結果分析、小地域統計、業務調整/本邦研修）を派遣中である。</p>	
<p>1-2 協力内容</p> <p>(1) 上位目標</p> <p>NIS及び州計画局により有用な統計情報が提供され、中央省庁及び州政府の政策、計画、戦略等の立案・実施・モニタリングに活用される。</p> <p>(2) プロジェクト目標</p> <p>NIS及び州計画局が、経済センサス、中間年人口調査、経済統計調査及びその他統計活動を実施する能力が向上する。</p> <p>(3) アウトプット</p> <p>1) NIS及び州計画局が経済センサスをはじめ政府統計調査に関する政府統計の計画、調査</p>	

実施を行えるようになる。

- 2) NISが経済センサスをはじめ政府統計調査における集計・結果表作成を行えるようになる。
- 3) NISが経済センサスをはじめ政府統計調査における結果分析を行えるようになる。
- 4) NISが、経済センサスを始めとする政府統計調査結果の提供および政府統計に関する理解促進を行えるようになる。
- 5) NISが経済センサスに関する小地域統計を実施できるようになる。
- 6) 州計画局が州レベル以下の行政単位における結果表の作成・公表を行えるようになる。
- 7) NIS及び州計画局が政府統計に必要な技術・知識を維持するための、仕組みが構築される。
- 8) NISおよび州計画局の調整能力が向上する。

#### (4) 投入（評価時点）

日本側 : 専門家派遣 延べ26名 (87.46M/M) 機材供与 約9,793千円 (119,262USD)  
研修員受入 延べ6名 第三国技術交換 延べ9名  
ローカルコスト負担

「カ」国側 : C/P配置、プロジェクト事務所提供、ローカルコスト負担、事務所光熱費等

## 2. 評価調査団の概要

調査者	総括： 天津 邦明（JICA行財政・金融課 企画役） 政府統計：小林 良行（総務省統計研修所 調査官） 協力企画：吉田 亮介（JICA行財政・金融課 主任調査役） 評価分析：房前 理恵（一般財団法人国際開発機構）		
調査期間	2012年12月2日～2012年12月15日	調査区分	中間レビュー

## 3. 評価結果の概要

### 3-1 実績の確認

#### 3-1-1 アウトプットの達成度

アウトプット1 : NIS及び州計画局が経済センサスをはじめ政府統計調査に関する政府統計の計画、調査実施を行えるようになる。

NISと州計画局は初の経済センサス、その事後調査を遅滞なく実施している。NISによる経済センサスの調査区の設定は、過去の経験によりほとんど困難はなく、州計画局による初のヴィレッジ地図作成も、プロジェクトでの研修、助言を得て問題なく進んだ。NIS及び州計画局の能力は、経済センサスにおけるこれら経験を通じて向上しており、プロジェクト終了までに専門家の支援なく統計の計画、調査実施を行うことができるレベルに達すると予想される。

アウトプット2 : NISが経済センサスをはじめ政府統計調査における集計・結果表作成を行えるようになる。

NISにとって経済調査データの集計は2011年の経済センサスが初めてであり、人口センサスよりも特に高度な技術を要するデータクリーニングに想定以上の労力と時間を要する結果となった。しかし、日本人専門家による多大な技術的助言を得て、集計作業全体は大幅な遅れなく完了した。経済センサスのデータ集計の経験により、知識と技術は強化されているが、まだ十分ではなく、2014年に予定されている、経済統計調査（サンプル調査）にて、もう一度同様のプロセスを繰り返すことにより、専門家の支援が不要なレベルに達することが見込まれる。

アウトプット3：NISが経済センサスをはじめ政府統計調査における結果分析を行えるようになる。

経済センサスの結果分析報告書はすでにくつか完成し、本格的な分析報告書は現在作成中であり、作業は少し遅れている。要因は、経済調査の結果分析に必要な分析方法、作表技術、企業財務分析の基礎知識などの不足、分析作業と2013年農業センサスの準備作業のスケジュール重複などが挙げられる。日本人専門家の助言により、分析能力は向上してきており、プロジェクト終了時までには同様の分析を行えるレベルに達することが見込まれる。

アウトプット4：NISが経済センサスをはじめとする政府統計調査結果の提供および政府統計に関する理解促進を行えるようになる。

NISは、2011年の経済センサスの速報及び確報を刊行物や統計地図、センサスアトラスなどの形での公表、マスコミを通じた発表、大規模な結果発表セミナーも数回開催している。NISは統計調査結果の発表や広報活動に慣れており、初の経済センサスの結果提供を様々な形で行ったことで、提供能力はさらに向上した。NIS職員は、様々なツールを使った結果の提供能力に自信を持っている。

アウトプット5：NISが経済センサスに関する小地域統計を実施できるようになる。

プロジェクトでは、NISの職員に対し、経済センサスの結果に関する県レベルの表の作成、分析・記述などについての研修を実施した。これまでのところ、NISによる地域別の統計は、州、県別のセンサス結果の公表にとどまっており、現在、県レベルのより詳細な情報を提供すべく、州別報告書の作成に取り組んでいるところである。

アウトプット6：州計画局が州レベル以下の行政単位における結果表の作成・公表を行えるようになる。

プロジェクトでは、NISのリージョナル・オフィサー（RO）とアシスタント・リージョナル・オフィサー（ARO）をトレーナーとして育成し、これまでに15の州で州計画局の統計事務所職員に対して統計表の作表、統計地図の作成、行政単位別のデータ分析、報告書作成にかかる研修が行われた。15州の計画局では小地域統計報告書の作成に取り組んでいる。州計画局にとっては不慣れな作業であるため、進捗は遅く、C/P、専門家共に、成果6の達成にはプロジェクト後半でNISによる州計画局支援がさらに必要であると考えている。

アウトプット7：NIS及び州計画局が政府統計に必要な技術・知識を維持するための仕組みが構築される。

プロジェクトの下で、2011年経済センサスにかかる各ステップに関し多くのマニュアルや参考資料が整備された。それら資料は、NISの関係職員に頻繁に参照され、2014年の経済統計調査を含む他の経済統計調査でも高い活用度が見込まれる。一方で、それら資料は、活動に関係した各職員が一部ずつ所有する形となっており、体系的な形で管理・共有はされていない。

アウトプット8：NIS及び州計画局の調整能力が向上する。

センサスや大規模統計調査に関しては、「カ」国政府に關係機關の調整メカニズムが各種存在し、NISはこれらのメカニズムを通じて適切に調整を行っている。常設の委員会の他、センサス実施ごとに国家センサス委員会（NCC）、センサス技術委員会（CTC）が形成され、ハイレベル、ワーキングレベルでの調整が行われている。2011年の経済センサスでは、NISはこれらの委員会を通じて事業所の協力促進やセンサスキャンペーンの円滑な実施に必要な關係機

関の協力を取り付けた。プロジェクトが支援予定の2013年中間年人口センサスと2014年経済統計調査については、それぞれ技術委員会が形成され、調整は円滑に進んでいる。

州レベルの調整は、州政府と中央政府各省の出先局から成る州センサス委員会（PCC）にて行われることとなっているが、本レビュー調査では時間の制約上、その有効性までは確認できていない。

### 3-1-2 プロジェクト目標の達成度

プロジェクト前半は経済センサスの実施支援を中心として、NISはカンボジア初の経済センサスを、大きな遅れなくプロジェクト活動を遂行し、計画、実施、データ集計、結果分析、結果提供、小地域統計、関係機関の調整といった必要な基本的能力は向上した。しかし、データ集計や進行中の結果分析などにおいては困難もあり、日本人専門家の多大な努力が問題の克服に大きく貢献したことは特筆すべきである。2013年の中間年人口調査、2014年の経済統計調査においては、よりNISがリードを取る形で各活動を実施し、これまでに築かれた基礎を一層強固にすることが望まれる。

州計画局は、統計調査実施の経験は十分であるが、初めての小地域統計では進捗は遅く、RO、AROからの支援が想定以上に必要となっている。

### 3-1-3 上位目標の達成度

中間レビュー時は上位目標の達成度を測る段階にないが、達成に向けた数々の良い兆候が確認された。NISの統計データはカ国政府の基本開発政策のモニタリングなどに使用されており、NIS局長をはじめ、計画省の計画局長も計画立案・モニタリングにおける統計情報の重要性を強く認識している。NIS及び州計画局による統計調査も大規模調査がほぼ定期的に、小規模調査は数多く実施されてきている。それらの結果は様々な形で公表されており、上位目標達成に向けて着実に前進している。

## 3-2 実施プロセス

NISの統計調査実施の経験と日本人専門家の多大な努力により、中間レビュー時点までプロジェクト活動は大きな遅れもなく、円滑に実施されている。プロジェクトのマネジメントは、関係機関との調整、実施スケジュールの管理、多数の日本人専門家間の調整、NISの幹部のコミットメント等の観点で適切であった。

特に関係機関との調整は、「カ」国政府のトップレベル及びワーキングレベルの調整メカニズムが機能し、各種統計活動の円滑な実施を促進している。ドナー間の調整も政府の調整メカニズムや個別の会合を通じ、またチーフアドバイザーの貢献により、非常に効果的に行われている。

一方で、プロジェクトの後半の活動実施に向けて改善の余地もある。一つは、プロジェクトのマネジメントが日本人専門家に任せられ、全体の進捗などのNIS側との情報共有が難しくなり、カンボジア側のオーナーシップが発揮されていないという問題がある。また、各分野のプロジェクト活動にC/Pが部局を超えて配置されていることから意思伝達経路が確立されにくく、専門家とC/Pのコミュニケーションの効率化を妨げると同時に、専門家がプロジェクト活動を先導せざるを得なくなっている。もう一点懸念されるのは、農業センサスの実施スケジュールが早まったことで、一部のC/Pが多忙となり、分析報告書の作成が遅れていることである。この点は適切な対処が必要である。

## 3-3 評価結果の要約

### (1) 妥当性

「カ」国政府の基本開発計画である国家戦略開発計画（NSDP）は優先政策実施における

統計情報の重要性を強調している。特に民間セクター開発及び国内外からの投資誘致、国家人口政策実施において、経済センサス及び2014年の中間年人口調査の役割が重視されている。また、プロジェクトの目標は、政府統計の活用促進、NISによる質の高い統計情報の提供を目指す統計マスタープラン2008-2015（SMP）に資するものでもある。行政機能強化を支援の重点の一つとする日本の対カ国国別援助計画とも整合しており、本プロジェクトの妥当性は現在も非常に高いと判断できる。

## (2) 有効性

プロジェクト前半におけるカンボジア初の経済センサスの実施を通じ、統計調査計画・実施、データ集計、結果分析と分析報告書の作成、結果の提供のいずれの分野においてもNISの能力は向上している。小地域統計についても、NISの担当職員的能力向上が進み、州計画局への支援を行うことができるまでになっている。一方、州計画局については、経験に基づき統計調査を実施する能力は備えているものの、小地域統計については進捗が遅く、プロジェクト後半にはNISによるさらなる支援が必要である。

以上のとおり、一部さらなる努力が求められるものの、プロジェクト目標の達成に向けた進捗状況は良く、実施プロセスも概ね円滑であることから、高い有効性が見込まれる。

## (3) 効率性

プロジェクトの進捗、達成度に照らし、両国のインプット、プロジェクト活動は概ね適切に行われており、プロジェクトの円滑な実施を妨げる深刻な問題は見受けられない。

専門家は活動計画に合わせて短期で投入され、機材は必要最低量に抑えられている。C/P研修、第三国での技術交換プログラムも人数、内容に鑑み、費用対効果が高い。「カ」国側も十分な人数のC/Pを配置し、プロジェクトの円滑な実施に貢献している。費用負担についても、経済センサスでは全費用の20%を負担した。

一方で、円滑な活動実施をやや妨げる問題も確認された。一つは、経済センサスの一部作業において、計画よりも時間を要したことから、日本人専門家の業務量が増え、派遣期間を超えて日本からの支援が必要となっている。また、小地域統計に関し、州計画局の能力向上が遅いことから、RO及びAROによる州計画局支援が当初予定よりも増えている。もう一点は、農業センサスの実施スケジュールの変更により一部のC/Pのプロジェクト従事時間が制限され、プロジェクト活動の円滑な実施に対するリスク要因となっている。

## (4) インパクト

NISの統計情報はカ国基本開発政策のモニタリングに使用されるなど、プロジェクトは将来の上位目標の達成に向けて顕著な進捗を示している。各省による経済センサスの結果の活用はまだ確認されていないが、鉱工業エネルギー省や経済財務省などによる活用の可能性は高い。また、本中間レビューでは以下のような正のインパクトが確認された。

- 経済センサスの全国キャンペーンを通じ、一般市民の統計情報の重要性の認識、NISの活動や日本の協力にかかる認知度が高まった。
- NISの統計情報が日本の研究機関など、国外で活用されている例が確認された。
- プロジェクトの下で行われたスリランカセンサス・統計局との技術交換の結果、同局が初の経済センサス実施に向け、NISのマニュアルや資料を参考にしたいとしている。また、今後、以下のようなインパクトが期待できる。
- 経済センサス結果の国民経済計算の質の向上、ひいては効果的な産業政策の策定への貢献
- プロジェクトの下で作成された事業所ディレクトリーとサンプリングフレームの将来

の経済調査への活用

- 小地域統計の導入による分権化政策への将来的貢献

上記以外にも、他ドナーとの相乗効果が期待できる。農業センサス（国連食糧農業機関（FAO）他が支援）への本プロジェクトC/Pの経験、技術の貢献や、他ドナーの援助政策やプロジェクト計画の策定・実施における経済センサス結果の活用などが見込まれる。実際、世界銀行による投資環境アセスメントにはすでに活用されている。他方で、上記農業センサスへのドナー支援やSIDAによるNIS職員への英語研修などの支援は、本プロジェクトの上位目標達成に貢献するであろう。

#### (5) 持続性

プロジェクトは持続性確保に向けて努力している。政策・制度、組織、財政、技術面から見た持続性は以下のとおりである。

- 人口センサス、経済センサスの10年ごとの実施は統計法（2005年）に定められ、2008年に策定された統計マスタープラン（SMP）では、プロジェクトが支援する中間年人口調査、経済統計調査を含むその他のセンサス・統計調査の実施が2015年まで計画されていることから、統計調査に対する政策・制度面の持続性は確保されている。
- 組織面では、上述のとおり、プロジェクトのマネジメントが専門家に任されており、NISによるプロジェクト全体の進捗の情報共有とオーナーシップの確保に対するリスク要因となっている。
- 財政面では、継続した統計調査活動実施のための資金確保について特に懸念が残る。これまでは実施費用の多くをドナーに依存しており、カ国政府の資金負担は統計調査ごとに決定され、SMPとのリンクも確保されておらず、計画されている統計調査のいくつかについては資金調達の目途が立っていない。また、ドナー支援活動への従事手当がない場合、NISが各統計調査に適切なNIS職員を配置できるかどうかにも不安が残る。また、州計画局レベルでは、プロジェクトの下で供与された機材の維持費用の確保が必要となっている。
- 技術面では、プロジェクトはマニュアル等の整備を行っており、日本人専門家による実践重視の技術協力方法の一部として実際の調査活動等の場面で活用され、技術力の持続性にも貢献すると考えられる。州計画局による小地域統計活動の継続、技術力の維持のためには、プロジェクト終了後もNISが州計画局の能力向上を支援し続ける枠組みが必要である。

#### 3-4 効果発現に貢献した要因

上述のとおり、経済センサスの実施、中間年人口調査の計画において、カンボジア政府の調整メカニズムを通じた関係機関との適切な調整、ドナー間の支援の詳細な調整が円滑なプロジェクト活動実施を促進し、効果の発現に大きく貢献している。また、カ国初の経済センサスの一部作業に遅れもあったが、センサス全体の進捗に影響を与えず、概ね予定どおりの効果が発現しているのは、日本人専門家の多大な支援によるところが大きい。

#### 3-5 問題点および問題を惹起した要因

これまで大きな問題は起こっていないが、経済センサスの実施・分析過程では上述のとおり一部作業に予想以上の労力と時間を要した。この主な要因は、経済センサスがNISにとって初めての経験であり、その実施能力が未知数な部分があったこと、現在遅れている結果分析については、農業センサス実施スケジュールの変更により、一部C/Pが多忙となっていることである。

プロジェクトのマネジメントが日本人専門家に任されている点については、活動の進捗に影

響を及ぼしていないものの、プロジェクト終了後を念頭、プロジェクト全体の進捗の共有、NISのオーナーシップ醸成、プロジェクトの効果持続の観点から懸念される。

### 3-6 提言

#### (1) プロジェクトマネジメントにおける強いオーナーシップの確保

プロジェクトマネジメントは実質的に日本人専門家が行わざるを得なくなっており、プロジェクト全体の進捗にかかる情報共有にNISのオーナーシップの確保が難しくなっていることから、NISがよりリードを取ってプロジェクトのマネジメントを行うことが求められる。

#### (2) 統計活動への予算確保

技術力維持のためには継続的な統計活動実施が効果的であるが、資金調達が目途が不透明となっているところ、統計活動資金を投資予算として確保すること、統計活動のための年間経常予算の増加に向け、NIS及び計画省のより一層のはたらきかけが期待される。また、それら予算が多年度及び単年度の投資・予算枠組みに含まれる必要がある。中間レビュー後、できる限り早急に統計活動の資金調達にかかるアクションプランの提示が求められる。

#### (3) 州レベルでの調整の促進

統計調査実施にかかる中央レベルでの関係機関の調整は政府のメカニズムを通じ効果的に行われており、このメカニズムの継続が望まれる一方で、州レベルでの調整の有効性については不透明である。アウトプット8では州レベルでの調整能力向上も目指しており、州レベルでの効果的な調整をNIS及び計画省が確保することが必要である。プロジェクトの最終JCC会合あるいは終了時評価の際に、アクションの提示が求められる。

#### (4) 州計画局の支援メカニズムの検討

州計画局は初の小地域統計に取り組んでおり、プロジェクト終了後も小地域統計の継続、プロジェクトで学んだ技術の維持にNISからの支援が必要と予測される場所、JCCの最終会合あるいは終了時評価時にNISによるアクションの提示が求められる。

#### (5) その他

「カ」国では公務員の給与レベルが非常に低く、NISでも職員の統計調査への継続的な参加には金銭的なインセンティブを必要とする声が主流である。給与の問題は短期的に解決可能なものではないが、給与改革を通じてのカ国政府による中長期の取り組みが望まれる。

### 3-7 教訓

NISは3年ごとにセンサスを実施してきたが、農業センサスの実施が経済センサスの2年後と早まったため、C/Pが多忙となり、経済センサスの結果分析作業が遅れている。農業センサスのスケジュール変更は例外的なケースではあるが、個々の統計調査間のスケジュール調整が円滑な統計活動の実施に重要であることが改めて明らかになった。



## Summary of the Mid-term Review

<b>I. Outline of the Project</b>	
County: Kingdom of Cambodia	Project title: The Project on Improving Official Statistics in Cambodia Phase 3
Issue/Sector: Economic Policy	Cooperation scheme: Technical Cooperation Project
Division in charge: Public Governance and Financial Management Division	Total cost : JPY 470 million
Period of Cooperation: October 2010 - March 2015	Partner Country's Implementing Organization: National Institute of Statistics, Ministry of Planning
	Supporting Organizations in Japan: Statistics Bureau of the Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC), Statistical Research and Training Institute of MIC, National Statistics Center
Related Cooperation: The Project on Improving Official Statistics in Cambodia Phase 1 (August 2005 – March 2007) , Phase 2 (April 2007 – September 2010)	
<p><b>1-1 Background of the Project</b></p> <p>The official statistics in Cambodia were greatly delayed in development due to the civil war. Since 1990s, the official statistics have been gradually developed by the support of the United Nations and other international development partners. However, the official statistics still need to be improved in Cambodia.</p> <p>Under above mentioned circumstances, the Royal Government of Cambodia (RGC) requested the technical cooperation project to improve statistical capacity of National Institute of Statistics (NIS) and provincial departments of planning (PDPs). Responding to this request, JICA started the technical cooperation of improving official statistics in Cambodia. Phase 1 which focused on providing trainings to NIS staff started in August 2005, and phase 2 which focused on enhancing capacity of NIS and PDPs mainly through the implementation of the 2008 Population Census started in April 2007 and completed the scheduled termination at the end of September 2010.</p> <p>Based on the above mentioned cooperation accomplishment, NIS applied for the Project as the phase3 to further improve capacity of statistical staff in NIS and provincial planning departments and to assist smooth implementation of the 2011 Economic Census and other activities. With regard to the 2011 Economic Census (EC), the Sub-decree was enacted by the RGC in August 2009, and NIS began the preparation of the EC.</p> <p>Accordingly, JICA dispatched the detailed planning survey team to discuss with the Cambodian authorities to detail out the Project framework and both side signed the minutes of meeting concerned reached a common understanding of details of the Project in April 2010. In June 2010, Ministry of Planning (MoP) and NIS and JICA agreed the Project Framework and signed the Record of Discussion. The project commenced in October 2010.</p> <p><b>1-2 Project Overview</b></p> <p><b>(1) Overall Goal</b></p> <p>Statistical results provided by NIS and provincial planning departments will be utilized for planning and implementation of policies, plans, and strategies of line ministries and provincial governments.</p>	

**(2) Project Purpose**

NIS and provincial planning departments will be able to implement the Economic Census, inter-censal population survey, economic statistics survey, and other statistical activities.

**(3) Outputs**

- 1) NIS and provincial planning departments will be able to conduct planning and implementation of statistical surveys.
- 2) NIS will be able to conduct data processing.
- 3) NIS will be able to conduct analysis.
- 4) NIS will be able to conduct dissemination.
- 5) NIS will be able to conduct small area statistics.
- 6) Provincial planning departments will be able to tabulate and scrutinize data.
- 7) NIS and provincial planning departments will be able to keep institutional memory.
- 8) NIS and provincial planning departments will be able to conduct coordination.

**(4) Inputs (as of the end of December 2012)**

<b>Japanese Side:</b>	Experts	26 persons (87.46M/M)
	Trainees received	6 persons
	Participants in technical exchange programs in the third countries	9 persons
	Equipment provided	JPY9,793 thousands (USD119,262)
	Local cost	
<b>Cambodian Side:</b>	Counterpart, Office space and necessary facilities and meeting rooms, Local cost, Utility cost	

**II. Evaluation Team**

Members of Evaluation Team	Mr. Kuniaki AMATSU (Team Leader), Advisor, Public Governance and Financial Management Division, JICA Mr. Yoshiyuki KOBAYASHI (Government Statistics), Senior Researcher, Statistical Research and Training Institute, Ministry of Internal Affairs and Communications Mr. Ryosuke YOSHIDA (Evaluation Planning), Deputy Director, Public Governance and Financial Management Division, JICA Ms. Rie FUSAMAE (Evaluation Analysis), Senior Researcher, Foundation for Advanced Studies on International Development		
----------------------------	---	--	--

Period of Evaluation	December 2 to December 15, 2012	Type of Evaluation	Mid-term review
----------------------	---------------------------------	--------------------	-----------------

**III. Results of Evaluation****3-1. Project Performance****3-1-1. Achievement of Outputs****Output 1: NIS and provincial planning departments will be able to conduct planning and implementation of statistical surveys.**

Both NIS and PDPs have improved the capacity to plan and implement statistical surveys in the first half of the project period by working on major statistical surveys. NIS carried out its first economic census as well as the post enumeration survey following it without delay. NIS had little difficulties in delineation of enumeration areas for their first EC whilst PDPs prepared village maps without serious problems with training and guidance under the project. Through the implementation of statistical surveys scheduled for

the remaining project period, NIS and PDPs will develop sufficient capacity to plan and implement statistical surveys by themselves.

**Output 2: NIS will be able to conduct data processing**

NIS staff has greatly increased their knowledge and skills in data processing by going through the processing of economic census data for the first time. Though it required a greater deal of efforts and time than they had expected particularly in data cleaning processes, NIS managed, with considerable technical advice from Japanese experts, to complete data processing without significant delay. By undertaking the same process in a much smaller scale in the Cambodia Inter-censal Economic Survey (CIES) 2014, they will reach the level that they can complete the whole process without JICA experts' technical support.

**Output 3: NIS will be able to conduct analysis**

NIS prepared some analytical reports and is currently working on detailed reports. The process is a little behind schedule mainly because the analysis of economic census data requires certain expertise such as analytical methods, tabulation techniques and basic knowledge of corporate financial analysis. A busy schedule of some staff engaging both in the EC and in the Agricultural Census scheduled for 2013 has also made it difficult for them to focus on report writing. Despite such circumstances, their skills in data analysis and report writing are improving with technical guidance from JICA experts and are expected to reach the level that similar analyses could be carried out by themselves by the end of the project period

**Output 4: NIS will be able to conduct dissemination**

NIS has added to its past experience in dissemination of census/survey results by engaging in the dissemination activities on their first ever economic census. They presented the preliminary or the final results of the EC 2011 in the forms of reports, statistical maps and census atlases, and through the media. They also organized large-scale seminars to report the results. Concerned NIS staff is confident that, with their experiences, they have sufficient capacity to disseminate statistical results through a number of tools.

**Output 5: NIS will be able to conduct small area statistics**

NIS presented the results of the EC 2011 by district as well as by province and are currently working on the Provincial Reports where more detailed information by district will be provided. They have received training under the project regarding tabulation, analysis and description of census results by district.

**Output 6: Provincial planning departments will be able to tabulate and scrutinize data**

ROs and AROs were trained to be trainers under the project and provided training for PDPs in 15 provinces on small area statistics (SAS) in which PDP statistics staff learnt about statistical tabulation, preparation of statistical maps, data analysis by district, commune and village, and report writing. PDP statistics staff are currently working on SAS reports. Since the techniques they learnt in the training are very new to them, the progress is slow and both NIS C/P and JICA experts consider that efforts on the side of NIS to support them will be required to achieve Output 6.

**Output 7: NIS and provincial planning departments will be able to keep institutional memory**

During the course of the EC 2011, a number of manuals and other reference documents have been developed under the project. NIS staff involved in the project has been referring to them often. Those

documents will also be useful in other economic surveys including the CIES 2014. However, those manuals and other reference materials are not managed and shared in a systematic manner, though each of the staff that participated in the project activities has copies of them.

#### **Output 8: NIS and provincial planning departments will be able to conduct coordination**

NIS has successfully coordinated concerned organizations for each census/survey. There are effective coordination mechanisms in place such as NCC organized at the high-level and CTC at the working level. Through those committees, NIS secured cooperation from concerned ministries in, for example, facilitating cooperation of surveyed establishments and in rolling out an effective campaign for the EC 2011. For each of the Cambodia Inter-censal Population Survey (CIPS) 2013 and the CIES 2014, a technical committee has been formed and coordination is going smoothly so far.

At the provincial level, the Provincial Census Committee (PCC) consisting of members from the Provincial Government and line departments of the central government serves as a coordination mechanism for census implementation in each province. It has been formed in each province but the mid-term review team did not confirm the effectiveness during the review study due to time constraints.

#### **3-1-2. Achievement of Project Purpose**

NIS staff has completed planned project activities without significant delay so far despite the fact that the EC 2011 was their first-ever economic census. Through the process, NIS is equipped with basic capacity on planning, implementation, data processing, analysis, dissemination, small area statistics and inter-ministerial coordination. However, the smooth implementation of the project is, not to a small extent, owing to considerable amount of technical supports from JICA experts in sorting out problems that NIS C/P encountered in the process of data processing and data analysis, for example. Therefore, NIS is strongly expected to further establish those capacity foundations by undertaking the CIPS and the CIES in a more NIS-led manner.

At the provincial level, PDPs had had sufficient experience to implement the field operations of censuses/surveys. However, their capacity development in SAS is advancing in a slow pace requiring more support from ROs and AROs than initially anticipated.

#### **3-1-3. Achievement of Overall Goal**

Though it is premature to determine the level of achievement of the overall goal, the mid-term review team identified positive signs. NIS carries out a census approximately every three year and also conducts a variety of surveys. Statistics provided by those censuses/surveys have been used to monitor the RGC's major development policies. Director General (DG) of planning of the Ministry of Planning as well as DG of NIS emphasized on the significance of synergy between development planning and statistic activities. Thus, the project has the potential of achieving the Overall Goal.

#### **3-2. Implementation Process**

The project activities have been implemented as planned without significant delay. This is attributable mainly to NIS's experience in statistical surveys as well as efforts made by JICA experts. The management of the project has been appropriate in terms of: coordination among concerned organizations; management of the operational schedule; coordination between JICA experts; and commitment of the NIS top management. Coordination between NIS and ministries for each census/survey, in particular, has been very effective both at the top and the working levels. The project and support of other development partners has also been well coordinated through the RGC's

mechanisms and ad-hoc meetings. Chief Advisor for the project has been playing a significant role in this regard.

There are, however, there is room for improvement in the rest of the project term. First of all, the management of the project is left to JICA experts, which makes information sharing about overall project progress difficult and also could undermine a sense of ownership of the project on the Cambodian side. Secondly, C/P scatters across department and there are no well-established communication channels for the implementation of the project activities preventing streamlining of communication between NIS C/P and JICA experts. As a result the latter has to initiate the project activities. Thirdly, the team has a concern about the consequence of the change of implementation schedule of the Agricultural Census. Because of the change, some C/P of the project do not have sufficient time to work on analytical reports on the EC 2011 results. This issue needs to be appropriately dealt with.

### **3-3. Summary of Evaluation Results**

#### **(1) Relevance**

The relevance of the project remains high. The RGC stresses in its National Strategic Development Plan (NSDP) the importance of statistics in implementing priority policies. The EC 2011 is regarded as important means to effectively implement the RGC's private sector development policy and as well as to attract domestic and foreign investment. Similarly, the CIPS 2013 is given priority in order to implement the National Population Policy. The objectives of the project are also consistent with those of the Statistics Master Plan (SMP) 2008-2015, which includes the increased use of official statistics and the delivery of quality statistical services by NIS.

The project is also in line with Japan's assistance policy towards Cambodia, which gives priority to administrative capacity development including improvement of capacity in statistics.

#### **(2) Effectiveness**

The effectiveness of the project appears promising given the good prospects for the achievement of the project purpose in light of the progress made and the largely smooth implementation process.

By undergoing the EC 2011 processes with technical advice and support from JICA experts, NIS staff has enhanced their capacity required at each stage of: census/survey planning and implementation; data processing; data analysis and preparation of analytical report; and dissemination of the results. Some of them have also been trained to provide support for PDPs in SAS. As far as the capacity of PDPs is concerned, they are capable to implement various censuses/surveys given their past experience, their skills in SAS have been developing in a slow pace and more support from NIS will be needed in the second half of the project.

#### **(3) Efficiency**

The mid-term review team identified no major issues that may hamper the efficient implementation of the project. Inputs from both sides and the project activities implemented have been largely appropriate and timely in light of the implementation progress and the achievement made so far.

Each of JICA experts was dispatched on a short-term basis in accordance with operational plans, which is very cost-effective. Equipment provided was kept to a minimum. C/P training in Japan and technical exchange programmes in the third countries are deemed highly appropriate from the cost-effective as well as cost-benefit perspectives. The Cambodian side has provided sufficient number of C/P, which has contributed to the smooth implementation of the project activities. The RGC also contributed 20% of the costs of the EC implementation.

On the other hand, there are a few issues somewhat undermining the efficient implementation of the project. First of all, since some work in the EC process turned out to require more time than in the original work plan, the workload of JICA experts has increased to the level that substantial engagement from Japan is required. The work of ROs/AROs involved in support for PDPs regarding SAS has also turned out to be more than expected. Schedule conflict between some project activities and the implementation of the Agriculture Census is also a risk factor to ensuring efficiency of the project to some extent.

#### **(4) Impact**

The project is on the right track towards the achievement of the Overall Goal in the future. Statistics provided by NIS has been used to monitor the major development policies of the RGC. The results of the EC are very likely to be utilized in policy development/implementation by line ministries, particularly the MIME and the MEF. The Mid-term Review team also recognized several positive impacts of the project.

- The awareness of the citizens about the importance of statistics, NIS's activities as well as Japanese cooperation on statistics in Cambodia has been raised through the nation-wide EC campaign.
- The team identified the cases that statistics provided by NIS were used outside Cambodia.
- Following the technical exchange program between NIS and Sri Lankan Department of Census and Statistics, which is currently preparing for their first economic census, NIS received a request from them for sharing of the manuals and reference materials used in the implementation of the EC 2011.

In addition, the future impacts can be expected:

- The results of the EC 2011 can be used for improvement of the quality of national accounts, which can contribute to the development of effective industrial policy.
- The comprehensive establishment directory and a sampling frame prepared from the EC will be used for future economic surveys.
- The attempt under the project to provide SAS by district, commune and villages could have a significant impact on decentralization in the future.

Synergies with other development partners' support are also expected. The experience and skills of C/P gained under the project will facilitate the effective implementation of the Agricultural Census supported by the Food and Agriculture Organization (FAO) and others. In addition, the results of the EC will serve as valuable information in the formulation of their assistance strategy as well as individual projects, as was used in the Investment Climate Assessment by the World Bank. The support of other development partners such as technical support for the Agricultural Census implementation and English training given under SIDA support, on the other hand, can promote the achievement of the Overall Goal of the project.

#### **(5) Sustainability**

The project has made good efforts to ensure sustainability of the project's outputs and outcomes. The sustainability of the project effects can be assessed from policy, organizational, financial and technical perspectives:

- A policy environment for official statistical surveys is in place. The Statistics Law of 2005 provides the implementation of Population Census and Economic Census every ten years and the establishment of inter-ministerial coordination mechanism. In addition, censuses and statistical surveys to be implemented in the period up to 2015 including the CIPS and the CIES are articulated

in the SMP.

- Organizational sustainability is somewhat challenged by the situation where JICA experts look after the management of the project, which poses a threat to effective information sharing about overall project progress and ensuring the ownership of the project on the Cambodian side.
- The team has a concern about the availability of financial resources to NIS to conduct censuses/surveys continuously. Census/survey implementation has relied heavily on funding from development partners, and financing plans for some scheduled surveys are not in place. The level of funding from the RGC for the implementation of censuses and surveys has been determined census by census and financing is not always linked with the SMP. In addition, it is not certain whether appropriate staffing for each census/survey will be possible without allowances (“Priority Operation Cost”), which some development partners do not cover any longer. At the PDP level, sufficient budget for the maintenance of equipment provided under the project needs to be secured.
- In terms of technical sustainability, a number of manuals and reference documents prepared under the project as well as the leaning by doing way of technical cooperation extended by JICA experts will contribute to the sustainability of knowledge and skills of NIS and PDPs. On the other hand, in order to continue SAS activities by PDPs and sustain their skills, a continuous capacity development framework will be required.

#### **3-4. Factors that promoted realization of effects**

Appropriate coordination among concerned organizations through RGC’s mechanisms and between development partners for the implementation of the EC 2011 and the CIPS 2014 has facilitated smooth implementation of the project activities. Despite the fact that there were delays in some specific work in the course of the RGC’s first-ever economic census implementation, NIS managed to keep the overall implementation schedule and has produced intended effects.

#### **3-5. Factors that impeded realization of effects**

As discussed above, some work in the EC process turned out to require more time and effort than originally expected, mainly because the level of NIS’s skills required for economic censuses (not for population censuses) had been unclear at the initial stage. As far as analysis work of the EC results is concerned, the change of the implementation schedule of the Agricultural Census is causing some delays.

The management of the project, which has been left to JICA experts, is also a concern for the Mid-term Review Team as mentioned above, to secure effective information sharing about the progress of the project, ownership of the project on the NIS side, and sustainable effects of the project.

#### **3-6. Recommendations and Lessons Learnt**

##### **3-6-1. Recommendations**

(1) Ensuring strong management and ownership of the project

As stated above, the management of the project is left to JICA experts making information sharing about overall project progress difficult and also posing a threat to ensuring the ownership of the project on the Cambodian side. Therefore, the NIS is encouraged to lead the management of the project more.

(2) Proactive action for the budget for statistical activities

It is important for NIS staff to continuously engage themselves in statistical surveys in order to maintain the skills they gain under the project. Since the prospects for financing for future statistical surveys are uncertain, the Mid-term review team expects NIS/MoP to step up its efforts to finance the necessary cost



as capital investment and to increase the amount of recurrent budget for census/statistical surveys on a year basis. These should also be included in both multi-year and single year investment and budget frameworks. An action plan on how to finance statistic censuses and surveys should be presented as early as possible after the Mid-term Review.

(3) Facilitation of coordination at the provincial level

Coordination mechanisms for census/survey implementation at the central level have been proven effective and these mechanisms need to be sustained. On the other hand, the effectiveness of coordination at the provincial level is not very clear. Since one of the planned Output of the project is coordination for statistical activities both at the central and the provincial level, it is recommended that NIS/MoP ensure effective coordination at the provincial level as well. The proposed actions should be presented by NIS side in the final JCC meeting and/or the terminal evaluation study mission.

(4) A support mechanism for PDPs

PDPs are conducting SAS for the first time under the project and continuous support from NIS will be necessary for them to sustain the skills they learn and conduct SAS. It is recommended that NIS work out a sustainable support mechanism by the end of the project term. The proposed actions should be presented by NIS side in the final JCC meeting and/or the terminal evaluation study mission.

(5) Other

Given the low salary level of civil servants in Cambodia, NIS staff mentioned in the review meeting that incentives are needed for their continuous engagement in censuses/surveys. Although this cannot be solved in the short-term, it is expected the RGC address this issue in the medium- and long-term through implementing government personnel salary reform.

### **3-7. Lessons Learnt**

NIS generally conducts a census every three year to focus on each census implementation. The implementation of the Agricultural Census has made it difficult for some C/P to allocate sufficient time to the project activities. It teaches a lesson that schedule adjustments between different statistical activities are very important for the smooth implementation of statistical activities.

# 第1章 中間レビュー調査の概要

## 1-1 調査団派遣の経緯と目的

カンボジア王国（以下、「カンボジア」と記す）は内戦の影響により開発が遅れており、持続的成長と安定した社会を実現するため、グッド・ガバナンスの推進を重点分野に掲げ、開発政策の立案・モニタリングに活用可能な統計情報の整備を進めるべく政府統計の実施能力向上に取り組んできた。カンボジアの政府統計実施機関である計画省統計局（National Institute of Statistics : NIS）は、人口センサス等全数対象の政府統計調査の実施経験が不足しており、能力向上が課題となっていたため、JICAは2005年8月から2007年3月まで「政府統計能力向上プロジェクトフェーズ1」及び2007年4月から2010年9月まで「政府統計能力向上プロジェクトフェーズ2」を実施し、2008年人口センサスの実施支援を通じてNISの人口センサス実施能力の向上を支援した。これら協力によりNISの能力は向上しつつあるものの、次回の人口センサス（2018年予定）まで、移転された技術・知識を維持することが課題である。

2011年にカンボジアは同国初の経済センサスを実施し、カンボジアの事業所及び企業の経済活動の状態を調査し、すべての産業分野における事業所及び企業の従業者規模等の基本的構造を全国及び地域別に明らかにした。また各種統計調査実施のための基礎資料を得ることも目的とした調査であった。経済センサスの実施は、人口センサスと異なる専門技術・知識が必要であり、2010年時点ではNISは必要な技術・知識を身につけることが喫緊の課題のひとつであった。さらに、地方分権化を近年推進しているカンボジアの州政府レベルでの政策立案・モニタリングのために統計情報の活用が期待されているが、州計画局の能力は低く、州以下の行政単位の統計結果分析・提供が十分でないため、州政府レベル以下では政府統計情報がほとんど活用されておらず、州計画局の政府統計能力の向上に努める必要がある。

上記の課題に係るカンボジア政府からわが国への要請を受け、JICAはこれに応えるため総務省統計局の協力を得て、2010年10月から「政府統計能力向上プロジェクトフェーズ3」（以下、本プロジェクト）を開始した。本プロジェクトは、NISをカウンターパート（Counterpart : C/P）機関として、2010年10月から2015年3月までの4.5年間の予定で実施しており、現在11分野21名の専門家（チーフ・アドバイザー、調査計画策定、センサス、調査実施監理、集計/プログラミング、集計、審査、地図作成、結果分析、小地域集計、業務調整/本邦研修）を派遣中である。

プロジェクト開始後2年を経た中間時点として実施する今回の中間レビュー調査は、NISと合同で本プロジェクトのこれまでの投入、各活動とその結果を確認し、成果指標及び目標の達成度の現状を整理・分析する。その結果を踏まえ、プロジェクトの残り期間の課題及び今後の方向性について確認し、評価指標及び目標の具体化を含むプロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix : PDM）改訂案とともに合同評価報告書に取りまとめ、合同調整委員会（Joint Coordination Committee : JCC）で合意することを目的とした。

## 1 - 2 調査団の構成

本中間レビュー調査団の構成は次のとおりである。

担 当	氏 名	所 属
総 括	天津 邦明	JICA 産業開発・公共政策部 行財政・金融課 企画役
政府統計	小林 良行	総務省 統計研修所 調査官
協力企画	吉田 亮介	JICA 産業開発・公共政策部 行財政・金融課 主任調査役
評価分析	房前 理恵	一般財団法人国際開発機構 主任研究員

## 1 - 3 調査日程

調査は2012年12月2日から12月15日までの日程で行われた。詳細は次のとおりである。

日 順	日 付	活 動 内 容
1	12月2日 (日)	プノンペン着 (房前団員)
2	3日 (月)	専門家インタビュー NIS局長表敬訪問 C/Pインタビュー
3	4日 (火)	カンダール (Kandal) 州へ移動、同州計画局インタビュー C/Pインタビュー
4	5日 (水)	中間年人口調査第6回技術委員会出席 UNFPAカンボジア事務所インタビュー Sida専門家インタビュー C/Pインタビュー
5	6日 (木)	JICA専門家インタビュー
6	7日 (金)	JICA専門家インタビュー C/Pインタビュー コンポンチャム (Kampong Chhnang) 州へ移動、同州計画局インタビュー
7	8日 (土)	報告書作成
8	9日 (日)	報告書作成 プノンペン着 (天津団長、小林団員、吉田団員)
9	* 10日 (月)	JICA専門家との会合
10	11日 (火)	NIS幹部との会合 計画省計画局局長インタビュー
11	12日 (水)	コンポントム (Kampong Thom) 州へ移動、同州計画局インタビュー
12	13日 (木)	経済財務省インタビュー JICA専門家との会合 NIS局長との協議 計画省上級大臣表敬訪問 JICAカンボジア事務所との打合せ 計画省財務・ロジスティクス部部長インタビュー

13	14日（金）	日本大使館表敬訪問 報告書作成 JCC会合、ミニッツ署名
14	15日（土）	プノンペン発

\*カンボジア祝日

UNFPA : United Nations Population Fund (国連人口基金)

Sida : Swedish International Development Agency (スウェーデン国際開発協力庁)

## 1 - 4 主要面談者

### (1) 計画省統計局 (NIS)

Mr. San Sy Than	Director General
Mr. Hor Darith	Deputy Director General (in charge of economic statistics)
Mr. Khin Sovorlak	Deputy Director General (in charge of statistical standard and analysis)
Mr. They Kheam	Director, Demographics Statistics, Census and Survey Department
Mr. Kim Net	Deputy Director, Department of Social Statistics
Mr. Sin Sereivuth	Deputy Director
Mr. Lay Sophat	Deputy Director, Department of ICT
Mr. So Tonnere	Deputy Director, Department of Economic Statistics

### (2) カンダール州計画局

Mr. Min Chhun	Director
Mr. Chan Dara	Deputy Director
Mr. Prok Saboearn	Bureau Chief of Planning
Mr. San Sarith	Bureau Chief of Planning

### (3) コンボンチャム州計画局

Mr. Sway Sam Nang	Deputy Director
Mr. Sew Sopheap	Vice Bureau Chief of Planning
Mr. Meanchan Sokhemg	Chief of Statistics Office

### (4) コンボントム州計画局

Mr. Chan Saroeun	Deputy Director of Provincial Department of Planning
Mr. Sin Samnang	Bureau Chief of Planning
Mr. Thoung Vuthy	Vice Bureau Chief of Plannig

### (5) 計画省

Mr. Chhay Than	Senior Minister
Mr. Tuon Thavrak	Director General of Planning
Mr. Kong Sophat	Director of Financing and Accounting

(6) 経済財務省

Mr. Ratanak Hav Deputy Director, Department of Budget

(7) ドナー機関

Ms. Christina Cronsioe Chief Advisor, Institutional Capacity Building Project (Sida支援プロジェクト)

Mr. May Tum Deputy Country Representative, UNFPA

Mr. Yi Soktha Programme Officer, UNFPA

Mr. Chap Rathana Office Manager, UNFPA

(8) JICA専門家

西 文彦 チーフ・アドバイザー

伊藤 彰彦 総括、集計/審査

廣畑 伸雄 結果分析、センサス/調査計画策定、小地域統計

水田 広実 調査実施監理、小地域統計

山内 晶仁 集計/審査、結果分析、小地域統計、センサス/調査計画策定

澤田 城二 センサス/調査計画策定、小地域統計

(9) 在カンボジア日本大使館

近藤 直光 経済・経済協力班 二等書記官

(10) JICAカンボジア事務所

鈴木 康次郎 所長

灘本 智子 企画調査員

## 1 - 5 調査方法

### 1 - 5 - 1 中間レビューの手順

中間レビュー調査団は、「新JICA事業評価ガイドライン 第1版」(2010年6月)に基づき、プロジェクト関連資料並びに、C/P、専門家、その他関係者に対する質問票及びインタビュー調査を通じて収集した情報をレビューした。レビューのプロセスは以下のとおりである。

- ① プロジェクトの投入及び活動をレビューする。
- ② PDM及び活動計画表に基づき、プロジェクトのアウトプット、プロジェクト目標、上位目標に関し、計画時との比較により達成度を検証する。
- ③ プロジェクトの実施プロセスと運営状況を検証する。
- ④ プロジェクトの実績を評価5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性)の観点から分析する。
- ⑤ 効果発現の促進要因、阻害要因を確認する。
- ⑥ PDMに示された指標につき再検討する。
- ⑦ プロジェクトの残りの期間にとるべき措置につき、提言を取りまとめる。
- ⑧ 教訓を導き出す。

⑨ レビュー結果を合同中間レビュー報告書に取りまとめ、関係者に提示・協議する。

JICAはプロジェクトのレビュー、評価の価値判断の基準として、1991年に経済協力開発機構開発援助委員会（Development Assistance Committee of the Organization for Economic Cooperation and Development：OECD-DAC）により提唱された開発援助の評価基準である「評価5項目」を採用している。評価5項目の評価の視点は表－1のとおりである。

表 - 1 評価5項目の概要

5項目	評価の視点
妥当性	開発援助と、ターゲットグループ・相手国・ドナーの優先度並びに政策・方針との整合性の度合い。
有効性	開発援助の目標の達成度合いを測る尺度。
効率性	インプットに対するアウトプット（定性的並びに定量的）を計測する。開発援助が期待される結果を達成するために最もコストのかからない資源を使っていることを示す経済用語。最も効率的なプロセスが採用されたかを確認するため、通常、他のアプローチとの比較を必要とする。
インパクト	開発援助によって直接または間接的に、意図的または意図せずに生じる、正・負の変化。開発援助が、地域社会・経済・環境並びにその他の開発の指標にもたらす主要な影響や効果を含む。
持続性	ドナーによる支援が終了しても、開発援助による便益が継続するかを測る。開発援助は、環境面でも財政面でも持続可能でなければならない。

出所：新JICA評価ガイドライン 第1版（2010年6月）

#### 1－5－2 評価設問と指標

中間レビュー調査団は、評価5項目を踏まえ、評価設問を設定し、評価グリッドに取りまとめた（付属資料3を参照）。評価グリッドには評価設問のほか、評価に必要な情報の種類、データ収集方法と情報源、PDMに記された指標の分析の際の判断基準などを明記している。主な評価設問は次のとおりである。

- ・ プロジェクトの目標は受益者のニーズ、被援助国の開発政策、日本の援助政策と合致しているか。
- ・ プロジェクト目標は達成されることが見込まれるか。
- ・ プロジェクトは効率的に実施されているか。
- ・ プロジェクト実施による正・負のインパクトはあるか。
- ・ プロジェクトの効果の持続のために必要な政策、組織、技術的な環境は整っているか。

#### 1－5－3 データ収集・分析方法

中間レビューでは評価の価値判断に必要な定性的及び定量的データを収集し、分析した。本レビューにおいては、以下のデータ収集方法を採用した。

- ・ プロジェクト報告書、政策文書等の関連資料のレビュー
- ・ 主要関係者に対する質問票及び個別インタビュー（NIS職員、州計画局職員、JICA専門家、その他関係者）
- ・ NIS関係者との協議

- ・ NIS職員、州計画局職員の直接観察

#### 1－5－4 調査の制約

調査期間の関係上、州計画局からの情報収集は必要最低限となった。



## 第2章 プロジェクト概要

現行のPDMに記載されたプロジェクトの概要は以下のとおりである。

(1) 協力期間

2010年10月～2015年3月(4.5年間)

(2) 対象地域

カンボジア全土

(3) 実施機関

計画省統計局(NIS)

(4) 目標及びアウトプット

上位目標

NIS及び州計画局により有用な統計情報が提供され、中央省庁及び州政府の政策、計画、戦略等の立案・実施・モニタリングに活用される。

プロジェクト目標

NIS及び州計画局が、経済センサス、中間年人口調査、経済統計調査及びその他統計活動を実施する能力が向上する。

アウトプット

- 1) NIS及び州計画局が経済センサスをはじめ政府統計調査に関する政府統計の計画、調査実施を行えるようになる。
- 2) NISが経済センサスをはじめ政府統計調査における集計・結果表作成を行えるようになる。
- 3) NISが経済センサスをはじめ政府統計調査における結果分析を行えるようになる。
- 4) NISが、経済センサスをはじめとする政府統計調査結果の提供及び政府統計に関する理解促進を行えるようになる。
- 5) NISが経済センサスに関する小地域統計を実施できるようになる。
- 6) 州計画局が州レベル以下の行政単位における結果表の作成・公表を行えるようになる。
- 7) NIS及び州計画局が政府統計に必要な技術・知識を維持するための、仕組みが構築される。
- 8) NIS及び州計画局の調整能力が向上する。

## 第3章 プロジェクトの実績

### 3-1 投入実績

2010年10月から2012年12月末まで、日本側、カンボジア側双方の投入は以下のとおり実施された。

#### 3-1-1 日本側

##### (1) 専門家派遣

プロジェクト開始から2012年12月末までに26名の短期専門家（チーフ・アドバイザー、調査計画策定、センサス、調査実施監理、集計/プログラミング、集計、審査、地図作成、結果分析、小地域統計、業務調整/本邦研修の分野）が派遣された。合計従事人月数は2012年12月末までで87.46MMとなっている（詳細は付属資料1のAnnexを参照）。

##### (2) 機材供与

これまでに、州計画局を中心にオフィス機材、研修機材が供与された。総額は約979万3,000円（11万9,262米ドル）<sup>1</sup>である（詳細は付属資料1のAnnexを参照）。

##### (3) C/P研修及び技術交換

C/Pに対する本邦研修、第三国での技術交換プログラムが表-2のとおり実施され、延べ15名のC/Pが参加した（参加者リストは付属資料1）のAnnexを参照）。

表-2 本邦研修及び第三国技術交換プログラム

プログラム（テーマ）	開催地	実施期間	参加者数
中間年人口調査の調査計画	日本	3週間 (2011年1月)	3
中間年人口調査の集計	日本	3週間 (2012年1月)	3
スリランカセンサス・統計局との技術交換（小地域統計、人口センサス、産業センサス）	スリランカ	5日間 (2011年5月)	3
インドネシア統計局との技術交換（小地域統計）	インドネシア	5日間 (2011年9月)	3
ラオス統計局との技術交換（人口センサス、経済センサス、小地域統計）	ラオス	5日間 (2012年11月)	3

#### 3-1-2 カンボジア側

##### (1) カウンターパート配置

NIS局長がプロジェクト・ダイレクターを務め、プロジェクトの実施を監督するプロジェクト・マネジャーにNIS副局長が任命されている。プロジェクトが支援する2011年経済センサスと2014年中間年経済調査はMr. Khin Soeurn副局長が、2013年中間年人口調査はMrs.

<sup>1</sup> 2012年度のJICA為替レート表（12月：1米ドル=82.11円）に基づき計算。

Hang Lina副局長が全体の実施をリードしている。

(2) 実施経費負担

2011年経済センサスにおいては、カンボジア側が実施経費の20%（実施前の見積もりで670ドル）を負担した。プロジェクト事務所の光熱費<sup>2</sup>、プロジェクトスタッフ1名（Mr. Kim Net：社会統計課課長代理）のプロジェクト手当<sup>3</sup>もカンボジア側が負担している。

(3) プロジェクト事務所

計画省内にプロジェクト専門家の事務所スペースと家具が提供されている。また、会議や研修活動のために会議室が提供されている。

### 3 - 2 アウトプット達成状況

PDMに示された各アウトプットの達成状況は以下のとおりである。

(1) アウトプット1

アウトプット1：NIS及び州計画局が経済センサスをはじめ政府統計調査に関する政府統計の計画、調査実施を行えるようになる。	
指 標	達成状況
1-1 作成したヴィレッジ地図及び調査区地図の数	<p>【2011年経済センサス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヴィレッジ地図1万4,104枚</li> <li>・ 調査区地図1,550枚</li> </ul> <p>【2013年中間年人口調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヴィレッジ地図955枚</li> <li>・ 調査区地図955枚</li> </ul>
1-2 作成したヴィレッジ地図及び調査区地図を利用した統計調査数	<p>調査数3：2011年経済センサス及び経済センサス事後調査、2013年中間年人口調査 （本プロジェクト期間開始前に2011年経済センサスの予備調査、パイロット調査での利用実績あり）</p>

2011年の経済センサスはカンボジアで初の経済センサスであったが、NISと州計画局は同センサス及びその事後調査を遅滞なく実施している。州計画局は、プロジェクトでの研修や助言を得て、実践を通じヴィレッジ地図作成のノウハウを身に付けた。NISにおいては、経済センサスの調査区の設定は初めてであったものの、ほとんど問題はなく進んだ。作成されたヴィレッジ地図及び調査区地図は経済センサス及び関連する事前調査、パイロット調査、事後調査にも使用されている。NIS及び州計画局の統計調査計画・実施能力は、経済センサスにおけるこれら経験を通じて向上しており、プロジェクト後半で中間年人口調査、中間年経済調査を実施することで更に向上することが見込まれる。C/P、専門家ともに、プロジェクト終了までにNISが専門家の支援なく統計の計画、調査実施を行うことができるレベルに達するとの

<sup>2</sup> 日本政府が供与した無償資金協力の見返り資金の活用による負担。

<sup>3</sup> プロジェクト手当はPriority Operating Cost（POC）と呼ばれ、カンボジアの政令（sub-decree）によりプロジェクトのC/Pに支払われることになっている。通常ドナーが負担するものであるが、本プロジェクトではカンボジア側が負担している。

見直しをもっている。

(2) アウトプット2

<p>アウトプット2：NISが経済センサスをはじめ政府統計調査における集計・結果表作成を行えるようになる。</p>	
指 標	達成状況
2-1 結果表数	<p>【2011年経済センサス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 202表（全国レポート）</li> <li>・ 421表（全国プロファイル）</li> <li>・ 421表（各週の州別プロファイル）</li> <li>・ 全国レベルの57表と各州別の55表（州別レポート）</li> </ul>
2-2 個別データの作成件数	<p>【2011年経済センサス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 50万5,134の事業所データ</li> </ul> <p>【経済センサス事後調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4,600事業所データ</li> </ul>

初の経済センサスのデータ集計を経験し、質問票データ審査と符号付け、データ入力、データチェック、エラーデータの検出と修正などの各分野でNIS職員の知識と技術が大幅に向上した。経済調査データの集計は2011年の経済センサスが初めてであり、人口センサスよりも高度な技術を要するデータクリーニングに想定以上の労力と時間を要する結果となったが、JICA専門家による多大な技術的助言を得て、集計作業全体は大幅な遅れなく完了していることは特筆に値する。経済センサスのデータ集計の経験により、強化された知識と技術をベースに、2014年に予定されている中間年経済調査（サンプル調査）にて同様のプロセスを繰り返すことにより、専門家の支援が不要なレベルに達することが見込まれる。

(3) アウトプット3

<p>アウトプット3：NISが経済センサスをはじめ政府統計調査における結果分析を行えるようになる。</p>	
指 標	達成状況
3-1 NIS及び州計画局により作成、公表された分析レポートの数 <sup>4</sup>	<p>【2011年経済センサス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分析レポート11冊</li> <li>・ 州別レポート24冊</li> </ul>

経済センサスの結果分析報告書は既にいくつか完成・公表しているが、本格的な分析報告書は現在作成中であり、特に州別レポートの作業は少し遅れている。要因は、作成した表のデータの入力間違い、経済調査の結果分析に必要な分析方法、作表技術、企業財務分析の基礎知識などの不足、分析作業と2013年農業センサスの準備作業のスケジュール重複によるC/Pの時間不足などが挙げられる。進捗に遅れはあるものの、JICA専門家の助言により、分析能力は向上してきている。プロジェクト終了時までには同様の分析作業があれば分析能力の定着が見込まれる。

<sup>4</sup> PDM上は「NIS及び州計画局により」と表記されているが、本アウトプットはNISの能力向上をめざすものであることから、達成状況はNISの作成、公表レポート数のみを記載している。

## (4) アウトプット4

アウトプット4：NISが、経済センサスをはじめとする政府統計調査結果の提供及び政府統計に関する理解促進を行えるようになる。	
指 標	達成状況
4-1 刊行物、CD、ウェブサイト、統計地図及びセンサスアトラスの数	<b>【2011年経済センサス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パイロット調査速報レポート1冊</li> <li>・ センサス結果レポート5本（速報、統計アトラス速報、速報第二報、全国確報、県・コミュニケーション確報）</li> <li>・ 統計地図53枚</li> <li>・ インデックス地図54枚</li> <li>・ 境界変更地図4枚</li> <li>・ センサスアトラス1冊</li> </ul> <b>【2009年事業所リスティング】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統計アトラス1冊</li> </ul>
4-2 研修受講者数	<b>【2011年経済センサス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確報結果公表に関する研修（2012年3月実施）参加者約250名</li> </ul>
4-3 研修受講者の結果提供の準備・実施方法及びツールについての理解	未測定
4-4 開催されたワークショップ、セミナー数	<b>【2011年経済センサス関連】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3回：パイロット調査結果公表（170名）、速報公表（270名）、確報公表（160名）</li> </ul>

2011年の経済センサスの速報と確報は、刊行物や統計地図、センサスアトラスなどの形で、また、マスコミを通じ発表された。大規模な結果発表セミナーも数回開催しており、副首相による確報公表のセミナーには約650名が参加した。NISは統計調査結果の発表や広報活動には慣れており、初の経済センサスの結果提供をさまざまな形で行ったことで、提供能力は更に向上した。NIS職員は、さまざまなツールを使った結果の提供能力に自信をもっている。

## (5) アウトプット5

アウトプット5：NISが経済センサスに関する小地域統計を実施できるようになる。	
指 標	達成状況
5-1 経済センサスに関する、ディストリクト、コミュニティ、ヴィレッジ及び調査区別の小地域統計表数	<b>【2011年経済センサス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1表（速報レポート）</li> <li>・ 1表（確報レポート）</li> </ul>
5-2 小地域統計に関する研修の受講者数	<b>【2011年経済センサス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GIS研修参加者11名</li> <li>・ 州別レポート作成研修72名</li> </ul>
5-3 研修受講者の小地域統計に関する理解度	未測定

プロジェクトでは、NIS職員に対し、県別データに係る作表、分析、説明のための研修を実施した。NISは、経済センサスの州及び県別の結果を既に公表済みで、現在、県レベルのより詳細な情報を掲載した州別レポートとして取りまとめ中である。研修の効果については、州

別レポートの完成が待たれるところである。

(6) アウトプット6

アウトプット6：州計画局が州レベル以下の行政単位における結果表の作成・公表を行えるようになる。

指 標	達成状況
6-1 州計画局向けに実施した研修数	<ul style="list-style-type: none"> <li>2011年度対象州はコンポンチャム、カンダール、タケオ、プレアシハヌーク、バツタンバン、シェムリアップの6州、2012年度対象州はコンポンチュナン、プルサット、パイリン、バンティミエンチャイ、コンポントム、クラティエ、モンドルキリ、ケップ、コッコンの9州</li> <li>シニア・コマンディング・オフィサー (Senior Commanding Officer : SCO) 研修：2回 (2011年度)</li> <li>リージョナル・オフィサー (Regional Officer : RO) / アシスタント・リージョナルオフィサー (Assistant Regional Officer : ARO) 研修：4回 (各年度2回)</li> <li>州の計画局職員 (Small Area Statistics Sub-Project Officer : SASPO) 研修：8回 (各年度4回)</li> </ul>
6-2 研修を受講した州計画局の職員数	<ul style="list-style-type: none"> <li>15州の計画局研修参加者延べ257名</li> </ul>
6-3 結果表作成、結果公表に関する研修受講者の理解度	未測定
6-4 結果表数	<ul style="list-style-type: none"> <li>78表 (各州13表×6州) (小地域統計州別レポート)</li> </ul>

JICA専門家により育成されたSCOによる講師育成研修 (Training of Trainers : TOT) を受けたRO及びAROが15の州計画局に対し小地域統計研修を行った。同研修は、作表、統計地図作成、ディストリクト、コミューン、ヴィレッジ別のデータ分析、レポート作成について指導した。2008年の人口センサス及び2009年の事業所リスティングのデータを使用して、中間レビュー調査では、時間の制約上、各州の能力向上までは確認できていないが、NIS職員、JICA専門家、訪問した3州の計画局職員から収集した情報から判断する限り、作表、統計データ審査は州計画局にとって初めての経験であり、まだRO、AROからの少なからぬ支援が依然必要なようである<sup>5</sup>。州計画局の現在の能力にかんがみ、NISのC/P、JICA専門家ともに、アウトプット6達成には、プロジェクト後半でNISによる更なる支援努力が求められると考えている。

<sup>5</sup> 本プロジェクトでは、州計画局の経験にかんがみ、プロジェクト期間内に州計画局の能力が小地域に係る作表、統計データ審査をできるレベルになることをめざしており、分析能力の習得まではスコープに入れていない。

## (7) アウトプット7

アウトプット7：NIS及び州計画局が政府統計に必要な技術・知識を維持するための仕組みが構築される。	
指 標	達成状況
7-1 詳細手続きに関し整備した各種資料数	<b>【2011年経済センサス関連】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアル19種（調査区設定、マッピング、データ集計、データ分析、事後調査等）</li> </ul> <b>【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>2013年中間年人口調査マッピングマニュアル</li> <li>小地域統計マニュアル8種</li> </ul>

プロジェクトでは統計調査実施に係るマニュアル等の作成をきめ細かく行ってきた。特に経済センサスは人口センサスと異なる知識や技術を要することから、これまでに多くの参照資料を作成している（作成された資料については付属資料1のAnnexを参照）。NISの職員は経済センサス実施にあたり、作成されたマニュアル類を頻繁に参照しており、非常に役立つとしている。経済センサスの際に準備されたマニュアルは2014年の中間年経済調査を含む他の経済統計調査にも使用される予定である。また、小地域統計に係るマニュアル等も作成されており、州計画局職員研修の際に配布されている。

しかし、マニュアル等の参照資料の管理は体系だった形で行われていない。プロジェクト活動に参加した職員個人が関連する資料を一部ずつ所有しており、NIS内で他の職員と電子データやハードコピーによる共有は行われていない。

## (8) アウトプット8

アウトプット8：NIS及び州計画局の調整能力が向上する。	
指 標	達成状況
8-1 関係機関との会議記録	関係機関との会議の内容はすべて議事録に残されている。
8-2 関係機関との調整会議数	<b>【合同調整委員会（JCC）】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>3回</li> </ul> <b>【2011年経済センサス関連】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>国家運営委員会（National Steering Committee：NSC）会合1回</li> <li>国家センサス委員会（National Census Committee：NCC）会合2回*</li> <li>センサステクニカル委員会（Census Technical Committee：CTC）会合3回*</li> <li>各州の州センサス委員会（Provincial Census Committee：PCC）会合（回数不明）**</li> </ul> <b>【中間年人口調査関連】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>テクニカル委員会会合6回</li> </ul> <b>【中間年経済調査関連】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>テクニカル委員会会合1回</li> </ul>

\*NCC及びCTCの各会合の前には準備会合が開かれている。

\*\*PCC会合の開催回数は州によって異なるが、プロジェクトで記録は取っていない。

NISは、本プロジェクトが支援するセンサス、統計調査に係る関係機関間の調整を非常に適切に行ってきた。NISの統計活動に関しては、各種の効果的な調整メカニズムが存在し、常設の統計調整委員会（Statistics Coordination Committee : SCC）が政府統計活動全般の調整のプラットフォームとしての役割を果たしており、ドナーとの調整は統計マスタープラン（Statistics Master Plan : SMP）のテクニカル・ワーキング・グループ（Technical Working Group : TWG）が行っている。いずれもNIS局長が議長を務めている。また、センサスごとに委員会が個別設置される。センサスの円滑な実施促進のため関係省庁間の調整をハイレベルで行う委員会としてNCCが設置され、また、ワーキングレベルの調整、進捗の共有は、NIS、関係省庁、ドナーをメンバーとするCTCの会合にて行われる。NISはこれらの委員会を通じて関係機関からの協力を取り付け、2011年の経済センサスの際は、調査対象（事業所）の調査への協力促進、センサスキャンペーン実施のために関係機関の支援を得た。CTCは経済センサス実施に係る資金調達についての議論の場としても重要であった。2013年の中間年人口調査、2014年の中間年経済調査についても既にテクニカル委員会がそれぞれ設置されており、現在まで調整は円滑に進んでいる。

州レベルでは、州政府と中央政府各省の出先(局)により構成される州センサス委員会(PCC)が各州でのセンサス実施のための調整メカニズムとなっている。PCCは各州で設置されているが、本レビュー調査においては時間の制約上その有効性までは確認できなかった。

### 3 - 3 プロジェクト目標達成状況

上述のアウトプットの達成状況にかんがみ、プロジェクトは目標に向かって順調に進展している。指標に照らしたプロジェクト目標の達成状況はまだ測定されていないが、現在の進捗状況は以下のとおりである。

プロジェクト目標：NIS及び州計画局が、経済センサス、中間年人口調査、経済統計調査及びその他統計活動を実施する能力が向上する。	
指 標	達成状況
経済センサス、中間年人口調査、経済統計調査その他統計調査の計画・データ収集、集計、分析、結果提供、及び結果の利活用を行う能力のあるNISの職員数	NIS職員は、2011年経済センサスの計画、実施、データ集計段階をJICA専門家の支援を得つつ、成功裏に完了した。結果分析については、全国レポート、州別レポートをいくつか作成済みである。引き続き詳細分析レポートを作成中である。
経済センサス及び人口センサスの結果表作成、結果提供、利用についての訓練を受け、州計画局を対象に実施する研修で指導員となるに十分な能力を身に付けたRO、AROの数	60名のRO、AROが州計画局に対する作表、統計地図作成、データ分析の研修を行うトレーナーとなるための研修を受けた。RO、AROは、州計画局への研修実施、フォローアップを通じ能力を向上させている段階であり、既に15州で研修を実施している。

プロジェクト前半は経済センサスの実施支援を中心とし、NISはカンボジア初の経済センサスを、大きな遅れなくプロジェクト活動を遂行し、計画、実施、データ集計、結果分析、結果提供、小地域統計、関係機関の調整に必要な基本的能力は向上した。しかし、データ集計や進行中の結果分析などにおいては困難もあり、JICA専門家の多大な努力が問題の克服に大きく貢献したことは



特筆すべきである。2013年の中間年人口調査、2014年の中間年経済調査においては、よりNISがリードをとる形で各活動を実施し、これまでに築かれた基礎を一層強固にすることが望まれる。アウトプット7に係る活動による、政府統計に必要な技術・知識を維持するための仕組みの構築は、局長以下のミドルマネジメントのリーダーシップの確立に向けたNISの努力を後押しするものと期待される。

州レベルでは、州計画局の統計調査実施の経験は十分であり、初めての経済センサスでも期待された責務を大きな問題なく遂行した。しかし、初めての小地域統計では進捗は遅く、RO、AROからの支援が想定以上に必要となっている。

### 3 - 4 上位目標達成状況

現段階で上位目標の達成状況を測定することは時期尚早であるが、達成状況を示すいくつかのエビデンスが以下のとおり確認できた。

上位目標：NIS及び州計画局により有用な統計情報が提供され、中央省庁及び州政府の政策、計画、戦略等の立案・実施・モニタリングに活用される。	
指 標	達成状況
NIS及び州計画局が提供する統計情報が、政策、計画及び戦略等に利活用された数	<p>NISによる統計データは多くの省庁で使用されている。また、政府の以下の基幹開発政策のモニタリングに使用されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家戦略開発計画（National Strategic Development Plan：NSDP）</li> <li>・ ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals：MDG）</li> <li>・ ASEAN（Association of Southeast Asian Nations：東南アジア諸国連合）枠組み協定</li> </ul>
NIS及び州計画局が実施した統計調査の数	<p>プロジェクト開始以降、NISと州計画局により以下の統計調査が実施された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2011年経済センサス</li> <li>・ 社会経済調査（2011年、2012年）</li> <li>・ 中間年人口調査（実施中）</li> <li>・ 農業センサス（実施中）</li> <li>・ カンボジア標準産業分類</li> <li>・ その他、消費者物価指数（Consumer Price Index：CPI）調査などの小規模調査</li> </ul>
NIS及び州計画局が提供した統計結果の数	<p>プロジェクト開始以降、NISにより以下の統計調査結果が公表された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業所リスティング（2009年）</li> <li>・ 2011年経済センサス</li> <li>・ 社会経済調査（2011年、2012年）</li> <li>・ カンボジア標準産業分類</li> <li>・ 月間CPI</li> </ul>

NISはほぼ3年ごとにセンサスを実施しており、ほかにもさまざまな統計調査を実施している。調査結果は主として政府機関に使用されている。また、NISによれば、結果は政府の進める地方分権化プロセスにおいても使用されている。

また、本中間レビュー調査におけるインタビューでは、NIS局長並びに計画省の計画局長が、計画作成と統計活動の相乗効果を強調しており、この点においても、上位目標達成に向けた良い兆候が確認できたといえる。

### 3 - 5 実施プロセス

#### 3 - 5 - 1 プロジェクト実施

プロジェクト活動はこれまでのところ大きな遅れなく実施されている。これは、NISの統計調査実施の経験、プロジェクトにより支援された統計調査の計画の有効性によるところが大きい。経済センサスにおけるいくつかの作業での遅れに対応したJICA専門家の多大な努力も大きく貢献している。

プロジェクトのマネジメントは、関係機関の調整、実施スケジュールの管理、大人数のJICA専門家間の調整、NISの幹部のコミットメント等の観点で適切であった。実施スケジュールについては、専門家の滞在期間は短期ベースであること、また、C/Pがオフィスにいる時間が限られているといった環境にもかかわらず、しっかりと管理されている。専門家間のコミュニケーション、調整は、多数の短期専門家が派遣されるプロジェクトの円滑な実施にとって重要な要素であり、本プロジェクトでは適切に行われている。NIS局長のプロジェクトへのコミットメントが高い点も円滑な実施の重要な要因となっている。

一方、プロジェクトの後半の活動実施に向けて改善の余地もある。1つは、NIS側は局長のコミットメントも高く、プロジェクト実施全体を監督する副局長も配置しているが、プロジェクトのマネジメントがJICA専門家に任されていることである。結果として、プロジェクト全体の進捗等についてのNIS側との情報共有が難しくなり、カンボジア側のオーナーシップが発揮されていないため、プロジェクトのマネジメントにおいてNIS側がよりリードをとることが必要である。また、各分野（データ集計、データ分析、結果提供など）のプロジェクト活動にC/Pが部局を超えて配置されていることから意思伝達経路が確立されにくく、専門家とC/Pのコミュニケーションの効率化を妨げると同時に、専門家がプロジェクト活動を先導せざるを得なくなっている。もう一点懸念されるのは、農業センサスの実施スケジュールが早まったことで、一部のC/Pが業務重複により多忙となり、詳細分析報告書の作成が遅れていることである。この点は適切な対処が必要である。

#### 3 - 5 - 2 関係機関との調整

本プロジェクトは経済センサス、中間年人口調査、中間年経済調査の実施を支援しているが、関係機関の協力及びインプットは、それら調査の実施において重要な要素である。NISと関係省庁の調整は各種委員会を活用して非常に効果的に行われており、統計調査の円滑な実施、関係省庁による統計調査結果の活用の双方を促進している。調整が効率的・効果的に行われているのは、上述のNCCやCTCなどのカンボジア政府の調整メカニズムが有効に機能していることによるところが大きい（「3 - 2 アウトプット達成状況」参照）。それらのメカニズムを通じ、トップレベル及びワーキングレベルの双方で適切な調整が行われている。

プロジェクトと他のドナー支援活動との調整も適切に行われている。中間年人口調査については、国連人口基金（United Nations Population Fund：UNFPA）とJICAの2者がNISを支援しており、両者間の支援分担は明確で、テクニカル委員会での対話やNISとUNFPA、JICA、及び、UNFPAとJICAの2者間の不定期の会合などを通じ、活動もしっかり調整されている。この点に関しては、本プロジェクトのチーフ・アドバイザーが重要な役割を果たしている。UNFPAとJICAとの間では、手当基準の調和化など難しい問題があるものの、現地事務所、プロジェクト専門家がNISと協議しつつ、解決に向けて努力している。UNFPA以外のドナーとの調整は今のところそれほど必要となっていないが、前述のSMPのTWGやチーフ・アドバイザーと他ドナー支援プロジェクトのコンサルタント間のインフォーマルな会合等を通じ、活動の情報共有が行われている。

## 第4章 評価結果

本中間レビュー調査で行ったインタビュー、関連資料のレビュー、いくつかの州計画局への訪問によって収集した情報を基に、本プロジェクトの妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性につき、評価を行った。結果は以下のとおりである。

### 4 - 1 妥当性

カンボジア政府の基本開発計画である国家戦略開発計画（NSDP）は優先政策実施における統計情報の重要性を強調している。特に民間セクター開発及び国内外からの投資誘致において、経済センサスが重要な手段として認識されている。また、2014年の中間年人口調査を含むCambodia Demographic and Health Surveyなど各種人口関連調査は、国家人口政策実施のために高い優先順位が付けられている。NSDPでは、人口政策実施のため、人口データの分析、全国及び地方レベルでの結果提供、データ活用の強化などを行っていくこととされている。さらに、本プロジェクトの目標は、政府統計の活用促進、NISによるタイムリーかつ質の高い統計情報の提供をめざすSMP 2008-2015にも資するものでもある。

また、本プロジェクトは、統計能力の改善を含む行政機能強化を支援の重点のひとつとする日本の対カンボジア国別援助計画とも整合している。

以上より、プロジェクトはカンボジアの開発ニーズ、開発政策、日本政府の援助政策と整合しており、妥当性は非常に高い。

### 4 - 2 有効性

指標に照らしたプロジェクト目標の達成度は中間レビュー調査では測定されていないが、プロジェクト前半におけるカンボジア初の経済センサスの実施を通じ、統計調査計画・実施、データ集計、結果分析と分析報告書の作成、結果の提供のいずれの分野においてもNISの能力は向上しているといえる。小地域統計についても、NISの担当職員の能力向上が進み、州計画局への支援を行うことができるまでになっている。

一方、州計画局については、経験に基づき経済センサスを含む統計調査を実施する能力は備えているものの、小地域統計については、RO、AROによる支援量は想定より多くなっており、進捗も遅いことから、プロジェクト後半にはNISによる更なる支援が必要である。

以上のとおり、一部更なる努力が求められるものの、プロジェクト目標の達成に向けた進捗状況は良く、実施プロセスもおおむね円滑であることから、高い有効性が見込まれる。

### 4 - 3 効率性

プロジェクトの進捗、達成度に照らし、両国のインプット、プロジェクト活動はおおむね適切に行われており、プロジェクトの円滑な実施を妨げる深刻な問題は見受けられない。

日本側の投入は必要最低限に抑えられている。専門家は活動計画に合わせて短期派遣ベースで投入され、費用効率が高い。機材はプロジェクト活動に必要なもののみとなっており、先行する2フェーズにおける投入も考慮し、ほとんどが州計画局に供与されている。C/P研修、第三国での技術交換プログラムも人数、内容にかんがみ、費用対効果が高い。

カンボジア側も十分な人数のC/Pを配置し、プロジェクトの円滑な実施に貢献している。費用負

担についても、経済センサスでは全費用の20%を負担した。一方で、農業センサスの実施スケジュールの変更により一部のC/Pのプロジェクト従事時間が制限され、現在の日本側の投入計画ベースでのプロジェクト活動の円滑な実施に対するリスク要因となっている。

ほかにも当初計画を超えて追加的な対応がとられていることが確認された。ひとつは、経済センサスの一部作業において、計画よりも時間を要したことから、JICA専門家の業務量が増え、派遣期間を超えて日本からの支援が必要となっている。また、小地域統計に関し、州計画局の能力向上が遅いことから、RO及びAROによる州計画局支援が当初予定よりも増え、研修後もフォローアップの訪問や小地域統計レポート作成に係る技術支援が行われている。

#### 4 - 4 インパクト

NISの統計情報はカンボジアの省庁により利用されており、NSDPやMDG、ASEAN枠組み協定などの基本開発政策のモニタリングに使用されるなど、プロジェクトは将来の上位目標の達成に向けて顕著な進捗を示している。また、2013年に予定されているNSDP改訂においてもNISの統計情報が利用されることが見込まれる。各省による経済センサスの結果の活用はまだ確認されていないが、鉱工業エネルギー省や経済財務省など各省庁の計画策定、実施などに活用される可能性は高い。

また、経済センサスの全国キャンペーンを通じ、一般市民の統計情報の重要性の認識、NISの活動や日本の協力に係る認知度も高まった。

そのほかにも、NISの統計情報が国外で活用されている例も確認された。日本のアジア経済研究所や一橋大学経済研究所では研究論文に2011年の経済センサスの結果が使われている<sup>6</sup>。

経済センサスに関しては、今後さまざまなインパクトが期待できる。例えば、国民経済計算の質の向上、ひいては効果的な産業政策の策定への貢献、プロジェクトの下で作成された事業所ディレクトリーとサンプリングフレームの将来の経済調査への活用などが挙げられる。

また、本プロジェクトの下で初の試みとして行われているディストリクト、コミュニオン、ヴィレッジレベルの小地域統計の提供は、カンボジア政府の進める地方分権化に重要なインパクトをもち得る。小地域統計の発展にはまだ時間を要すが、プロジェクトによる小地域統計導入の試みは、将来に向けた重要なステップといえる。

他ドナーとの相乗効果も期待できる。本プロジェクトのC/Pの一部は農業センサス〔国連食糧農業機関（Food and Agriculture Organization : FAO）他が支援〕に参加しており、本プロジェクトでの経験、技術が農業センサスの効果的な実施に貢献すると思われる。また、経済センサスの結果は、他ドナーの援助政策やプロジェクト計画の策定・実施において活用されることが見込まれる。世界銀行による投資環境アセスメントに活用された例が確認されている。他方で、他ドナーによるNIS支援が本プロジェクトの上位目標達成を促進する面もある。農業センサスへのドナーによる技術支援がNISの技術力を向上させると考えられるほか、スウェーデン国際開発協力庁（Swedish International Development Agency : Sida）による英語研修などの支援はNISのレポートの質の改善につながるであろう。

上記の数々のインパクトのほかにも特筆すべきインパクトが中間レビュー調査にて確認された。

<sup>6</sup> 2011年の経済センサス結果を利用した論文は以下のサイトに掲載されている。

<http://scholar.qsensei.com/content/1qdtk7> [http://gcoe.ier.hit-u.ac.jp/research/newsletters/pdf/newsletters\\_no6.pdf](http://gcoe.ier.hit-u.ac.jp/research/newsletters/pdf/newsletters_no6.pdf)

プロジェクトの下で行われたスリランカセンサス・統計局との技術交換の結果、NISは同局からマニュアルや資料の提供の依頼を受けた。スリランカは2014年に同国初の経済センサスを実施すべく準備中である。

#### 4 - 5 持続性

プロジェクトはアウトプット、目標の持続性を確保するため、努力を続けている。政策・制度、組織、財政、技術面からみた現時点での持続性は以下のとおりである。

政策・制度面では、統計調査に対する支援は確保されているといえる。人口センサス、経済センサスの10年ごとの実施、省庁間の調整メカニズムの設置は統計法（2005年）に定められており、2008年に策定されたSMPでは、プロジェクトが支援する中間年人口調査と中間年経済調査やその他のセンサス・統計調査の実施が2015年まで計画されている。

組織面では、上述のとおりNIS局長のコミットメントは高く、プロジェクト全体を監督する副局長も配置されている一方で、プロジェクトのマネジメントは専門家に任されている。結果として、プロジェクト全体の進捗の情報共有が難しくなると同時にNISのオーナーシップを損ねかねない状態となり、組織面での持続性担保のリスク要因となっている。

財政面では、継続した統計調査活動実施のための資金確保について特に懸念が残る。これまでは実施費用の多くをドナーに依存しており、計画されている統計調査のいくつかについては資金調達の目途が立っていない。個人の知識と技術の維持だけでなく組織的なノウハウの維持のためにも統計調査のための適切な資金調達は必須である。既に複数のドナーがプロジェクト従事手当（POC）の支給廃止を決定しているなか、NISが各統計調査に必要なかつ適切なNIS職員を配置できるかどうかにも不安が残る。カンボジア側はセンサスや統計調査費用の負担を増加させており、2008年人口センサスでは10%、2011年経済センサスでは20%を負担しているが、資金負担は統計調査ごとにカンボジア側により決定され、ドナー支援プロジェクトへのカウンターパート・ファンドとして拠出されている。SMPとのリンクも必ずしも確保されておらず、適切な資金調達がリスク要因となっている。また、州計画局レベルにプロジェクトの下で供与された機材の維持費用の確保が必要となっている点が挙げられる。

技術面では、プロジェクトでは組織的な知識の蓄積のため、マニュアル等の参照資料の整備を行っており、JICA専門家による実践重視の技術協力方法が技術力の持続性にも貢献すると考えられる。他方で、小地域統計に関し懸念が確認されている。プロジェクトでは州計画局の小地域統計に係る能力向上を目的としたサブプロジェクトを実施しており<sup>7</sup>、州計画局はサブプロジェクトの下で研修を受け、データ集計、データ審査、作表、結果提供などに取り組んでいる。州計画局による小地域統計活動の継続、技術力の維持のためには、このキャパシティ・ディベロップメントの枠組み〔RO、AROのTOR（Terms of Reference）に州計画局研修の明記、州計画局への研修実施〕を継続する必要がある、そのためのアクションプランをNISが作成することが望まれる。

<sup>7</sup> PDM上は表記されていないが、プロジェクト関係者間では、小地域統計に係る州計画局への支援は小地域統計サブプロジェクトと呼ばれている。

## 第5章 結 論

上記の実績の確認、評価結果を踏まえた中間レビューの結論は以下のとおりである。

### 5 - 1 プロジェクトの実績

プロジェクトでは、予期せぬ状況に直面したり、いくつかの作業の進捗が遅いといった問題もあったものの、活動は大きな遅れなく進んでおり、実績を残している。プロジェクト前半はカンボジア初の経済センサスに注力し、NISは同センサスを成功裏に実施した。この実績の主な要因は、NISが経験を積み上げてきたこと、適切な調査計画が立てられたこと、関係機関間の調整が非常に効果的であったこと、JICA専門家による多大な支援があったことにある。

上記の実績にかんがみ、プロジェクトは期間内にアウトプット、プロジェクト目標を達成することが見込まれる。

### 5 - 2 5項目による評価

プロジェクトの目標はカンボジアの開発ニーズ、同国政府の開発政策、日本の援助政策のいずれとも整合しており、妥当性は事前評価時に引き続き非常に高い。プロジェクトはプロジェクト目標の達成に向けて順調な進捗を示しており、現時点での有効性は高い。実施プロセスにおいていくつかの懸念材料も確認されたが、投入、活動内容はおおむね適切で、プロジェクトの円滑な実施を促進している。NISの統計情報がカンボジア政府の基幹的な開発政策のモニタリングに活用されるなど、上位目標の達成の見込みは高く、政府外でのNISの統計情報の活用などの正のインパクトは今後更に拡大すると考えられる。プロジェクトの下で作成された各種マニュアルや参照資料、実践重視の技術協力方法により、プロジェクトの効果の持続性も促進されるだろう。さらに組織・制度的課題に取り組むことで、効果の持続性が確保されることが期待される。

## 第6章 提言と教訓

### 6 - 1 提言

上記の調査結果を踏まえ、プロジェクトの後半に向けて以下の点を提言する。

#### (1) プロジェクトマネジメントにおける強いオーナーシップの確保

上述のとおり、カンボジア側はプロジェクトの実施全体を監督する副局長を配置しているが、プロジェクトマネジメントは実質的にJICA専門家に任されており、プロジェクト全体の進捗に係る情報共有、NISのオーナーシップの確保に懸念があることから、NISがよりリードをとってプロジェクトのマネジメントを行うことが望まれる。

#### (2) 統計活動への予算確保

NISの技術力は、JICA専門家の支援を得つつ各種の統計調査を実施することで強化されつつある。プロジェクトの下で得た技術を維持するためには継続的な統計活動実施が必要であるが、資金調達の見途が不透明である。政府予算の配分に係る意思決定はNISや計画省の手中にはないが、発意の機会を有しているため、投資予算としての統計活動資金の確保、統計活動のための年間経常予算の増加に向け、NIS及び計画省がより一層努力することが期待される。また、それら予算は複数年度及び単年度の投資・予算枠組みに含まれる必要がある。中間レビュー後、できる限り早急に統計活動の資金調達に係るアクションプランの提示を求める。

#### (3) 州レベルでの調整の促進

中間レビュー調査では、統計調査実施に係る中央レベルでの関係機関の調整は、統計調整委員会（Statistics Coordination Committee : SCC）やTWGなどの常設のプラットフォーム、NCCやCTCなどの統計調査ごとに組成される委員会を通じ効果的に行われていることが確認された。関係機関間の調整は定着がみられ、円滑で効果的な統計調査の実施に引き続き不可欠であるところ、これらのメカニズムの継続が必要である。一方で、州レベルの調整の有効性については不透明である。本プロジェクトでは中央レベル、州レベル双方での調整能力向上をめざしており（アウトプット8）、州レベルでの効果的な調整をNIS及び計画省が確保することが必要である。そのためのアクションをプロジェクトの最終JCC会合あるいは終了時評価の際に示すことを求める。

#### (4) 州計画局の支援メカニズムの検討

州計画局はプロジェクトの下で小地域統計に取り組んでいるが、州計画局にとっては初めての経験であり、NISが当初想定していたよりも難しい作業であることが判明した。プロジェクト終了までには2008年人口センサスと2009年事業所リスティングの統計データを使用した作表、データ審査の能力が養われると見込まれるが、州計画局による小地域統計の継続、プロジェクトで学んだ技術の維持にはNISからの継続した支援が必要と予測される。NISは現在RO、AROを通じた支援を行っているが、RO、AROの配置はプロジェクト期間に限られているところ、プロジェクト終了までに持続可能な支援メカニズムをNISが構築することが望まれる。この点に関し、最終JCC会合あるいは終了時評価時にNISによるアクションの提示を求める。



(5) その他

上記以外に特筆すべき点として、カンボジアの公務員の給与レベルに関する問題がある。中間レビュー調査でのNISとの会合では、職員の統計調査への継続的な参加には金銭的なインセンティブが必要との発言があった。給与の問題は短期的に解決可能なものではないが、公務員制度改革を通じてカンボジア政府による中長期の取り組みが待たれる。

6 - 2 教 訓

NISは、各センサスに集中するため、通常3年間隔でセンサスを実施している。農業センサスの実施が早まったことで、経済センサスの分析作業を行う何人かのC/Pが本プロジェクトの活動に十分な時間を割くことが難しくなっている。このような問題はNISでは例外的であるものの、本件により、円滑な統計活動の実施には統計活動間のスケジュール調整が非常に重要であるという教訓が得られた。

## 第7章 PDMの修正

本中間レビューではPDMの改訂は行わなかったが、和文のPDMに関し、関係者により分かりやすいものとするため、以下のとおり若干の修正を行った。

修正前	修正後	修正の理由
<p>アウトプット6：州計画局が州レベル以下の行政単位における結果表の作成・公表を行えるようになる。</p>	<p>アウトプット6：州計画局が州レベル以下の行政単位における結果表の作成・公表を行えるようになる（小地域統計サブプロジェクト）</p>	<p>アウトプット5（NISが経済センサスに関する小地域統計を実施できるようになる）との違いを明確にするため。また、アウトプット6に関する活動はプロジェクト関係者間では「小地域サブプロジェクト」と呼ばれているため。</p>
<p>アウトプット5：NISが経済センサスに関する小地域統計を実施できるようになる。</p> <p>（客観的な評価指標）</p> <p>5-1 経済センサスに関する、ディストリクト、コミュニティ、ヴィレッジ及び調査区別の小地域統計表数（作成された数、公表された数）</p> <p>5-2 小地域統計に関する研修の受講者数</p> <p>5-3 研修受講者の小地域統計に関する理解度</p>	<p>5-2 研修の受講者数</p> <p>5-3 研修受講者の理解度</p>	<p>アウトプット5の達成度を測る評価指標として、「小地域統計に関する」は自明のことであり、アウトプット6の小地域統計と混乱するため削除する。</p>

## 第8章 終了時評価に向けた検討事項

終了時評価におけるプロジェクト目標（NIS及び州計画局が、経済センサス、中間年人口調査、経済統計調査及びその他統計活動を実施する能力が向上する）の達成度測定のための準備として、政府統計に係るキャパシティの定義、測定方法に関し、本中間レビュー調査にて、専門家と以下のとおり整理を行った。

- ・ 政府統計に係るキャパシティを①政府統計調査に関する計画立案・調査実施能力、②集計・結果表作成能力、③結果分析能力、④政府統計調査結果の提供能力、政府統計に関する理解促進活動の企画・実施能力、⑤小地域統計の実施能力、⑥政府統計に必要な技術・知識の維持能力、⑦関係機関との調整能力、と定義する。
- ・ プロジェクト開始時にベースラインとしてC/Pキャパシティの相互評価レーティングが行われているが、終了時評価においてベースラインとの有効な比較ができるよう、レーティングの解釈につき、まずは日本側で以下のとおり整理する方向で検討していく。具体的な測定方法としては、個々人の判定を行ったのち、全体の平均値を算出し、その値をみることによってプロジェクト開始時点と終了時点でNISのキャパシティ水準を比較することが考えられる。

レーティング	解 釈
5 (Excellent)	センサスや統計調査の担当分野について、独自に業務を遂行できる。
4 (Good)	センサスや統計調査の担当分野について、マニュアルや資料を参照しながらであれば独自に業務を遂行できる。
3 (Sufficient)	センサスや統計調査の担当分野について、専門家のアドバイスがあれば、マニュアルや資料を参照しながら業務を遂行できる。
2 (insufficient)	センサスや統計調査の担当分野について、専門家のアドバイスのほか、若干の業務支援があれば、マニュアルや資料を参照しながら業務を遂行できる。
1 (poor)	センサスや統計調査の担当分野について、専門家のサポートがなければ全く業務を遂行できない。

## 付 属 資 料

1. 討議議事録（ミニッツ）
2. 修正PDM（和文）
3. 評価グリッド
4. 政府統計団員所見
5. NISからのプロジェクト進捗説明発表資料

1. 討議議事録（ミニッツ）

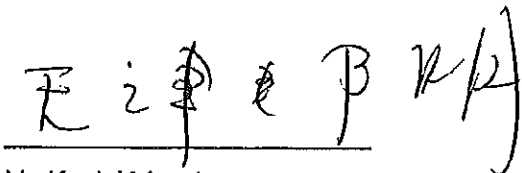
MINUTES OF MEETINGS  
BETWEEN  
THE JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY  
AND  
THE AUTHORITIES CONCERNED OF  
THE ROYAL GOVERNMENT OF CAMBODIA  
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR  
THE PROJECT ON IMPROVING OFFICIAL STATISTICS IN CAMBODIA PHASE3

The Japanese Mid-Term Review Team (hereafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Kuniaki AMATSU, visited the Kingdom of Cambodia from 2 to 14 December, 2012 and had a series of discussions and exchange views with authorities concerned of the Royal Government of Cambodia. The purpose of the Team was to confirm the achievements made so far in the project, and to make the mid-term review for the Project on Improving Official Statistics in Cambodia Phase3 (hereafter referred to as "the Project").

During its stay, both the Team and authorities concerned of the Royal Government of Cambodia (hereafter referred to as "both sides") had a series of discussions and exchanged views on the Project. Both sides jointly monitored the activities and evaluated the achievements based on the Project Design Matrix (hereafter referred to as "PDM version 0").

As a result of discussions, both sides agreed upon the matters referred to in the Joint Mid-Term Review Report for the Project as endorsed by JCC (Joint Coordinating Committee) on 14 December, 2012.

Phnom Penh, December 14, 2012



Mr. Kuniaki Amatsu

Leader

The Mid-Term Review Team

Japan International Cooperation Agency

Japan



H.E Mr. San Sy Than

Director General,

National Institute of Statistics

Ministry of Planning

Kingdom of Cambodia

JOINT MID-TERM REVIEW REPORT  
ON  
THE PROJECT ON IMPROVING OFFICIAL STATISTICS  
IN CAMBODIA PHASE 3

Phnom Penh, December 14, 2012

National Institute of Statistics, Ministry of Planning,  
The Government of Kingdom of Cambodia  
and  
Japan International Cooperation Agency

RS

SR

## TABLE OF CONTENTS

### List of Abbreviations

#### 1. Introduction

1-1. Objectives of the Mid-Term Review Study

1-2. Members of the Review Team

1-3. Schedule of the Study

#### 2. Outline of the Project

2-1. Background of the Project

2-2. Summary of the Project

#### 3. Methodology of the Review

3-1. Steps of the Review

3-2. Evaluation Questions and Indicators

3-3. Data Collection Methods and Analysis

3-4. Constraints of the Method

#### 4. Project Performance

4-1. Inputs

4-2. Achievement of Outputs

4-3. Achievement of Project Purpose

4-4. Achievement of Overall Goal

#### 5. Project Implementation Process

5-1. Project Implementation

5-2. Coordination with Development Partners and Related Cambodian Authorities

#### 6. Evaluation Results

6-1. Relevance

6-2. Effectiveness

6-3. Efficiency

6-4. Impact

6-5. Sustainability

#### 7. Conclusion

7-1. Achievement of the Project

7-2. Evaluation by Five Criteria

#### 8. Recommendations and Lesson Learned



ANNEX List

Annex 1 : Schedule of the Mid-Term Review Study

Annex 2 : NIS Organizational Chart

Annex 3 : Lists of the Related Committee Member

Annex 4 : Lists of Equipment Provided

Annex 5 : Assignments of the Japanese Experts

Annex 6 : List of Counterparts participating training in Japan and technical exchange in  
Indonesia and Sri Lanka and Lao PDR.

Annex 7 : Progress of Activities

Annex 8 : Achievements of the Project Outputs

Annex 9 : List of Publications

Annex 10 : List of Manuals and Documents

Annex 11 : PDM ver.0

RC

SA



## Abbreviations

ARO	Assistant Regional Officer
CIES	Cambodia Inter-censal Economic Survey
CIPS	Cambodia Inter-censal Population Survey
CTC	Census Technical Committee
C/P	Counterpart
DG	Director General
DDG	Deputy Director General
EA	Enumeration Area
EC	Economic Census
FAO	Food and Agriculture Organization of the United Nations
JCC	Joint Coordination Committee
MEF	Ministry of Economy and Finance
MIME	Ministry of Industry, Mine and Energy
M/M	Minutes of Meeting
MoP	Ministry of Planning
NCC	National Census Committee
NIS	National Institute for Statistics
NSC	National Steering Committee
NSDP	National Strategic Development Plan
OVI	Objectively Verifiable Indicator
PCC	Provincial Census Committee
PDM	Project Design Matrix
PDP	Provincial Department of Planning
PO	Plan of Operations
R/D	Record of Discussion
RGC	Royal Government of Cambodia
RO	Regional Officer
SAS	Small Area Statistics (conducted by PDPs)
SCC	Statistics Coordination Committee
SCO	Senior Commanding Officer
SIDA	Swedish International Development Agency
SMP	Statistical Master Plan
TWG	Technical Working Group
UNFPA	United Nations Population Fund

天: 月

— 57 —

## 1. Introduction

### 1-1. Objectives of the Mid-Term Review Study

Japan International Cooperation Agency (JICA) has been cooperating with National Institute of Statistics (NIS), Ministry of Planning (MoP) of the Government of Kingdom of Cambodia (the Royal Government of Cambodia, RGC) in the implementation of the Project on Improving Official Statistics in Cambodia Phase3 since October 2010.

The project was launched on 1 October 2010 and scheduled to be completed on 31 March 2015. Approximately two years after the start of the project, halfway through four years and half of the project period, the Mid-Term Review (the Review) was conducted that was based on the Record of Discussion signed on June 10, 2010 at Phnom Penh.

The objectives of the Review are to review the performance of the project to produce expected effects and contributing to modification of the project plan and to improvement of the implementation structure.

### 1-2. Members of the Review Team

The Review was jointly undertaken by the Cambodian and Japanese sides, with full collaboration from NIS and other stakeholders.

#### <Cambodia Side>

Name	Title and Affiliation
Mr. San Sy Than	Director General, NIS
Mr. Hor Darith Mr. Seng Soeurn	Deputy Director General in charge of Department of Economic Statistics
Mr. Khin Sovorlak	Deputy Director General in charge of Department of Statistical Standard and Analysis
Mrs. Hang Lina Mr. Meng Kimhor Mr. Long Chinth	Deputy Director General in charge of Department of Demographic Statistics, Census and Survey
Mr. Mich Kanthul	Deputy Director General in charge of Department of ICT
Mr. Mich Kanthul	Director of Department of Economics Statistics
Mr. Lim Penh	Director of Department of Statistical Standard and Analysis
Mr. They Kheam	Director of Department of Demographic Statistics, Census and Survey
Mr. Saint Lundy	Director of Department of ICT

天 〃 尸

〃

<Japan Side>

Designation	Name	Title and Affiliation
Team Leader	Mr. Kuniaki AMATSU	Advisor, Public Governance and Financial Management Div., JICA
Government Statistics	Mr. Yoshiyuki KOBAYASHI	Senior Researcher, Statistical Research and Training Institute, Ministry of Internal Affairs and Communications
Evaluation Planning	Mr. Ryosuke YOSHIDA	Deputy Director, Public Governance and Financial Management Div., JICA
Evaluation Analysis	Ms. Rie FUSAMAE	Senior Researcher, Foundation of Advanced Studies on International Development (FASID)

### 1-3. Schedule of the Study

The detailed schedule of the Mid-Term Review study is attached as Annex 1.

### 2. Outline of the Project

#### 2-1. Background of the Project

The official statistics in Cambodia were greatly delayed in development due to the civil war. Since 1990s, the official statistics have been gradually developed by the support of the United Nations and other international development partners. However, the official statistics still need to be improved in Cambodia.

Under above mentioned circumstances, RGC requested the technical cooperation project to improve statistical capacity of National Institute of Statistics (NIS) and provincial planning departments. Responding to this request, JICA started the technical cooperation of improving official statistics in Cambodia. Phase 1 which focused on providing trainings to NIS staff started in August 2005, and phase 2 which focused on enhancing capacity of NIS and provincial planning departments mainly through the implementation of the 2008 Population Census started in April 2007 and completed the scheduled termination at the end of September 2010.

Based on the above mentioned cooperation accomplishment, NIS applied for the project as the phase 3 to further improve capacity of statistical staff in NIS and provincial planning departments and to assist smooth implementation of the 2011 Economic Census and other activities. With regard to the 2011 Economic Census, the Sub-decree was enacted by the Royal Government of Cambodia in August 2009, and NIS began the preparation of the Economic Census.

Accordingly, JICA dispatched the detailed planning survey team to discuss with the Cambodian authorities to detail out the project framework and both side signed the minutes of meeting concerned reached a common understanding of details of the project in April 2010. In June 2010, MoP, NIS and JICA agreed the project framework and signed the Record of Discussion. The project commenced in October 2010.

天

5

## 2-2. Summary of the Project

Project Name	: The Project on Improving Official Statistics in Cambodia Phase 3
Cooperation Period	: From October 2010 to March 2015 (four and a half years)
Target Area	: The entire Cambodia
Target Group	: Statistical staff in the NIS and provincial planning departments

### 1.OVERALL GOAL

Statistical results provided by NIS and provincial planning departments will be utilized for planning and implementation of policies, plans, and strategies of line ministries and provincial governments.

### 2.PROJECT PURPOSE

NIS and provincial planning departments will be able to implement the Economic Census, inter-censal population survey, economic statistics survey, and other statistical activities.

### 3.OUTPUTS

(1) NIS and provincial planning departments will be able to conduct planning and implementation of statistical surveys as a consequence of:

Delineation of EA (Enumeration Areas) is completed. The results of the delineation of EA are used for other statistical surveys.

(2) NIS will be able to conduct data processing as a consequence of:

As the output of the data processing and scrutiny of statistical surveys, statistical tables as well as micro-data are prepared. And the statistical tables are released.

(3) NIS will be able to conduct analysis as a consequence of:

The results of statistical surveys are analyzed. The results of the analysis are released.

(4) NIS will be able to conduct dissemination as a consequence of:

The results of statistical surveys are disseminated by means of publication, CD, web site, statistical map, and census atlas. Related personnel share the common understanding in the matter of the statistical surveys (EA, the Census results, etc.).

(5) NIS will be able to conduct small area statistics as a consequence of:

Small area statistics of the Economic Census are tabulated and released. The use of small area statistics is recognized by line ministries concerned and provincial governments.

(6) Provincial planning departments will be able to tabulate and scrutinize data as a consequence of:

Trainings of tabulation and scrutiny of data, and disseminating results of statistical surveys for statistical staff in provincial planning departments are conducted.

(7) NIS and provincial planning departments will be able to keep institutional memory as a consequence of:

Detailed Procedures (e.g. important processes, important examples, manuals) of statistical surveys are prepared and compiled.

(8) NIS and provincial planning departments will be able to conduct coordination as a consequence of:

R : A

Necessary coordination among the related organizations for statistical surveys is properly made.

#### 4. ACTIVITIES

##### [Planning and implementation of statistical surveys]

- 1-1 Plan and implement statistical surveys
- 1-2 Delineate EAs of statistical surveys
- 1-3 Maintain and manage the EAs of statistical surveys

##### [Data processing]

- 2-1 Develop the data processing systems of statistical surveys in the NIS
- 2-2 Conduct the data processing of statistical surveys
- 2-3 Scrutinize the micro-data of statistical surveys
- 2-4 Tabulate and scrutinize the statistical tables of statistical surveys

##### [Analysis]

- 3-1 Analyze the results of statistical surveys

##### [Dissemination]

- 4-1 Compile the publications of results of statistical surveys
- 4-2 Prepare the CDs of results of statistical surveys
- 4-3 Prepare the web-contents of results of statistical surveys
- 4-4 Prepare the statistical maps of results of statistical surveys
- 4-5 Compile the census atlases of results of statistical surveys
- 4-6 Conduct training for using results of statistical surveys to line ministries concerned and provincial governments (including planning departments)
- 4-7 Hold the workshops to disseminate the result of the 2011 Economic Census
- 4-8 Hold the workshops to disseminate the result of the 2013 inter-censal population survey
- 4-9 Hold the workshops to disseminate the result of the 2014 economic statistics survey
- 4-10 Hold the seminar to make the project widely known to the public

##### [Small area statistics]

- 5-1 Develop the village-level data processing systems of the Economic Census in NIS
- 5-2 Conduct training for using the village-level results of the Economic Census to line ministries concerned and provincial governments (including planning departments)

##### [Trainings of provincial planning departments]

- 6-1 Conduct training for regional officers of NIS to become instructors of training for provincial planning departments
- 6-2 Conduct training on tabulation and scrutiny of data for the 2008 Population Census and the 2011 Economic Census (including the 2009 Establishment Listing)
- 6-3 Conduct training on dissemination of results for the 2008 Population Census and the 2011 Economic Census (including the 2009 Establishment Listing)
- 6-4 Develop the data processing systems of statistical surveys in provincial planning departments

##### [Institutional Memory]

- 7-1 Develop and maintain documents on detailed procedures for statistical surveys

##### [Coordination]

- 8-1 Take part in the necessary meetings for statistical surveys

天

50

### 3. Methodology of the Review

#### 3-1. Steps of the Review

The Team reviewed related documents and information collected through questionnaires and interviewed with Japanese experts, Cambodian C/Ps and relevant stakeholders by applying the JICA Project Evaluation Guidelines (June 2010). The Review was conducted in the following process;

- 1) To review the inputs and activities;
- 2) To verify the accomplishment of the Outputs, the Project Purpose and the Overall Goal of the project compared to those planned, referred as Project Design Matrix (PDM) and Plan of Operations (PO);
- 3) To verify the project implementation process and administration;
- 4) To analyze the project's achievement in accordance with the five evaluation criteria (relevance, effectiveness, efficiency, impact and sustainability);
- 5) To identify the promoting factors and impeding factors of achievements of the project;
- 6) To draw lessons learned from the project;
- 7) To discuss and set the objectively verifiable indicators as specific numerical number targets and/or qualitative ones on the PDM;
- 8) To present the results of the Review in form of a joint mid-term review report; and
- 9) To make recommendations on the project regarding the measures to be taken for the remaining period.

The general description of the Five Evaluation Criteria applied for the Review is presented in Table 1.

Table 1 : General Description of Five Evaluation Criteria

Five Evaluation Criteria	General Description of Five-Evaluation Criteria
Relevance	Degree of compatibility between the development assistance and priority of policy of the target group, the recipient, and the donor.
Effectiveness	A measure of the extent to which an aid activity attains its objectives.
Efficiency	Efficiency measures the outputs -- qualitative and quantitative -- in relation to the inputs. It is an economic term which is used to assess the extent to which aid uses the least costly resources possible in order to achieve the desired results. This generally requires comparing alternative approaches to achieving the same outputs, to see whether the most efficient process has been adopted.
Impact	The positive and negative changes produced by a development intervention, directly or indirectly, intended or unintended. This involves the main impacts and effects resulting from the activity on the local social, economic, environmental and other development indicators.
Sustainability	Sustainability is concerned with measuring whether the benefits of an activity are likely to continue after donor funding has been withdrawn. Projects need to be environmentally as well as financially sustainable.

Source: New JICA Guideline for Project Evaluation First edition (June, 2010) P.23

Handwritten signature or mark.

Handwritten mark.

JICA applies the Five Evaluation Criteria for value judgment of a project review and evaluation as standard measurement which was proposed in the Development Assistance Committee (DAC) at the Organization for Economic Cooperation and Development (OECD) in 1991.

### 3-2. Evaluation Questions and Indicators

Based on the five evaluation criteria described in the previous section, evaluation questions are summarized in the evaluation grid. It also indicates information required for evaluation, methods and sources of data collection, and criteria to analyze the indicators defined in PDM.

The major evaluation questions are as follows:

- Are the project objectives consistent with the needs of the beneficiaries, development policy of the recipient country and Japanese assistance policy?
- Is the Project Purpose expected to be achieved?
- Is the project implemented efficiently?
- Does the project have positive/negative impact?
- Is the policy, organizational and technical environment for sustainable project effects in place?

### 3-3. Data Collections Method and Analysis

Both quantitative and qualitative data were collected and analyzed. Data collection methods used for the Review were:

- Literature/document review;
- Key informant interviews (NIS Headquarters officials, Provincial planning department officials, Japanese experts and other stakeholders);
- Group interviews
- Direct observations of NIS officials and Provincial planning department officials.

### 3-4. Constraints of the Method

The following is the constraints of the Review:

- Due to time constraints, information collection from Provincial Department of Planning (PDPs) was limited to a minimal.

## 4. Project Performance and Implementation Process

### 4-1. Inputs

Inputs from both sides since the inception of the project up to the Mid-term Review have been provided as planned. The details of the inputs are shown below and in Annexes.

#### 4-1-1. Inputs from the Japanese Side

##### (1) Dispatch of Japanese Experts

A total of 27 experts including a Chief Advisor and other experts in the areas of census/survey planning, programming, data processing/scrutiny, small areas statistics, mapping, data analysis, and project coordination have been assigned since the start of the project. The total amount of

R } 7

SP

work of the experts is estimated at 83.76 man-months for the period up to the end of March 2013. The details of the assignments of Japanese experts are shown in Annex 5.

(2) Counterpart Training in Japan and Technical Exchange in Third Countries

The following training and technical exchange programmes are conducted overseas and a total of 15 officials from NIS participated. A list of the participants is provided in Annex 6.

Table 2 Training/Technical Exchange Programmes conducted overseas

Programme	Country	Duration /Period	No. of Participants
Survey planning for the Inter-Censal Population Survey	Japan	3 weeks (January 2011)	3
Data processing for the Inter-Censal Population Survey	Japan	3 weeks (January 2012)	3
Technical exchange with Sri Lankan Dept. of Census and Statistics on small area statistics, population census and industry census	Sri Lanka	5 days (May 2011)	3
Technical exchange with the Statistics Indonesia on small area statistics	Indonesia	5 days (September 2011)	3
Technical exchange with Lao Statistics Bureau on population census, economic census and small area statistics	Lao PDR	5 days (November 2012)	3

(3) Provision of Equipment

Office and training equipment was provided in order to carry out the project activities. The total expenditure for the equipment is 119,262US dollar. The provided equipment is listed in Annex 4.

4-1-2. Inputs from the Cambodian Side

(1) Appointment of C/P

The Director General (DG) of NIS has served as Project Director whilst a Deputy Director General (DDG) has been appointed as Project Manager to oversee the overall implementation of the project. One of DDGs has been assigned to take the lead in the entire implementation process of each of the census/surveys supported by the project: the EC 2011 Economic Census (EC); the 2013 Cambodia Inter-censal Population Survey (CIPS); and the 2014 Cambodia Inter-censal Economic Survey (CIBS). In addition, a project coordinator from NIS has been assigned on a full-time basis to facilitate project activities.

(2) Sharing of Operational Expenses

The Cambodian side has contributed some funds to the EC 2011. The amount of contribution estimated by NIS prior to the census implementation was USD 670 thousands, equivalent to 20% of the total estimated cost. The RGC has also borne utility expenses for the project offices and Priority Operating Cost (POC) for the project staff of NIS.

天 1 8

ST



(3) Offices and facilities

The MoP provided office space and furniture for JICA experts as well as rooms for meetings and training activities in its premises.

4-2. Achievement of Outputs

The team confirmed that the project is on the right track to produce the planned Outputs indicated in the PDM. The level of achievement of each Output is shown below.

<b>Output 1: NIS and provincial planning departments will be able to conduct planning and implementation of statistical surveys</b>	
<b>Objectively Verifiable Indicators (OVI)</b>	<b>Achievement</b>
1.1 Number of village maps and enumeration area (EA) maps	[EC 2011] <ul style="list-style-type: none"><li>• 14,104 village maps</li><li>• 1,550 EA maps</li></ul> [CIPS 2013] <ul style="list-style-type: none"><li>• 955 village maps</li><li>• 955 EA maps</li></ul>
1.2 Number of statistical surveys in which village maps, EA maps and updated village frame are used.	4 surveys: EC 2011 and 3 related surveys (a pre-test, a pilot survey and a post enumeration survey)

Both NIS and PDPs have improved the capacity to plan and implement statistical surveys in the first half of the project period by working on major statistical surveys supported by the project such as the EC 2011, a post enumeration survey for the census, the CIPS 2013 and the CIES 2014. Although the EC 2011 was the first economic census NIS ever conducted, the census itself as well as the post enumeration survey following it were carried out without delay. PDPs have developed knowhow on the preparation of village maps through training, guidance and actual implementation under the project. On the part of NIS, they had little problem in delineation of EAs for the EC though it was their first experience in an economic census/survey. The village and EA maps prepared under the project were used not only in the EC itself, but also in other related surveys. Both core project members of NIS and Japanese experts are confident that NIS and PDPs will further enhance the knowledge and skills through the implementation of the CIPS 2013 and the CIES 2014 and will develop sufficient capacity to plan and implement statistical surveys by themselves.

Handwritten signature or initials on the left side of the page.

Handwritten signature or initials on the right side of the page.

<b>Output 2: NIS will be able to conduct data processing</b>	
<b>OVI</b>	<b>Achievement</b>
2.1 Number of statistical tables tabulated by NIS and PDPs	[EC 2011] <ul style="list-style-type: none"> <li>• 202 tables presented in National Report</li> <li>• 421 tables presented in National and Provincial Profiles</li> <li>• 57 tables of provincial data and 55 tables by district, presented in Provincial Reports</li> <li>• (For the number of tables tabulated by PDPs, see Output 6 below)</li> </ul>
2.2 Number of microdata processed by NIS	[EC 2011] <ul style="list-style-type: none"> <li>• Microdata on 505,134 establishments [Post enumeration survey for EC 2011]</li> <li>• Microdata on 4,600 establishments</li> </ul>

NIS staff has greatly increased their knowledge and skills in such areas as scrutiny and coding of questionnaire data, data-entry, data-checking, scrutiny of error data and data correction by going through the processing of economic census data for the first time. Though it required a greater deal of efforts and time than they had expected particularly in data cleaning processes, NIS managed, with considerable technical advice from Japanese experts, to complete data processing without significant delay. In the CIES 2014 in which they will engage in the same process in a much smaller scale, they are expected to build on their experience in the Economic Census. They will reach the level that they can complete the whole process without JICA experts' technical support.

<b>Output 3: NIS will be able to conduct analysis</b>	
<b>OVI</b>	<b>Achievement</b>
3.1 Number of reports on analysis prepared by NIS	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 11 analytical reports prepared by NIS</li> <li>• 24 Provincial Reports prepared by NIS</li> </ul>

NIS has already prepared some analytical reports and is currently preparing more reports. The process is a little behind schedule as some mistakes were found in prepared tables and also because the analysis of economic census data requires certain expertise such as analytical methods, tabulation techniques and basic knowledge of financial analysis of establishments, with which some NIS staff involved are not familiar. A busy schedule of some staff engaging both in the EC and in the Agricultural Census scheduled for the next year also has made it difficult for them to focus on report writing. Despite such circumstances, their skills in data analysis and report writing are improving with technical guidance from JICA experts. It is expected that their capacity will reach the level that similar analyses could be carried out by themselves by the end of the project period, though their skills need to be further strengthened in the remaining period of the project.

7/1/14

<b>Output 4: NIS will be able to conduct dissemination</b>	
<b>OVI</b>	<b>Achievement</b>
4-1 Number of publications, CDs, web pages, statistical maps and census atlases	[EC 2011] <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 report on the pilot survey results</li> <li>• 3 reports on the census results (preliminary and final)</li> <li>• 53 statistical maps</li> <li>• 54 index maps</li> <li>• 4 revised boundary maps</li> <li>• 1 census atlas</li> </ul> [2009 Establishment Listing] <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 statistics atlas</li> </ul>
4-2 Number of trainees in dissemination-related training courses	[EC 2011] Approximately 250 participated in the training for releasing the final report (March 2012)
4-3 Level of understanding of the trainees of the above courses	Not measured
4-4 Number of workshops and seminars conducted	[EC 2011-related] A total of 3 seminars on: 1) pilot survey results, 2) preliminary results and 3) the final results

NIS has added to its past experience in dissemination of census/survey results by engaging in the dissemination activities on their first ever economic census. They presented the preliminary or the final results of the EC 2011 in the forms of reports, statistical maps and census atlases, and through the media. They also organized large-scale seminars to report the results, including the one attended by approximately 650 people where the final results were released by a Deputy Prime Minister. Concerned NIS staff is confident that, with their experiences, they have sufficient capacity to disseminate statistical results through a number of tools such as seminars, publications, CDs, statistical maps, atlases and websites.

<b>Output 5: NIS will be able to conduct small area statistics</b>	
<b>OVI</b>	<b>Achievement</b>
5-1 Number of small are statistics tables by district, communc, village and EA	[EC 2011] <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 table presented in the preliminary results report</li> <li>• 1 table presented in the final results report</li> </ul>
5-2 Number of trainees in training courses on small area statistics	[EC 2011] <ul style="list-style-type: none"> <li>• 11 trainees in GIS training</li> <li>• 72 trainees in training for provincial report preparation</li> </ul>
5-3 Level of understanding of the trainees on the use of small area statistics	Not measured

NIS presented the results of the EC 2011 by district as well as by province and are currently working on the Provincial Reports where more detailed information by district will be

天

50

provided. They have received training under the project regarding tabulation, analysis and description of census results by district. The effectiveness of the training can be verified by the quality of the upcoming Provincial Reports.

<b>Output 6: PDPs will be able to tabulate and scrutinize data (SAS sub-project)</b>	
<b>OVI</b>	<b>Achievement</b>
6-1 Number of training conducted for provincial planning departments	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 training for SCOs</li> <li>• 2 training for ROs/AROs</li> <li>• 3 training for SASPOs in 15 PDPs</li> <li>• 6 training for SASPOs in 15 PDPs</li> </ul>
6-2 Number of provincial trainees in the training course	<ul style="list-style-type: none"> <li>• A total of 180 trainees from 15 PDPs participated in training on SAS</li> </ul>
6-3 Level of understanding of the trainees on tabulation and scrutiny of data, and dissemination of the results of statistical surveys	Not measured
6.4 Number of statistical tables tabulated by PDPs	78 tables (13 tables/province) presented in SAS Provincial Report.

ROs and AROs trained by Senior Commanding Officers (SCO) and JICA experts provided training for PDPs in 15 provinces on small area statistics (SAS) in which PDP statistics staff learnt about statistical tabulation, preparation of statistical maps, data analysis by district, commune and village, and report writing, using data from the 2008 Population Census and the 2009 Establishment Listing. Though the mid-term review team was not able to check on all the 15 PDPs due to time constraints, information collected from NIS, JICA experts and 3 PDPs the team visited indicate that they still need much support from ROs/AROs for tabulation and scrutiny of statistical data, given the fact that the techniques they learnt in the training are very new to them. In view of the present capability of PDPs, both NIS C/P and JICA experts consider that efforts on the side of NIS will be required to achieve Output 6.

<b>Output 7: NIS and PDPs will be able to keep institutional memory</b>	
<b>OVI</b>	<b>Achievement</b>
7-1 Number of detailed records of procedures prepared	[EC 2011-related] <ul style="list-style-type: none"> <li>• 15 manuals on enumeration, mapping, data processing, data analysis, post-enumeration survey, etc.</li> </ul> [Other] <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 manuals on SAS</li> </ul>

The preparation of reference documents is one of the focuses of the project particularly with regard to economic censuses, which require more difficult skills than population censuses. During the course of the EC 2011, a number of manuals and other reference documents have been developed under the project (See Annex 10 for a list of manuals and documents). NIS staff

Handwritten signature/initials.

Handwritten signature/initials.

involved in the project finds them very useful and has been referring to them often in their work on the economic census. Those documents will also be useful in other economic surveys including the CIES 2014. Reference documents for SAS have also been developed and given to PDP staff in training on SAS.

However, it should be noted that manuals and other reference materials are not managed in a systematic manner. Though each of the staff that participated in the project activities has copies of relevant documents, they are not shared with others either in soft copy or hard copy.

<b>Output 8: NIS and PDPs will be able to conduct coordination</b>	
<b>OVI</b>	<b>Achievement</b>
8-1 Record of meetings with related organizations	Minutes of all the meetings have been kept
8-2 Number of meetings with related organizations	<p>[Joint Coordination Committee (JCC)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 3 meetings [EC 2011-related]</li> <li>• 1 meeting of National Steering Committee (NSC)</li> <li>• 2 meetings of National Census Committee (NCC)*</li> <li>• 3 meetings of Census Technical Committee (CTC)*</li> <li>• Meetings of Provincial Census Committees** [CIPS 2013-related]</li> <li>• 6 meetings of Technical Committee (CIPS-TC) [CIES 2014-related]</li> <li>• 1 meeting of Technical Committee (CIES-TC)</li> </ul>

\* A preliminary meeting was held prior to each NCC and CTC meeting.

\*\*The number of PCC meetings varies from province to province and no record is kept by the project.

NIS has successfully coordinated concerned organizations for each census/survey. There are effective coordination mechanisms in place. On a permanent basis, the Statistics Coordination Committee (SCC) chaired by DG of NIS serves as a platform to coordinate official statistical activities whilst the Technical Working Group on SMP also chaired by DG of NIS facilitates coordination between NIS and development partners as well as among the latter themselves. Ad-hoc committees such as the NCC and the CTC are also formed for each census. The NCC is a high-level committee among line ministries to facilitate smooth implementation of the census whilst working level coordination and progress sharing is made in CTC meetings among concerned ministries, development partners and NIS. Through those committees, NIS secured cooperation from concerned ministries, for example, in facilitating cooperation of those surveyed (establishments) and in rolling out an effective campaign for the EC 2011. CTC also served as a platform to discuss financial matters for the census. For each of the CIPS 2013 and the CIES 2014, a technical committee has been formed and coordination is going smoothly so far.

At the provincial level, the Provincial Census Committee (PCC) consisting of members from the Provincial Government and line departments of the central government serves as a coordination mechanism for census implementation in each province. It has been formed in each province but the Team did not confirm the effectiveness during the review study due to time constraints.

#### 4-3. Achievement of the Project Purpose

The performance of the project described in the above section suggests that the project is on the right track. Although the level of achievement has not been measured against set OVIs, it can be described as below:

<b>Project Purpose: NIS and PDPs will be able to implement the EC, the CIPS and economic statistics survey and other statistical activities.</b>	
<b>OVI</b>	<b>Achievement</b>
Number of capable staff in NIS trained to conduct planning, data processing, analysis, dissemination and use of the results of the EC	NIS staff has successfully completed planning, implementation and data processing stages of the EC 2011 with technical support from JICA experts. They have already produced some national and provincial reports on the EC results and are currently working on more focused analytical reports.
Number of ROs and AROs trained to conduct tabulation and scrutiny of data, dissemination, and the use of the results of the Economic Census and the 2008 Population Census (SAS)	60 ROs/AROs were trained to provide training and support for PDPs in tabulation, preparation of statistical maps and data analysis. Their capacity is being developed through actual training provision for PDPs and follow-up on it. They have already trained PDP staff in 15 provinces.

NIS staff has completed planned project activities without significant delay so far despite the fact that the EC 2011 was the first economic census they had ever carried out. Through the process, it can be said that NIS is equipped with basic capacity necessary for conducting EC, which includes the capacity of planning, implementation, data processing, analysis, dissemination, NIS-led small area statistics and inter-ministerial coordination. However, it should be noted that the smooth implementation of the project is, not to a small extent, owing to considerable amount of technical supports from JICA experts in sorting out problems that NIS C/P encountered in the process of data processing and data analysis, for example. Therefore, NIS is strongly expected to further establish those capacity foundations by repeating similar exercises, more specifically the CIPS and the CIES and other statistical activities in a more NIS-led manner. Output 8 of keeping the institutional memories is expected to sustain NIS's efforts of taking the lead of the process.

At the provincial level, PDPs had had sufficient experience to implement the field operations of censuses/surveys and even in the first ever economic census in the country, they performed expected responsibilities without serious problems. However, their capacity development in SAS, which they had never engaged in, is advancing in a slow pace requiring more support than

7 2 P

ST

initially anticipated from ROs and AROs.

#### 4-4. Achievement of the Overall Goal

Though it is premature to determine the level of achievement of the overall goal, the Team identified some evidences as follows:

<b>Overall Goal; Statistical results provided by NIS and PDPs will be utilized for planning and implementation of policies, plans and strategies of line ministries and provincial governments.</b>	
<b>OVI</b>	<b>Achievement</b>
Number of policies, plans and strategies which utilize the results of statistical data provided by NIS and PDPs	Statistical data provided by NIS has been used by many ministries. NIS data has been used to monitor the following major policies: <ul style="list-style-type: none"> <li>• National Strategic Development Plan (NSDP)</li> <li>• MDGs monitoring</li> <li>• The ASEAN Framework</li> </ul>
Number of statistical surveys conducted by NIS and PDPs	NIS and PDPs has conducted since the start of the project period: <ul style="list-style-type: none"> <li>• EC (2011)</li> <li>• Socio-Economic Survey (2011, 2012)</li> <li>• CIPS (ongoing)</li> <li>• Agriculture Census (ongoing)</li> <li>• Cambodia Standard Industrial Classification (CSIS)</li> <li>• Other small surveys such as Consumer Price Index (CPI) surveys</li> </ul>
Number of statistical results provided by NIS and PDPs	NIS has released results of a number of statistical surveys since the start of the project period including: <ul style="list-style-type: none"> <li>• Establishment Listing (2009)</li> <li>• EC (2011)</li> <li>• Annual Socio-Economic Survey</li> <li>• Cambodia Standard Industrial Classification (CSIS)</li> <li>• Monthly CPI</li> </ul>

NIS carries out a census approximately every three year and also conducts a variety of surveys. The results of those surveys have been used mainly by government bodies. NIS stated that the results have been used in the national decentralization processes.

A positive signal is observed in this mid-term review mission. DG of NIS repeatedly emphasized on the significance of synergy between planning and statistic activities. The same message was confirmed in the meeting with Director General of Planning of the MoP. In this sense, the project has potential of achieving the overall goal.

## 5. Project Implementation Process

### 5-1. Project Implementation

The project activities have been implemented as planned without significant delay. The smooth implementation is attributable mainly to NIS's experience in carrying out statistical activities as well as good planning of the census/surveys supported by the project. Considerable efforts made by JICA experts in response to delays in some work on the EC 2011 have also contributed to a great extent.

The management of the project has been appropriate in terms of: coordination among concerned organizations (See the next section); management of the operational schedule; coordination between JICA experts; and commitment of the top management of NIS to the project. The operational schedule has been extremely well managed despite the fact that JICA experts stay in Cambodia only for a short-time in each visit and that C/P are sometimes not available in the office. Communication and coordination among JICA experts has also been good. This is very important for successful implementation of the project, given their short-term dispatches and the number of experts involved. The commitment of the DG to the project is another important factor for smooth implementation of the project.

There are, however, issues that should be noted for better implementation of the project in the rest of the project term. First of all, the DG's commitment is high. There is a person on the Cambodian side that oversees the whole process of the project implementation. However, the management of the project is left to JICA experts, which makes information sharing about overall project progress difficult and also could undermine a sense of ownership of the project on the Cambodian side. The NIS side is encouraged to lead the management of the project more. Secondly, C/P scatters across department and there are no well-established communication channels among them for the implementation of the project activities in each field (e.g. data processing, data analysis and dissemination of survey results). This situation prevents streamlining of communication among JICA experts and also has led to the situation that the former has to initiate the project activities. Thirdly, the team has a concern about the consequence of the change of implementation schedule of the Agricultural Census on the project. Some C/P of the project is participating in the Agricultural Census 2013 implementation, which should have been implemented in 2014, and this is one of the factors for slow progress in the preparation of analytical reports. This issue needs to be appropriately dealt with.

### 5-2. Coordination with Development Partners and Related Cambodian Authority

Since the scope of the project covers support for the implementation of a census and some surveys, for which cooperation and inputs from concerned organizations are required, appropriate coordination with them is critical for the successful implementation of the project. Coordination between NIS and ministries for each census/survey has been very effective and facilitated the smooth implementation of the census/survey and the use of the survey results by them. The main reason is the effectiveness of the RGC's coordination mechanisms such as

R: P

→



NCC and CTC, as noted in the previous section (See 4-2. Achievement of Outputs). Through these committees, proper coordination has been done both at the top level and the working level.

The project and support of other development partners has also been well coordinated. Both United Nations Population Fund (UNFPA) and JICA extend supports to NIS in its implementation of the CIPS 2013. The responsibilities of both parties have been clearly defined and their activities carefully coordinated through dialogues in CIPS-CTC meetings on one hand, and in ad-hoc meetings among NIS and them as well as between the two on the other. The Chief Advisor for the project has been playing a significant role in this regard. Although there are some difficult issues with regard to harmonization of some standards between UNFPA and JICA, concerned people from their local offices and the Chief Advisor as well as JICA experts have been working hard to find the best possible solution in consultation with NIS. Coordination with other development partners has not been required as much so far, but information on activities of each development partner has been shared through meetings of the RGC's technical working group on statistical master plan and also through informal meetings between the Chief Advisor of the project and consultants for other project.

## 6. Evaluation Results

Based on information gathered through interview with key informants, documents and visits to some PDPs, the team assessed the project's relevance, effectiveness, efficiency, impact, and sustainability.

### 6-1. Relevance

The project is highly relevant to development needs of Cambodia, development policy of the RGC as well as the cooperation policy of the Japanese Government.

The RGC stresses in its National Strategic Development Plan (NSDP) the importance of statistics in implementing priority policies. The EC 2011 is regarded as important means to effectively implement the RGC's private sector development policy and as well as to attract domestic and foreign investment. Population surveys including the CIPS 2013 are also given priority in order to implement the National Population Policy. Planned action in this regard includes analysis of population data, its dissemination at the national and sub-national levels, and enhancement of data utilization.

The objectives of the project are also consistent with those of the Statistics Master Plan (SMP) 2008-2015, which includes the increased use of official statistics, and the delivery of timely, responsive and quality statistical services by NIS.

The Project is also in line with Japan's assistance policy towards Cambodia, which gives priority to administrative capacity development including improvement of capacity in statistics.

72

SA

### 6-2. Effectiveness

The effectiveness of the project appears promising given the good prospects for the achievement of the project purpose in light of the progress made and the largely smooth implementation process.

Though the level of achievement of the Project Purpose against the set OVI was not measured during the Review study, the Team confirmed that, by undergoing the EC 2011 processes with technical advice and support from JICA experts, NIS staff has enhanced their capacity required at each stage of: census/survey planning and implementation; data processing; data analysis and preparation of analytical report; and dissemination of the results. Some of them have also been trained under the project to help PDP develop their skills to carry out some small area statistics and have been providing support for them.

PDPs are capable to implement various censuses/surveys given their past experience including the EC 2011. However, as far as their capacity in SAS is concerned, the amount of support provided by ROs/AROs and the slow development of skills of PDP staff suggest that there will be much to be done in the second half of the project.

### 6-3. Efficiency

The Team identified no major issues that may hamper the efficient implementation of the project. Inputs from both sides and the project activities implemented have been largely appropriate and timely in light of the implementation progress and the achievement made so far.

Inputs from the Japanese side have been kept to a minimum. Each of JICA experts was dispatched on a short-term basis in accordance with the implementation plans for each census/survey, which is very cost-effective. Equipment procured is all necessary for the implementation of the project activities and was provided mostly for PDPs taking into consideration the equipment provided under the last two phases of the project. C/P training in Japan and technical exchange programmes in the third countries are deemed highly appropriate from the cost-effective as well as cost-benefit perspectives.

The Cambodian side has provided sufficient number of C/P, which has contributed to the smooth implementation of the project activities. The RGC also contributed 20% of the costs of the EC implementation. Meanwhile, it should be noted that a part of NIS counterpart personnel of the project does not allocate enough time for the project activities because of the implementation of Agricultural Census and this situation is a risk factor to hamper ensuring efficiency of the project to some extent under the given input level at the JICA side.

On the other hand, the team identified a few issues undermining the efficient implementation of the project to some extent. First of all, since some work, such as data cleaning and preparation of analytical reports on the EC, turned out to require more time than in the original work plan, as mentioned in the previous sections, the workload of JICA experts has increased to the level

218

that substantial engagement from Japan is required. The work of ROs/AROs involved in support for PDPs regarding SAS has also turned out to be more than expected, requiring many follow-up visits after training and technical assistance in their preparation of provincial SAS reports.

#### 6-4. Impact

The project is on the right track towards the achievement of the Overall Goal in the future. The team also recognized several impacts of the project.

The prospects for the achievement of the Overall Goal are very good in terms of the use of NIS's statistical information by line ministries. It has been used to monitor the NSDP, the MDGs and the ASEAN framework. It will also be used for the formulation of a new NSDP scheduled for the next year. Although the uses of the EC results by line ministries have not yet been confirmed, the information is very likely to be utilized in policy development/implementation by line ministries, particularly the MIME and the MEF.

The awareness of the citizens about the importance of statistics, NIS's activities as well as Japanese cooperation on statistics in Cambodia has been raised as well through the EC campaign conducted across the country.

The mid-term evaluation team also identified the cases that statistics provided by NIS were used outside Cambodia. Some research institutes such as Institute of Developing Economics, Japan and Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, Japan used NIS's statistics in their research papers<sup>1</sup>.

The impact of the EC 2011 can be very extensive. The results can be used for improvement of the quality of national accounts, which can contribute to the development of effective industrial policy. The comprehensive establishment directory and a sampling frame have been prepared from the EC and will be used for future economic surveys.

In addition, the first attempt to provide SAS by district, commune and villages could have a significant impact on decentralization. Although the development of SAS in Cambodia will take some time, the attempt under the project to introduce SAS can be considered an important first step.

Synergies with support from other development partners are also expected. Since some of the C/P that has undergone the EC 2011 process are involved in the Agricultural Census 2013 supported by the Food and Agriculture Organization (FAO) and a few more development partners, their experience and skills will facilitate its effective implementation. In addition, the

---

<sup>1</sup> Their research papers using data from the EC 2011 can be found at <http://scholar.qsensei.com/content/1qdk7> and [http://gcoe.iar.hit-u.ac.jp/research/newsletters/pdf/newsletters\\_no6.pdf](http://gcoe.iar.hit-u.ac.jp/research/newsletters/pdf/newsletters_no6.pdf)

天 2 ①

ST

results of the EC will serve as valuable information in the formulation of their assistance strategy as well as individual projects. They have, in fact, already been used in the Investment Climate Assessment conducted by the World Bank, for example. The support of other development partners can promote the achievement of the Overall Goal, on the other hand: technical support for the implementation of the Agricultural Census will further strengthen NIS's technical capacity; and English training given under SIDA support will lead to improvement of the quality of NIS's reports.

There is another positive impact that should be noted. Following the technical exchange programme between NIS and Sri Lankan Department of Census and Statistics, NIS received a request from them for sharing of the manuals and reference materials used in the implementation of the EC 2011. Sri Lanka is preparing for the first economic census planned for 2014.

#### 6-5. Sustainability

Assessing sustainability is undertaken from (i) policy, (ii) organizational, (iii) financial and (iv) technical perspectives.

In general, the project has made good efforts to ensure sustainability of the project's outputs and outcomes.

As for policy sustainability, RGC enacted the Statistic Law in 2005, clearly stating that Population Census and Economic Census should be implemented every ten years and inter-ministerial coordination mechanism be established. NIS developed the SMP articulating what statistic censuses and surveys will be implemented toward 2015. The CIPS and CIES and agricultural census are included in SMP. Therefore, policy sustainability is supposed to be high at this moment.

As for organizational sustainability, as mentioned earlier in this report, the DG's commitment is high. This is a positive signal. However, there is person on the Cambodian side that oversees the whole process of the project implementation. However, the management of the project is left to JICA experts, which makes information sharing about overall project progress difficult and also could undermine a sense of ownership of the project on the Cambodian side. These are a potential risk factor for ensuring institutional sustainability.

As for technical sustainability, there is a concern about SAS sub-project (Output 6). The Project has been engaged in the sub-project for capacity development at the PDP level, under which NIS assigned ROs and AROs. As a result, PDP statistical official is experiencing a series of tasks relating to data processing, tabulations and scrutiny, and dissemination of the results through the training. To sustain these activities, NIS side is expected to develop an action plan on how to continue this capacity development framework (e.g. (i) articulating PDP training activities in the terms of reference of RO and AROs and (ii) conducting trainings for PDP) even

after the project completed in March 2015.

A number of manuals and reference documents have been prepared in order for NIS to keep institutional memory. The leaning by doing way of technical cooperation extended by JICA experts will also contribute to the sustainability.

As for financial sustainability, the team has a concern about the availability of financial resources to NIS to conduct censuses/surveys continuously. Census/survey implementation as well as printing of reports has relied heavily on funding from development partners, and financing plans for some scheduled surveys are not in place. Financing statistics appropriately is necessary to maintain knowledge and skills of individual staff as well as institutional knowhow. Secondly, the team is concerned whether appropriate staffing for each census/survey will be possible without POC, which some development partners do not cover any longer. The Cambodian side has been increasing the proportion of its funding censuses and surveys census by census, in particular, 10% in Population Census and 20% in Economic Census. However, these percentages are basically decided in the Cambodian side setting the appropriate funding level as the counterpart fund for the specific donor-funded project. Financing are not always budgeted linked with the SMP 2008-2015. This is a critical risk factor for financing censuses.

At the PDP level, sufficient budget for the maintenance of equipment provided under the project should be prepared.

## 7. Conclusion

### 7-1. Achievement of the project

The project has been implemented without significant delay and shown good performances despite some unexpected situations and slow progresses in carrying out some activities. The first half of the project period was dedicated mainly to the Cambodia's first economic census. NIS successfully completed the EC and the mid-term review team considers that the main factors for such achievement are attributable to NIS's accumulating experiences, good planning of each statistical survey, excellent coordination among concerned parties, and a great deal of support from JICA experts.

In view of such good performances of the project, the team concludes that the project is likely to achieve the planned Outputs and achieve the Project Purpose by the end of the project period.

### 7-2. Evaluation by Five Criteria

The project objectives remain to be highly relevant to the development needs of Cambodia and the RGC's development policy and also to the assistance policy of the Japanese Government.

The project is on the right track towards the achievement of the Project Purpose and therefore the effectiveness of the project can be considered high at this stage.

Although the team identified a few issues in the implementation process of the project, the

天 2 3

50

inputs executed and the project activities undertaken are largely appropriate facilitating the efficient implementation of the project.

The team confirmed that statistical information provided by NIS has already been used to monitor major indicators for the RGC's development policy implementation. Thus it can be said that the prospects for the achievement of the Overall Goal is high. The users of the results of NIS's statistical surveys have already extended beyond the RGC. The impact of the project is very likely to expand further in the coming years.

A number of manuals and other reference materials prepared under the project as well as the learning by doing way of technical cooperation will facilitate the sustainability of the project effects. By tackling some institutional issues, the sustainable effects will be ensured.

## 8. Recommendations and Lesson Learned

### 8-1. Recommendations

Based on the above findings and evaluation results, the team would like to present the following recommendations:

#### (1) Ensuring strong ownership in the project management


As stated in the above, there is a person on the Cambodian side that oversees the whole process of the project implementation. However, the management of the project is left to JICA experts, which makes information sharing about overall project progress difficult and also could undermine a sense of ownership of the project on the Cambodian side. The NIS side is encouraged to lead the management of the project more.

#### (2) Proactive action for the budget for statistical activities

The technical capacity of NIS staff is being enhanced by undergoing statistical surveys with support from JICA experts. It is important for them to continuously engage themselves in statistical surveys in order to maintain the skills they gain under the project. However, the prospects for financing for future statistical surveys are uncertain. Although decision-making concerning allocation of the RGC's budget is beyond the control of NIS/MoP, the team expects NIS/ MoP to step up its efforts to obtain more funding from RGC, more specifically, (i) financing the necessary cost as capital investment and (ii) increasing amount of recurrent budget for census/statistical studies and activities on a year basis. These should be included in both multi-year and single year investment and budget frameworks. An action plan on how to finance statistic censuses and surveys should be presented as early as possible after the Review completed.

#### (3) Facilitation of coordination at the provincial level

Coordination at the central level through ad-hoc committees such as NCC and CTC as well as permanent platforms such as the SCC and the TWG has proven to be very effective. Coordination among concerned parties will continue to be imperative for the smooth and



successful implementation of statistical surveys, and therefore the abovementioned coordination mechanisms need to be sustained. At the same time, the effectiveness of coordination at the provincial level through the PCC is not very clear. Since one of the planned Output of the project is coordination for statistical activities both at the central and the provincial level, it is recommended that NIS/MoP ensure effective coordination at the provincial level as well. The proposed actions should be presented by NIS side in the final JCC meeting and/or the terminal evaluation study mission.

#### (4) A support mechanism for PDPs

PDPs are conducting SAS under the project. Since it is the first experience for them, it turned out to be a more demanding task than NIS had initially expected. Although it is expected that they will be able to tabulate and scrutinize statistical data from the 2008 Population Census and the 2009 Establishment Listing by the end of the project period, continuous supports from NIS will be necessary for them to sustain the skills they learn under the project and conduct SAS. NIS currently assists them through ROs and AROs, which are assigned for the specific period of time. Therefore it is recommended that NIS work out a sustainable support mechanism by the end of the project term. The proposed actions should be presented by NIS side in the final JCC meeting and/or the terminal evaluation study mission.

#### (5) Others

Apart from these matters, issue relating to salary level of civil servants should be noted. In the review meeting, it is mentioned "incentives" are needed for NIS official's continuous engagements in statistical censuses and surveys. This cannot be solved in the short-term. It is expected the Cambodian government address this issue in the medium- and long-term through implementing government personnel salary reform.

#### 8-2. Lessons learnt

NIS generally conducts a census every three year to focus on each census implementation. The implementation of the Agricultural Census has made it difficult for some C/P to allocate sufficient time to the project activities. Although the team understands that this is an exceptional case at NIS, it teaches a lesson that schedule adjustments between different statistical activities are very important for the smooth implementation of statistical activities.

71 P

ST

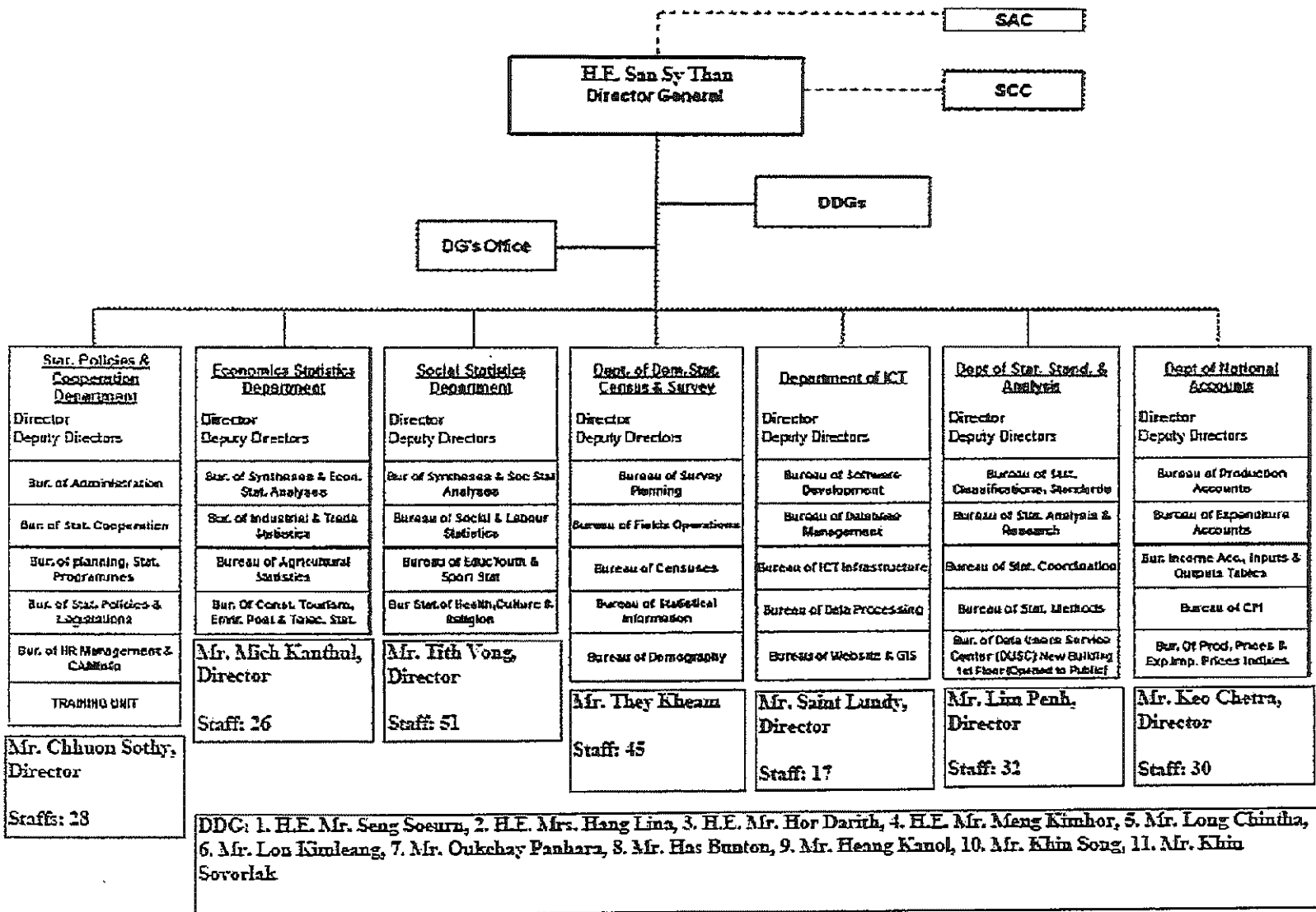
Annex 1 : Schedule of the Mid-Term Review Study

Dec.	Day	Activities
2 <sup>nd</sup>	Sun	Arrival in Phnom Penh
3 <sup>rd</sup>	Mon	09:00-10:30 Interview with JICA Expert, Mr. Fumihiko Nishi 10:30-11:00 Interview with Mr. San Sy Than, DG, NIS 14:00-16:00 Interview with Mr. Khin Sovorlak, DDG, NIS 16:00-17:00 Interview with Mr. Hor Darith, DDG, NIS
4 <sup>th</sup>	Tue	09:00-11:00 Visiting Kandal Provincial Department of Planning, Mr.Min Chhun, Director, Mr.Chan Dara, Deputy Director and Mr. Pan Sarith, Bureau Chief of Planning, Mr.Prok Saboeurn, Bureau Chief of Planning 14:00-15:00 Interview with Mr. So Tonnere, DD, NIS 15:00-16:00 Interview with Mr. They Kheam, Director, NIS
5 <sup>th</sup>	Wed	08:30-10:30 Attending 2013 Inter-censal Population Survey 6th Technical Committee (CIPS2013-TC) 11:00-12:00 Interview with UNFPA Cambodia Officers 14:00-15:00 Interview with Mr. Lay Sophat, DD, NIS 15:00-16:00 Interview with SIDA Project Chief Advisor 16:00-17:00 Interview with Mr. Sin Sereyvuth, DD, NIS
6 <sup>th</sup>	Thu	10:00-11:00 Interview with Mr. Akihiko Ito, JICA Expert 11:00-12:00 Interview with Mr. Akihito Yamauchi, JICA Expert 14:00-15:00 Interview with Mr. Fumihiko Nishi, Chief Adviser 15:00-16:00 Interview with Mr. Hiromi Mizuta, JICA Expert
7 <sup>th</sup>	Fri	09:30-10:30 Interview with Prof. Nobuo Hirohata, JICA Expert 10:30-11:30 Interview with Mr. Kim Net, DD, NIS 14:00-16:00 Visiting Kampong Chhnang Provincial Department of Planning
8 <sup>th</sup>	Sat	Documentation
9 <sup>th</sup>	Sun	Documentation
10 <sup>th</sup>	Mon	Cambodia National Holiday Interview with JICA Experts
11 <sup>th</sup>	Tue	09:00-12:00 the First Meeting with NIS senior officials 14:00-15:00 Interview with Mr. Tuon Thavrak, DG of Planning, MoP
12 <sup>th</sup>	Wed	11:00-12:00 Visiting Kampong Thom Provincial Department of Planning
13 <sup>th</sup>	Thu	09:30-10:30 Interview with Ministry of Economy and Finance 11:00-14:00 Discussion with JICA experts 14:30-15:30 Courtesy call on H.E. Mr. Chhay Than, Senior Minister, Minister of Planning 16:00-17:00 Discussion with/in JICA Cambodia Office 16:00-16:30 Interview with Mr. Kong Sophat, Director of Logistics and Financial Dept., MoP 17:30-18:30 Interview with Mr. Ratanak Hav, Deputy Director, Dept. of Budget, MoEF
14 <sup>th</sup>	Fri	10:00-11:00 Courtesy call on Embassy of Japan Documentation (Final draft of the Review report) 15:00-18:00 JCC, Signing of M/M
15 <sup>th</sup>	Sat	Leaving Phnom Penh

7:30

SP





(note) The number of staff allocation is based on interviews with the C/Ps.

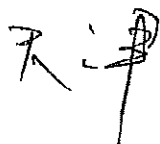
天

ST

Annex 3 : Lists of the Related Committee Member

**Composition of the National Census Committee  
for the 2011 Economic Census of Cambodia (NCC)**

1. Minister of Planning	Chairman
2. Secretary of State, Ministry of Economy and Finance	Vice chairman
3. Secretary of State, Ministry of Interior	Vice chairman
4. Secretary of State, Ministry of Planning	Permanent vice chairman
5. Secretary of State, Council of Ministers	Member
6. Secretary of State, Ministry of Industry, Mines and Energy	Member
7. Secretary of State, Ministry of Commerce	Member
8. Secretary of State, Ministry of Education, Youth and Sports	Member
9. Secretary of State, Ministry of Health	Member
10. Secretary of State, Ministry of Labor and Vocational Training	Member
11. Secretary of State, Ministry of Land Management, Urbanization and Construction	Member
12. Secretary of State, Ministry of Post and Telecommunication	Member
13. Secretary of State, Ministry of Information	Member
14. Secretary of State, Ministry of Public Works and Transports	Member
15. Secretary of State, Ministry of Tourism	Member
16. Secretary of State, Ministry of Social Affairs, Veterans and Youth Rehabilitation	Member
17. Secretary of State, Ministry of Culture and Fine Arts	Member
18. Secretary of State, Ministry of Women's Affairs	Member
19. Secretary of State, Secretariat of Civil Aviation	Member
20. Secretary General, Council for Development of Cambodia	Member
21. Vice Governor, National Bank of Cambodia	Member
22. Director General, National Institute of Statistics, Ministry of Planning	Secretary



**Composition of the Census Technical Committee  
for the 2011 Economic Census of Cambodia (CTC)**

1. Secretary of State, Ministry of Planning	Chairman
2. Under Secretary of State, Ministry of Planning	Vice chairman
3. Director General, NIS, Ministry of Planning	Permanent Member
4. Chief of Cabinet, Ministry of Planning	Member
5. Deputy Director General, Taxation Department, Ministry of Economy and Finance	Member
6. Director of Department, Ministry of Industry, Mines and Energy	Member
7. Director of Department, Ministry of Commerce	Member
8. Deputy Director General, Ministry of Tourism	Member
9. Director of Department, Cambodia Development Council	Member
10. Deputy Director General, NIS, Ministry of Planning	Member
11. Director, Economic Statistics Department, NIS	Secretary

**Composition of the Provincial Census Committee  
for the 2011 Economic Census of Cambodia (PCC)**

1. Governor of Capital/Province	Chairman
2. Deputy Governor of Capital/Province	Vice Chairman
3. Director of Planning Office of Capital/Province	Permanent Member
4. Director of Economy and Finance Office of Capital/Province	Member
5. Police Commissioner of Capital/Province	Member
6. Director of Industry, Mines and Energy Office of Capital/Province	Member
7. Director of Tourism Office of Capital/Province	Member
8. Director of Commerce Office of Capital/Province	Member
9. Director of Tax Office of Province	Member
10. Chief Cabinet of Capital/Provincial Hall	Member
11. One Representative from NIS	Member
12. Deputy Director of Capital/Provincial Planning Office, responsible for Statistics or Bureau Chief of Statistics	Secretary

*R S*

*ST*

**Composition of the National Steering Committee  
for Census Information and Education Campaign (NSC)**

1. Secretary of State, Ministry of Planning	Chairman
2. Secretary of State, Ministry of Information	Vice Chairman
3. Director General, TVK	Vice Chairman
4. Director General, National Radio	Vice Chairman
5. Director General, Cambodian Press Agency	Vice Chairman
6. Director General, NIS, Ministry of Planning	Permanent Member
7. Representative, Ministry of Interior	Member
8. Representative, Ministry of Economy and Finance	Member
9. Representative, Ministry of Commerce	Member
10. Representative, Ministry of Industry, Mines, and Energy	Member
11. Representative, Ministry of Tourism	Member
12. Representative, Ministry of Education, Youth and Sports	Member
13. Representative, Ministry of Labor and Vocational Training	Member
14. Representative, Ministry of Social Affairs, Veteran and Youth Re- -habilitation	Member
15. Representative of Ministry of Religions and Culture	Member
16. Representative of Ministry of Culture and Fine Arts	Member
17. Deputy Director General, NIS, MOP	Secretary

Handwritten initials: 天 2 7

Handwritten mark

Annex 4 : Lists of Equipment Provided

List of Equipment for 6 PDPs (FY2011 Procurement purchased by the Government Team)							
Year	No	Name of Item	Make/Model	User (Location)	Quantity	Unit Price (US\$)	Total Price (US\$)
FY2011	1	Desktop PC	Dell Optiplex 380n MT	2 units of each item are being used in each Statistics Office of Provincial Department of Planning in the province, such as Kandal, Takeo, Preah Sihanouk, Kampong Cham, Siem Reap and Battambang (12 units in total).	12	572	6,864
FY2011	2	Microsoft License	Window-7		12	161	1,932
FY2011	3	Microsoft License	Office Pro 2010		12	349	4,188
FY2011	4	Internet Security	Internet Security		12	15	180
FY2011	5	Printer	HP Color Laserjet CP2025dn Printer	1 unit is being used in each Statistics Office of Provincial Department of Planning in the province, such as Kandal, Takeo, Preah Sihanouk, Kampong Cham, Siem Reap and Battambang (6 units in total). Rest of 6 units are being used in NIS central office.	12	866	10,392
FY2011	6	External Hard Disk	500GB	1 unit is being used in each Statistics Office of Provincial Department of Planning in the province, such as Kandal, Takeo, Preah Sihanouk, Kampong Cham, Siem Reap and Battambang (6 units in total).	6	72	432
FY2011	7	Flash Drive	Transcend Jet Flash, 4GB	2 units are being used in each Statistics Office of Provincial Department of Planning in the province, such as Kandal, Takeo, Preah Sihanouk, Kampong Cham, Siem Reap and Battambang (12 units in total).	12	8	96
FY2011	8	Copier	Toshiba copy machine	1 unit of each item is being used in each Statistics Office of Provincial Department of Planning in the province, such as Kandal, Takeo, Preah Sihanouk, Kampong Cham, Siem Reap and Battambang (6 units in total).	6	970	5,820
FY2011	9	Projector	LCD Projector		6	927	5,562
FY2011	10	Screen	2.13m x 2.13m Movable		6	135	810
FY2011	11	Pointer	2.4GHz Wireless Pointer		6	47	282
FY2011	12	UPS	Power Tru 650VA UPS	2 units of each item are being used in each Statistics Office of Provincial Department of Planning in the province, such as Kandal, Takeo, Preah Sihanouk, Kampong Cham, Siem Reap and Battambang (12 units in total).	12	32	384
FY2011	13	Acrobat	Acrobat Professional 10 Wh IEA00 License with DVD Set	2 units of each item are being used in each Statistics Office of Provincial Department of Planning in the province, such as Kandal, Takeo, Preah Sihanouk, Kampong Cham, Siem Reap and Battambang (12 units in total).	12	449	5,388
FY2011	14	Acrobat	Acrobat Professional DVD Set		12	44	528
FY2011	15	Scanner	HP scan Jet Photo scanner	1 unit is being used at SAS central office in NIS	1	174	174
FY2011	16	USB Modem	Melfone USB Internet Modem	2 units of each item are being used in each Statistics Office of Provincial Department of Planning in the province, such as Kandal, Takeo, Preah Sihanouk, Kampong Cham, Siem Reap and Battambang (12 units in total).	12	35	420
FY2011	17	Table	DE 48+G	2 units of each item are being used in each Statistics Office of Provincial Department of Planning in the province, such as Kandal, Takeo, Preah Sihanouk, Kampong Cham, Siem Reap and Battambang (12 units in total).	12	149	1,788
FY2011	18	Chair	SG138		12	45	540
FY2011	19	Whiteboard	1.2m x 2m, Movable	1 unit is being used in each Statistics Office of Provincial Department of Planning in the province, such as Kandal, Takeo, Preah Sihanouk, Kampong Cham, Siem Reap and Battambang (6 units in total).	6	70	420
Total Price							46,200

713

ST

List of Equipment for 9 PDPs (FY2011 Procurement purchased by the Non Governmental Team)							
Year	No	Name of Item	Maker/Model	User (Location)	Quantity	Unit Price (US\$)	Total Price (US\$)
FY2011	1	Desktop PC	Dell Optiplex 790 MT	2 units of each item are being used in each Statistics Office of Provincial Department of Planning in the province, such as Kampong Chhnang, Pursat, Pailin, Banteay Meanchey, Kampong Thom, Kratie, Mondulkiri, Kep & Koh Kong (18 units in total).	18	616	11,088
FY2011	2	Microsoft License	Window-7		18	154	2,772
FY2011	3	Microsoft License	Office Pro 2010		18	344	6,192
FY2011	4	Internet Security	Internet Security		18	11	198
FY2011	5	Printer	HP Color Laserjet CP2025dn Printer		9	935	8,415
FY2011	6	External Hard Disk	500GB		9	100	900
FY2011	7	Flash Drive	Transcend Jet Flash, 4GB		18	11	198
FY2011	8	Copier	Toshiba copymachine		9	1,610	14,490
FY2011	9	Projector	LCD Projector		9	920	8,280
FY2011	10	Screen	2.13m x 2.13m Movable		9	145	1,305
FY2011	11	Pointer	2.4Ghz Wireless Pointer		9	47	423
FY2011	12	UPS	Power Tri 650VA UPS		18	35	630
FY2011	13	Acrobat	Acrobat Professional 10 Win IEA00 License with DVD Set		18	492	8,856
FY2011	14	USB Modem	Melfone USB Internet Modem		18	35	630
FY2011	15	Table	OD-1C, Size: 700 x 1200 x 750mm		18	135	2,430
FY2011	16	Chair	K338 Size: 590 x 920mm		18	45	810
FY2011	17	Whiteboard	1.2m x 2m, Movable		9	65	585
FY2011	18	Toner	Set for Printer (CP2025dn)		9	450	4,050
FY2011	19	Toner	Set for Copier (Toshiba T1810D)		9	90	810
Total Price							73,062

天 17

50







Annex 6 : List of Counterparts participating training in Japan and technical exchange in Indonesia, Sri Lanka and Lao PDR.

Counterparts participating Training/Technical Exchange Programmes conducted overseas

Period/ duration	Programme	Country	Participants name, position and department
January 2011 (3 weeks)	Survey planning for the Inter-Censal Population Survey	Japan	1. Ms. Som Somalin, Bureau Chief, Dep. Demographic Stat., NIS 2. Moeung Kongkea, Bureau Chief, Dep. Demographic Stat., NIS 3. Nou Chanra, Vice Bureau Chief, Dep. Demographic Stat., NIS
January 2012 (3 weeks)	Data processing for the Inter-Censal Population Survey	Japan	1. Mr. Saint Lundy, Director, Dept. of ICT, NIS 2. Mr. Lay Sophat, DD, Dept. of ICT, NIS 3. Mr. Lim Penh, Director, Secretary of DG, NIS
September 2011 (5 days)	Technical exchange with the Statistics Indonesia on small area statistics	Indonesia	1. Mr. Lim Penh, Director, Secretary of DG, NIS 2. Mr. Kim Net, DD, Dept. of Social Stat., NIS 3. Mr. So Tonnere, DD, Dept. of Economic Stat., NIS
May 2011 (5 days)	Technical exchange with Sri Lankan Dept. of Census and Statistics on population census and economic census	Sri Lanka	1. Mr. Kim Net, DD, Dept. of Social Stat., NIS 2. Mr. So Tonnere, DD, Dept. of Economic Stat., NIS 3. Mr. Chao Pheav, DD, Dept. of ICT, NIS
November 2012 (5 days)	Technical exchange with Lao Statistics Bureau on population census, economic census and small area statistics	Lao PDR	1. H.E. Mr. Hor Darith, DDG, NIS 2. Mr. Khin Sovorlak, DDG, NIS 3. Mr. Kim Net, DD, Dept. of Social Stat., NIS

Handwritten signature or initials.

Handwritten mark or signature.

Handwritten initials/signature in the top left margin.

ANNEX 3 Progress of Activities on the PLAN OF OPERATIONS Improving Official Statistics in Cambodia Phase 3																																										
	2010			2011										2012			2013			2014			2015																			
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	ACTIVITIES																																									
1 [Planning and implementation of statistical surveys]																																										
1-1 Plan and implement statistical surveys																																										
1-2 Delimitate IAs for statistical surveys																																										
1-3 Maintain and manage the IAs for statistical surveys																																										
2 [Data processing]																																										
2-1 Develop the data processing systems of statistical surveys in NIS																																										
2-2 Conduct the data processing of statistical surveys																																										
2-3 Scrutinize the microdata of statistical surveys																																										
2-4 Tabulate and scrutinize tables of statistical surveys																																										
3 [Analysis]																																										
3-1 Analyze the results of statistical surveys																																										
4 [Dissemination]																																										
4-1 Compile publication of the results of statistical surveys																																										
4-2 Prepare CDs that stored the results of statistical surveys																																										
4-3 Prepare web contents that stored the results of statistical surveys																																										
4-4 Prepare statistical maps based on the results of statistical surveys																																										
4-5 Compile census atlases based on the results of statistical surveys																																										
4-6 Conduct training for using results of statistical surveys to line ministries concerned and provincial governments (including planning departments)																																										
4-7 Hold workshops to disseminate the results of 2011 Economic Census																																										
4-8 Hold workshops to disseminate the results of 2013 Inter-Census Population Survey																																										
4-9 Hold workshops to disseminate the results of 2014 Inter-Census Economic Statistical Survey																																										
4-10 Hold seminars to make the project widely known to the public																																										
5 [Small area statistics]																																										
5-1 Develop village level data processing systems of the economic census in NIS																																										
5-2 Conduct training for using village-level results of the economic census to line ministries concerned and provincial government (including planning departments)																																										
6 [Trainings for provincial planning departments]																																										
6-1 Conduct training for regional offices of NIS to become instructor for the trainings conducted in provincial planning departments																																										
6-2 Conduct training on tabulation and scrutiny of data for the 2008 Population Census and 2011 Economic Census (including 2009 Establishment Listing)																																										
6-3 Conduct training on dissemination of the results of the 2008 Population Census and 2011 Economic Census (including 2009 Establishment Listing)																																										
7 [Institutional memory]																																										
7-1 Develop and maintain documents on detailed procedures for statistical surveys																																										
8 [coordination]																																										
8-1 Take part in the necessary meetings for statistical surveys																																										
training in Japan																																										
This list is subject to change through the discussion between both sides whenever the necessity arises, and it will be reflected in the current plan of the Project.																																										

Original Plan on R/D signed at 10 June 2010.  
Amended 14 Dec 2012 at MGS Form Review

Annex 7 : Progress of Activities

Handwritten mark/signature at the bottom left corner.

Outputs	Verifiable Indicator	Achievement/ Perspective	<ul style="list-style-type: none"> <li>• contributing/impeding factors for Achievement and Perspective</li> <li>• Reasons on the additional activities/changes</li> <li>• Special Remarks</li> </ul>
<p>&lt;Output-1&gt; NIS and provincial planning departments will be able to conduct planning and implementation of statistical surveys as a consequence of: Delineation of EA (Enumeration Areas) is completed. The results of the delineation of EA are used for other statistical surveys (①, ②, ③)</p>			
1-1	Number of village maps and EA maps	[FY2010] <EC2011> • Number of village maps: 14,104 • Number of EA maps: 1,550 [FY2012] <CIPS-Mapping Field Work > • Number of village maps: 955 • Number of EA maps: 955	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Knowledge and skills on EC2011 have been mastered by C/Ps through their actual work on EC2011 such as training, implementation of the survey and scrutiny &amp; storage of the questionnaires.</li> <li>• Knowledge and skills on PES have been mastered by C/Ps through their actual work on PES such as training, implementation of the survey and scrutiny &amp; storage of the questionnaires.</li> <li>• During the period of FY2012, knowledge and skills on CIPS and CIES have been mastered by C/Ps through their actual work on planning on both surveys</li> </ul>
1-2	Number of statistical surveys in which village maps and EA maps are used	[FY2010] • EC2011: 1 [FY2011] • PES: 11 [FY2012] • CIPS-2013: 1	
<p>&lt;Output-2&gt; NIS will be able to conduct data processing as a consequence of: As the output of the data processing and scrutiny of statistical surveys, statistical tables as well as micro-data are prepared. And the statistical tables are released (①, ②, ③)</p>			
2-1	Number of statistical tables (tabulated by NIS and provincial planning departments)	[FY2011] <EC2011> • National Report= 202 kinds of tables [FY2012] <EC2011> • National Profile= 421 kinds of tables • Provincial Profile= 421 tables /each province & district) • Provincial Report= 57 tables for the whole country and 55 tables for each province. • Census Atlas= 153 statistical maps	<ul style="list-style-type: none"> <li>• In FY2011, knowledge and skills on data processing for EC2011 have been mastered by C/Ps through their actual work of data processing, such as scrutiny of questionnaires, coding, data entry, scrutiny of error data and data correction.</li> </ul>
2-2	Number of microdata (processed by NIS)	[FY2011] <EC2011> • Number of establishments= 505,134 <Post Enumeration Survey> • Number of establishments= 4,600	

38

Outputs	Verifiable Indicator	Achievement/ Perspective	<ul style="list-style-type: none"> <li>- contributing/impeding factors for Achievement and Perspective</li> <li>- Reasons on the additional activities/changes</li> <li>- Special Remarks</li> </ul>
<p>&lt;Output-3&gt; NIS will be able to conduct analysis as a consequence of. The results of statistical surveys are analyzed. The results of the analysis are released. (1, 2, 3)</p>			
<p>3-1</p> <p>R C P</p>	<p>Number of reports on analysis (published and/or released) prepared by NIS and provincial planning departments</p>	<p>[FY2012] &lt;EC2011&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-Analytical Report=11 types</li> <li>-Provincial Report=24 provinces</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-In FY2011, basic knowledge on the selection of themes of data analysis, analytical skills, work procedure and financial analysis of enterprise has been acquired by C/Ps</li> <li>-During the period of FY2012, knowledge and skills on data analysis have been acquired by C/Ps through their actual work on writing of analytical reports.</li> </ul>
<p>&lt;Output-4&gt; NIS will be able to conduct dissemination as a consequence of. The results of statistical surveys are disseminated by means of publication, CD, web site, statistical map, and census atlas. Related personnel share the common understanding in the matter of the statistical surveys (EA, the Census results, etc) (1, 2, 3)</p>			
<p>4-1</p>	<p>Number of publications, CDs, web pages, statistical maps, and census atlases (published and/or released)</p>	<p>[FY2010] &lt;2009 Nation wide-Establishment Listing&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-Statistical map: 33 sheets</li> <li>-Nation-wide Establishment Listing of Cambodia 2009 Statistics Atlas</li> </ul> <p>&lt;EC2011 Pilot Survey&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-Preliminary Results of Pilot Survey of 2011 Economic Census of Cambodia</li> </ul> <p>[FY2011] &lt;EC2011&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-Statistical map: 20 sheets</li> <li>-Index map: 54 sheets</li> <li>-Revised boundary map: 4 sheets</li> <li>-Preliminary Results of the 2011 Economic Census of Cambodia</li> <li>-Preliminary Results of the 2011 Economic Census of Cambodia Statistics Atlas</li> <li>-Preliminary Results of the 2011 Economic Census of Cambodia (No.2)</li> <li>-Economic Census of Cambodia 2011, National Report on Final Census Results</li> <li>-Economic Census of Cambodia 2011, District and Commune Report on Final Census Results</li> </ul> <p>[FY2012] &lt;EC2011&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-Economic Census of Cambodia 2011, Census Atlas</li> </ul> <p>[Future plan] &lt;EC2011&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-National Profile, Provincial Profile=24, Provincial Report=24, Village Indicator = 1, Analytical Report = 11</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-In FY2011, seminars on releasing of preliminary results and final results of EC2011 were held. Public relations activities about the execution of the census and the use of the results of the census were conducted. Through these, recognition and understanding of official statistics by Cambodian people has been promoted.</li> <li>-During the period of FY2012, SAS reports were compiled and disseminated. Through this, recognition and understanding of official statistics by Cambodian people has been promoted.</li> </ul>
<p>4-2</p>	<p>Number of trainees in the training course</p>		
<p>4-3</p>	<p>Level of understanding of the trainees</p>	<p>[FY2011]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-Level of understanding has progressed concerning the methodology and skills of data dissemination of the Preliminary Report and the Final Report of EC2011.</li> </ul> <p>[FY2012]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-Level of understanding has progressed concerning preparation, implementation and tools for dissemination of the results of EC2011.</li> </ul>	

39

Outputs	Verifiable Indicator	Achievement/ Perspective	<ul style="list-style-type: none"> <li>• contributing/impeding factors for Achievement and Perspective</li> <li>• Reasons on the additional activities/changes</li> <li>• Special Remarks</li> </ul>
4-4	Number of workshops and seminars conducted	[FY2010] • Seminar on the Report on the Results of EC2011 Pilot Survey. (27th Oct 2010) Number of Trainees: approx 170. [FY2011] • Seminar at Releasing the Preliminary Results of EC2011. (8th Aug 2011) Number of Trainees: approx 270. • Seminar at Releasing the Final Report of EC2011. (Morning of 13th March 2012) Number of Trainees: approx 650. • Training on the Final Report of EC2011. (Afternoon of 13th and 14th March 2012) Number of Trainees: approx 650.	
<Output-5> NIS will be able to conduct small area statistics as a consequence of. Small area statistics of the Economic Census are tabulated and released. The use of small area statistics is recognized by line ministries concerned and provincial governments. (①、②、③)			
5-1	Number of small area statistical tables: by district, commune, village, and EA (tabulated and/or	[FY2011] • Preliminary Results of EC2011: 1 table • Final Results of EC2011: 1 table	
5-2	Number of trainees on small area statistics	[FY2011] • 1st GIS training, Number of trainees: 3 (22nd ~ 23rd Aug 2011) • 2nd GIS training, Number of trainees: 6 (Nov 2011) • 3rd GIS training, Number of trainees: 2 (Mar 2012) • 1st Training on Provincial Reports, Number of trainees: 72 (April 2012) [FY2012] • 2nd training on report writing of Provincial Reports (Aug 2012) • Number of trainees: not verify confirmed number	
5-3	Level of understanding of trainees on the use of small area statistics	[FY2011] • Level of understanding on production of statistical maps has progressed. • Level of understanding on tabulation by district, as well as analysis and description of statistics for districts has progressed. [FY2012] • Level of understanding on tabulation by district, as well as analysis and description of statistics for districts has progressed.	

Handwritten marks: a checkmark and the number '4'.

39

Handwritten signature or initials.

Outputs	Verifiable Indicator	Achievement/ Perspective	<ul style="list-style-type: none"> <li>• contributing/impeding factors for Achievement and Perspective</li> <li>• Reasons on the additional activities/changes</li> <li>• Special Remarks</li> </ul>
<p>&lt;Output-6&gt; Provincial planning departments will be able to tabulate and scrutinize data as a consequence of. Training of tabulation and scrutiny of data, and disseminating results of statistical surveys for statistical staff in provincial planning departments are conducted. (4) &lt;SAS sub-project&gt;</p>			
<p>6-1</p> <p style="font-size: 2em; margin-left: 10px;">3</p>	<p>Number of trainings conducted for provincial planning departments</p>	<p>[FY2011]</p> <p>Six (6) Kampong Cham, Kandal, Takeo, Preah Sihanouk, Battambang, Siem Reap</p> <p>First Stage</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1st Training (for SCOs by JICA Experts)/14 May 2011</li> <li>• 2nd Training (for RO/AROs of Kampong Cham, Siem Reap, &amp; Battambang by SCOs)/16~17 Aug. 2011 Training (for RO/AROs of Preah Sihanouk, Kandal &amp; Takeo by SCOs)/ 18~1 Aug. 2011</li> <li>• 3rd Training (SASPOS of Kampong Cham &amp; Siem Reap by RO/AROs)/ 23~25 Aug. 2011 Training (SASPOS of Battambang &amp; Preah Sihanouk by RO/AROs)/ 30 Aug. ~1 Sep. 2011 Training (SASPOS of Kandal &amp; Takeo by RO/AROs)/ 6~8 Sep. 2011</li> <li>• 4th Internet Uses Training (for SASPOs of Kampong Cham by SCO)/ 12 Sep. 2011 Internet Uses Training (for SASPOs of Siem Reap by SCO)/ 14 Sep. 2011 Internet Uses Training (for SASPOs of Battambang by SCO)/ 16 Sep. 2011 Internet Uses Training (for SASPOs of Preah Sihanouk by SCO)/ 19 Sep. 2011 Internet Uses Training (for SASPOs of Kandal by SCO)/ 21 Sep. 2011 Internet Uses Training (for SASPOs of Takeo by SCO)/ 22 Sep. 2011</li> </ul> <p>Second Stage</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1st Training (for SCOs by JICA Experts)/ 22~24 Nov. 2011</li> <li>• 2nd Training (for RO/AROs of 6 provinces by SCOs)/ 29 Nov. ~ 1 Dec. 2011</li> <li>• 3rd Training (for SASPOS of Takeo &amp; Siem Reap by RO/AROs)/ 12~14 Dec. 2011 Training (for SASPOS of Battambang &amp; Preah Sihanouk by RO/AROs)/ 14~16 Dec. 2011 Training (for SASPOS of Kandal &amp; Kampong Cham by RO/AROs)/ 19~21 Dec. 2011</li> <li>• 4th On-Job-Training (for SASPOS of 6 provinces by RO/AROs &amp; SCOs)/ 22 Dec. 2011~16 Feb. 2012</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• In FY2011, knowledge on tabulation, analysis and report writing for SAS has been acquired by C/Ps through 1st and 2nd trainings and OJT of SAS activities implemented in 6 provinces.</li> <li>• During the period of FY2011, more practical knowledge on tabulation etc has been acquired by C/Ps through 1st and 2nd trainings and OJT of SAS activities implemented in 6 provinces.</li> <li>• During the period of FY2012, more practical knowledge on tabulation etc has been acquired by C/Ps through 1st and 2nd trainings and OJT of SAS activities implemented in 9 provinces.</li> <li>• During the period of FY2012, SAS reports have been accomplished in 6 provinces.</li> </ul>

5

41


Outputs	Verifiable Indicator	Achievement/ Perspective	<ul style="list-style-type: none"> <li>- contributing/impeding factors for Achievement and Perspective</li> <li>- Reasons on the additional activities/changes</li> <li>- Special Remarks</li> </ul>
6-1 (cont.)	Number of trainings conducted for provincial planning departments  <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">RIP</div>	[FY2012] Nine (9) provinces: Kampong Chhnang, Pursat, Pailin, Banteay Meanchey, Kampong Thom, Kratie, Monduliri, Kep & Koh Kong <b>First Stage</b> • 1st Training (for RO/AROs of Kampong Chhnang, Pursat, Pailin, Banteay Meanchey, & Kampong Thom by SCO)/ 20 <sup>th</sup> 22 Aug. 2012 Training (for RO/AROs of Kratie, Monduliri, Kep & Koh Kong by SCO)/ 23 <sup>rd</sup> 25 Aug. 2012 • 2nd Training (for SASPOs of Kampong Chhnang, Pursat, Pailin, Banteay Meanchey, & Kampong Thom by RO/AROs)/ 4 <sup>th</sup> 6 Sep. 2012 Training (for SASPOs of Kratie, Monduliri, Kep & Koh Kong by RO/AROs)/ 11 <sup>th</sup> 13 Aug. 2012 • 3rd Internet Use Training (for SASPOs of Kampong Chhnang by SCO)/ 17 Sep. 2012 Internet Use Training (for SASPOs of Pursat by SCO)/ 18 Sep. 2012 Internet Use Training (for SASPOs of Banteay Meanchey by SCO)/ 19 Sep. 2012 Internet Use Training (for SASPOs of Pailin by SCO)/ 21 Sep. 2012 Internet Use Training (for SASPOs of Koh Kong by SCO)/ 26 Sep. 2012 Internet Use Training (for SASPOs of Kep by SCO)/ 28 Sep. 2012 Internet Use Training (for SASPOs of Kampong Thom by SCO)/ 1 Oct. 2012 Internet Use Training (for SASPOs of Kratie by SCO)/ 3 Oct. 2012 Internet Use Training (for SASPOs of Monduliri by SCO)/ 5 Oct. 2012 <b>Second Stage</b> • 1st Training (for RO/AROs of 9 provinces by SCOs)/ 1 <sup>st</sup> 3 Oct. 2012 • 2nd Training (for SASPOs of Kampong Chhnang, Pursat, Pailin, Banteay Meanchey, & Kampong Thom by RO/AROs)/ 22 <sup>nd</sup> 24 Oct. 2012 Training (for SASPOs of Kratie, Monduliri, Kep & Koh Kong by RO/AROs)/ 25 <sup>th</sup> 27 Oct. 2012 • 3rd On-Job-Training (for SASPOs of 9 provinces by RO/AROs & SCOs)/ 3 Dec. 2012 ~ 28 Feb. 2013	

5

Outoputs	Verifiable Indicator	Achievement/ Perspective	<ul style="list-style-type: none"> <li>• contributing/impeding factors for Achievement and Perspective</li> <li>• Reasons on the additional activities/changes</li> <li>• Special Remarks</li> </ul>
6-2 42	Number of provincial trainees in training courses	<p>【2011年度】 【FY2011】</p> <p>Six (6) Kampong Cham, Kandal, Takeo, Preah Sihanouk, Battambang, Siem Reap</p> <p>First Stage</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1st Training (for SCOs by JICA Experts) /14 May 2011/Number of trainees: 2</li> <li>• 2nd Training (for RO/AROs of Kampong Cham, Siem Reap, &amp; Battambang by SCOs)/16~17 Aug. 2011/Number of trainees: 9               <ul style="list-style-type: none"> <li>Training (for RO/AROs of Preah Sihanouk, Kandal &amp; Takeo by SCOs) /18~1 Aug. 2011/Number of trainees: 9</li> </ul> </li> <li>• 3rd Training (SASPOS of Kampong Cham &amp; Siem Reap by RO/AROs) / 23~25 Aug. 2011/Number of trainees: 6               <ul style="list-style-type: none"> <li>Training (SASPOS of Battambang &amp; Preah Sihanouk by RO/AROs)/ 30 Aug. ~1 Sep. 2011/ Number of trainees: 6</li> <li>Training (SASPOS of Kandal &amp; Takeo by RO/AROs) / 6~8 Sep. 2011/Number of trainees: 6</li> </ul> </li> <li>• 4th Internet Uses Training (for SASPOS of Kampong Cham by SCO / 12 Sep. 2011)/Number of trainee: 3               <ul style="list-style-type: none"> <li>Internet Uses Training (for SASPOS of Siem Reap by SCO) / 14 Sep. 2011/Number of trainee: 3</li> <li>Internet Uses Training (for SASPOS of Battambang by SCO) / 16 Sep. 2011/Number of trainee: 3</li> <li>Internet Uses Training (for SASPOS of Preah Sihanouk by SCO) / 19 Sep. 2011/Number of trainee: 3</li> <li>Internet Uses Training (for SASPOS of Kandal by SCO) / 21 Sep. 2011/Number of trainee: 3</li> <li>Internet Uses Training (for SASPOS of Takeo by SCO) / 22 Sep. 2011/Number of trainee: 3</li> </ul> </li> </ul> <p>Second Stage</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1st Training (for SCOs by JICA Experts) / 22~24 Nov. 2011/Number of trainees: 6</li> <li>• 2nd Training (for RO/AROs of 6 provinces by SCOs) / 29 Nov.~1 Dec. 2011/Number of trainees: 12</li> <li>• 3rd Training (for SASPOS of Takeo &amp; Siem Reap by RO/AROs) / 12~14 Dec. 2011/Number of trainees: 6               <ul style="list-style-type: none"> <li>Training (for SASPOS of Battambang &amp; Preah Sihanouk by RO/AROs) / 14~16 Dec. 2011/Number of trainees: 6</li> <li>Training (for SASPOS of Kandal &amp; Kampong Cham by RO/AROs) / 19~21 Dec. 2011/Number of trainees: 6</li> </ul> </li> <li>• 4th On-Job-Training (for SASPOS of 6 provinces by RO/AROs &amp; SCOs) / 22 Dec. 2011~16 Feb. 2012 /Number of trainees: 18</li> </ul>	

58



Outputs	Verifiable Indicator	Achievement/ Perspective	<ul style="list-style-type: none"> <li>• contributing/impeding factors for Achievement and Perspective</li> <li>• Reasons on the additional activities/changes</li> <li>• Special Remarks</li> </ul>
6-2 (Cont.)  43		<p>[FY2012]</p> <p>Nine (9) provinces: Kampong Chhnang, Pursat, Pailin, Banteay Meanchey, Kampong Thom, Kratie, Monduliri, Kep &amp; Koh Kong</p> <p>First Stage</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1st Training (for RO/AROs of Kampong Chhnang, Pursat, Pailin, Banteay Meanchey, &amp; Kampong Thom by SCO) / 20~22 Aug. 2012 /Number of trainees: 15</li> <li>Training (for RO/AROs of Kratie, Monduliri, Kep &amp; Koh Kong by SCO) / 23~25 Aug. 2012 /Number of trainees: 12</li> <li>• 2nd Training (for SASPOs of Kampong Chhnang, Pursat, Pailin, Banteay Meanchey, &amp; Kampong Thom by RO/AROs) / 4~6 Sep. 2012 /Number of trainees: 15</li> <li>Training (for SASPOs of Kratie, Monduliri, Kep &amp; Koh Kong by RO/AROs) / 11~13 Aug. 2012 /Number of trainees: 12</li> <li>• 3rd Internet Use Training (for SASPOs of Kampong Chhnang by SCO) / 17 Sep. 2012 /Number of trainees: 3</li> <li>Internet Use Training (for SASPOs of Pursat by SCO) / 18 Sep. 2012 /Number of trainees: 3</li> <li>Internet Use Training (for SASPOs of Banteay Meanchey by SCO) / 19 Sep. 2012 /Number of trainees: 3</li> <li>Internet Use Training (for SASPOs of Pailin by SCO) / 21 Sep. 2012 /Number of trainees: 3</li> <li>Internet Use Training (for SASPOs of Koh Kong by SCO) / 26 Sep. 2012 /Number of trainees: 3</li> <li>Internet Use Training (for SASPOs of Kep by SCO) / 28 Sep. 2012 /Number of trainees: 3</li> <li>Internet Use Training (for SASPOs of Kampong Thom by SCO) / 1 Oct. 2012 /Number of trainees: 3</li> <li>Internet Use Training (for SASPOs of Kratie by SCO) / 3 Oct. 2012 /Number of trainees: 3</li> <li>Internet Use Training (for SASPOs of Monduliri by SCO) / 5 Oct. 2012 /Number of trainees: 3</li> </ul> <p>Second Stage</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1st Training (for RO/AROs of 9 provinces by SCOs) / 1~3 Oct. 2012 /Number of trainees: 18</li> <li>• 2nd Training (for SASPOs of Kampong Chhnang, Pursat, Pailin, Banteay Meanchey, &amp; Kampong Thom by RO/AROs) / 22~24 Oct. 2012 /Number of trainees: 15</li> <li>Training (for SASPOs of Kratie, Monduliri, Kep &amp; Koh Kong by RO/AROs) / 25~27 Oct. 2012 /Number of trainees: 12</li> <li>• 3rd On-Job-Training (for SASPOs of 9 provinces by RO/AROs &amp; SCOs) / 3 Dec. 2012 ~ 28 Feb. 2013 /Number of trainees: 27</li> </ul>	

Outputs	Verifiable Indicator	Achievement/ Perspective	<ul style="list-style-type: none"> <li>• contributing/impeding factors for Achievement and Perspective</li> <li>• Reasons on the additional activities/changes</li> <li>• Special Remarks</li> </ul>
6-3 719	Level of understanding of the trainees on tabulation and scrutiny of data, tabulation and dissemination of the results of statistical surveys	•Level of understanding has progressed concerning data-processing, analysis and analytical descriptions of small area statistics in 6 provinces for FY2011 and in 9 provinces for FY2012 implementation program.	
6-4	Number of statistical tables (tabulated by NIS and provincial planning departments)	[FY2012] Number of statistical tables: 15 tables Number of statistical tables released: 13 tables for each province. (78 tables for 6 provinces) •SAS Report: 6 provinces	
<b>&lt;Output-7&gt; NIS and provincial planning departments will be able to keep institutional memory as a consequence of: Detailed Procedures (e.g. important processes, important examples, manuals) of statistical surveys are prepared and compiled.</b>			
7-1 44	詳細手続きに関し整備した各種資料数 Number of documents of detailed procedures prepared.	[FY2010] <EC2011> •Supervisor's Manual •Enumerator's Manual •Duties of Census Officials Engaged in the Local Organization •Supplementary Explanations and Questions & Answers •Manual Editing and Coding Manual •Editing Rules for Data Entry and Computer Editing  [FY2011] <EC2011> •Enumerator's Manual for Post Enumeration Survey of EC2011 •Supervisor's Manual for Post Enumeration Survey of EC2011 •Duties of SCO and DPDP •Editing and Coding Manual •Manual on Data Entry System •Report on Local Activities in the 2011 Economic Census •Post Enumeration Survey of EC2011 •Editing Rule for Data Cleaning •Sample of Provincial Report <SAS> •SAS Work Plan •Basic document for producing the Small Area Statistics in Provinces •SAS Subproject for improvement of statistical technology in Provincial Developments of Planning •Sample report of SAS: Population, Households, and Establishments in Banteay Meanchey Province •Presentation materials: Outline of SAS subproject, Point of analytical report, Point of compilation of report	[FY2010] •In FY2010, various documents such as manuals on EC2011 implementation were compiled. Through this work, skills and knowledge for maintaining statistical capability of NIS and PDPs were secured; consequently systems for maintaining statistical capability on EC2011 implementation in NIS and PDPs have been formulated.  [FY2011] •In FY2011, various documents such as manuals on EC2011 data processing and PES were compiled. Through this work, skills and knowledge for maintaining statistical capability of NIS and PDPs were secured; consequently systems for maintaining statistical capability in NIS and PDPs have been formulated.  [FY2012] •During the period of FY2012, various documents such as manuals on EC2011 data processing were compiled. Through this work, skills and knowledge for maintaining statistical capability of NIS and PDPs were secured; consequently systems for maintaining statistical capability in NIS and PDPs have been formulated.

57

Outputs	Verifiable Indicator	Achievement/ Perspective	<ul style="list-style-type: none"> <li>• contributing/impeding factors for Achievement and Perspective</li> <li>• Reasons on the additional activities/changes</li> <li>• Special Remarks</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">2 : 2</p>	<p>[FY2012] &lt;EO2011&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Handbook on the Implementation of Data Analysis</li> <li>• Handbook on Financial Ratios on Data Analysis</li> <li>• Duties of RO and ARO</li> <li>• Work Schedule for Compiling Provincial Report, Provincial Profile and Village Indicators &lt;CIPS-2013&gt;</li> <li>• Manual on Mapping Work</li> <li>&lt;SAS&gt;</li> <li>• SAS Work Plan</li> <li>• Basic document for producing the Small Area Statistics in Provinces</li> <li>• Presentation materials: Outline of SAS subproject, Point of analytical report, Point of compilation of report</li> </ul>	
<p>&lt;Output-8&gt; NIS and provincial planning departments will be able to conduct coordination as a consequence of. Necessary coordination among the related organization for statistical surveys are properly made.</p>			
<p>8-1</p>	<p>Record of meetings with related organizations</p>	<p>[FY2010]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1st JCC (12th Oct 2010)</li> <li>• 3rd NSC (15th Oct 2010)</li> <li>• 4th CTC (22nd Oct 2010)</li> <li>• 5th CTC (13th Dec 2010)</li> <li>• 3rd NCC (10th Feb 2011)</li> </ul> <p>[FY2011]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 7th CTC (3rd June 2011)</li> <li>• 1st CIPS-TC (18th May 2011)</li> <li>• 2nd CIPS-TC (15th Aug 2011)</li> <li>• CIPS meeting (NIS, UNFPA, and JICA) (29th Aug 2011)</li> <li>• 3rd CIPS-TC (8th Dec 2011)</li> <li>• 4th CIPS-TC (9th Feb 2012)</li> <li>• 3rd JCC (9th Mar 2012)</li> </ul> <p>[FY2012]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1st CIES-TC (Aug 2012)</li> <li>• 5th CIPS-TC (Sept 2012)</li> <li>• 6th CIPS-TC (Dec 2012)</li> </ul>	<p>• In FY2011, capability on coordination of NIS and PDPs has been improved through various occasions such as implementation of PES, seminars at releasing the preliminary results and final results of EC2011.</p> <p>• During the period of FY2012, capability on coordination of NIS and PDPs has been improved through various occasions such as CIPS-TC, CIES-TC, trainings for SAS 1st stage and 2nd stage in 6 provinces and through report writing.</p>
<p>8-2</p>	<p>Number of meetings with related organizations (CT, etc)</p>	<p>[FY2010]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Preliminary meeting for 3rd NSC (14th Oct 2010)</li> <li>• Preliminary meeting for 4th CTC (21th Oct 2010)</li> <li>• Preliminary meeting for the seminar at releasing the final results of EC2011 Pailot Survey (26th Oct 2010)</li> <li>• Meeting on procedures on JICA procurement of technical equipment.</li> </ul> <p>[FY2011]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Meeting with UNFPA experts.</li> </ul> <p>[FY2012]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Meeting with UNFPA experts.</li> </ul>	

4/5

5/1

Annex 9 : List of Publications

**【FY2010】**

<2009 Nation wide-Establishment Listing>

- Statistical map : 33 sheets
- Nation-wide Establishment Listing of Cambodia 2009 Statistics Atlas

<EC2011 Pilot Survey>

- Preliminary Results of Pilot Survey of 2011 Economic Census of Cambodia

**【FY2011】**

<EC2011>

- Statistical map : 20 sheets
- Index map : 54 sheets
- Revised boundary map : 4 sheets
- Preliminary Results of the 2011 Economic Census of Cambodia
- Preliminary Results of the 2011 Economic Census of Cambodia Statistics Atlas
- Preliminary Results of the 2011 Economic Census of Cambodia (No.2)
- Economic Census of Cambodia 2011, National Report on Final Census Results
- Economic Census of Cambodia 2011, District and Commune Report on Final Census Results

**【FY2012】**

<EC2011>

- Economic Census of Cambodia 2011, Census Atlas

**【On track for the Publication Release : final drafting and/or reviewing for release】**

<EC2011>

- National Profile
- Provincial Profiles for 24 each province
- Provincial Reports for 24 each province
- Village Indicator
- Analytical Reports for 11 theme

RLP

Annex10 : List of Manuals and Documents

**【FY2010】**

<EC2011>

- Supervisor's Manual
- Enumerator's Manual
- Duties of Census Officials Engaged in the Local Organization
- Supplementary Explanations and Questions & Answers
- Manual Editing and Coding Manual
- Editing Rules for Data Entry and Computer Editing

**【FY2011】**

<EC2011>

- Enumerator's Manual for Post Enumeration Survey of EC2011
- Supervisor's Manual for Post Enumeration Survey of EC2011
- Duties of SCO and DPDP
- Editing and Coding Manual
- Manual on Data Entry System
- Report on Local Activities in the 2011 Economic Census
- Post Enumeration Survey of EC2011
- Editing Rule for Data Cleaning
- Sample of Provincial Report

<SAS>

- SAS Work Plan
- Basic document for producing the Small Area Statistics in Provinces
- SAS Subproject for improvement of statistical technology in Provincial Developments of Planning
- Sample report of SAS: Population, Households, and Establishments in Banteay Meanchey Province
- Presentation materials: Outline of SAS subproject, Point of analytical report, Point of compilation of report

**【FY2012】**

<EC2011>

- Handbook on the Implementation of Data Analysis
- Handbook on Financial Ratios on Data Analysis
- Duties of RO and ARO
- Work Schedule for Compiling Provincial Report, Provincial Profile and Village Indicators

<CIPS-2013>

- Manual on Mapping Work

<SAS>

- SAS Work Plan
- Basic document for producing the Small Area Statistics in Provinces
- Presentation materials: Outline of SAS subproject, Point of analytical report, Point of compilation of report

R 1 3

ST

Project Design Matrix (PDM)		ANNEX 14	
Project Title: Improving Official Statistics in Cambodia Phase 3		Target Group: Statistical staff in the NIS, provincial planning departments	
Project Period: From October 2010 to March 2015 (4 and a half years)		Target Area: The entire Cambodia	
		Ver. 0	
		As of June 10, 2010	
Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
Overall Goal	<ul style="list-style-type: none"> <li>Number of policies, plans, and strategies which utilize the results of statistical data provided by NIS and provincial planning departments</li> <li>Number of statistical surveys conducted by NIS and provincial planning departments</li> <li>Number of statistical results provided by NIS and provincial planning departments</li> </ul>	NIS, provincial planning departments, line ministries and provincial governments	
Project Purpose	<ul style="list-style-type: none"> <li>Number of capable statisticians in NIS trained to conduct planning, data processing, analysis, dissemination, and use of the results of the Economic Census, inter-censal population survey, economic statistics survey, and other statistical surveys</li> <li>Number of RDs (Regional Offices) and ARDs (Assistant Regional Officers) trained to conduct tabulation and scrutiny of data, dissemination, and the use of the results of the Economic Census and the 2008 Population Census</li> </ul>	NIS and provincial planning departments	<ul style="list-style-type: none"> <li>Policy makers will recognize the importance of statistical information.</li> <li>Necessary budget will be secured.</li> </ul>
OUTPUTS			<ul style="list-style-type: none"> <li>Necessary coordination with relevant organizations will be conducted by NIS.</li> <li>Counterparts will stay in the proper posts.</li> <li>Necessary budget will be secured.</li> </ul>
1 NIS and provincial planning departments will be able to conduct planning and implementation of statistical surveys as a consequence of: Delineation of EA (Enumeration Area) is completed. The results of the delineation of EA are used for other statistical surveys. (①, ②, ③)	1-1 Number of village maps and FA maps 1-2 Number of statistical surveys in which village maps, EA maps and updated village frame are used	NIS and provincial planning departments NIS, line ministries, and provincial governments	
2 NIS will be able to conduct data processing as a consequence of: As the output of the data processing and scrutiny of statistical surveys, statistical tables as well as micro-data are prepared. And the statistical tables are released. (①, ②, ③)	2-1 Number of statistical tables (tabulated by NIS and provincial planning departments) 2-2 Number of microdata (processed by NIS)	NIS and provincial planning departments NIS	
3 NIS will be able to conduct analysis as a consequence of: The results of statistical surveys are analyzed. The results of the analysis are released. (①, ②, ③)	3-1 Number of reports on analysis (published and/or released) prepared by NIS and provincial planning departments	NIS	
4 NIS will be able to conduct dissemination as a consequence of: The results of statistical surveys are disseminated by means of publication, CD, web site, statistical map, and census atlas. Related personnel obtain the common understanding in the matter of the statistical surveys (EA, the Census results, etc.). (①, ②, ③)	4-1 Number of publications, CDs, web pages, statistical maps, and census atlases (published and/or released) 4-2 Number of trainees in the training course 4-3 Level of understanding of the trainees 4-4 Number of workshops and seminars conducted	NIS NIS, line ministries, and provinces short examination	
5 NIS will be able to conduct small area statistics as a consequence of: Small area statistics of the Economic Census are tabulated and released. The use of small area statistics is recognized by line ministries concerned and provincial governments. (①)	5-1 Number of small area statistical tables: by district, commune, village, and EA (tabulated and/or released) 5-2 Number of trainees in the training course 5-3 Level of understanding of the trainees on the use of small area statistics	NIS and provinces NIS and provinces short examination	
6 Provincial planning departments will be able to tabulate and scrutinize data as a consequence of: Trainings of tabulation and scrutiny of data, and disseminating results of statistical surveys for statistical staff in provincial planning departments are conducted. (②)	6-1 Number of trainings conducted for provincial planning departments 6-2 Number of provincial trainees in the training course 6-3 Level of understanding of the trainees on tabulation and scrutiny of data, and dissemination of the results of statistical surveys 6-4 Number of statistical tables (tabulated by NIS and provincial planning departments)	NIS and provinces NIS and provinces short examination NIS and provinces	

Annex 1 : PDM ver. 0

RIP

5

217

<p>7 NIS and provincial planning departments will be able to keep institutional memory as a consequence of:  Detailed Procedures (e.g. Important processes, important examples, manuals) of statistical surveys are prepared and compiled.</p>	<p>7-1 Number of detailed records of procedures prepared.</p>	<p>NIS</p>	
<p>8 NIS and provincial planning departments will be able to conduct coordination as a consequence of:  Necessary coordination among the related organizations for statistical surveys are properly made.</p>	<p>8-1 Record of meetings with the related organizations 8-2 Number of meetings with the related organizations (CTC, POC, etc)</p>	<p>NIS</p>	
Activities	INPUTS		Important Assumption
<p>1 [Planning and Implementation of statistical surveys]</p>	<p>Cambodia Side</p>		<p>Japanese Side</p>
<p>1-1 Plan and implement statistical surveys</p>	<p>Counterpart personnel</p>	<p>Experts</p>	<p>Necessary funds for the Economic Census (including Counterpart Funds or Non-Project Grant Aid) will be secured.</p>
<p>1-2 Define EA for statistical surveys</p>	<p>Project Director</p>	<p>Chief Advisor, Data Processing/ Programming,</p>	
<p>1-3 Maintain and manage the EAs for statistical surveys</p>	<p>Project Manager</p>	<p>Data Processing/Security, Census Survey/Planning, Data Analysis, Mapping, Small Area Statistics/ Project Coordination</p>	
<p>2 [Data processing]</p>	<p>Other members</p>		
<p>2-1 Develop the data processing systems of statistical surveys in NIS</p>	<p>Office space and necessary furniture for Japanese experts</p>		
<p>2-2 Conduct the data processing of statistical surveys</p>	<p>Running cost for the Project activities</p>		
<p>2-3 Scrutinize the micro-data of statistical surveys</p>	<p>Approval for the free access to the statistical data necessary for the Project activities (Economic census data, economic statistics data etc.)</p>	<p>Training in Japan (and third country)</p>	<p>The Cambodian Government will not cancel nor postpone the Economic Census, inter-censal population survey, and economic statistics survey.</p>
<p>2-4 Tabulate and scrutinize the statistical tables of statistical surveys</p>		<p>2010FY: Population survey planning, 2011FY: Population survey data processing and analysis, 2012FY: Economic statistics survey planning, 2013FY: Economic statistics survey data processing and analysis</p>	
<p>3 [Analysis]</p>			
<p>3-1 Analyze the results of statistical surveys</p>			
<p>4 [Dissemination]</p>			
<p>4-1 Complete the publications of results of statistical surveys</p>			
<p>4-2 Prepare the CDs of results of statistical surveys</p>			
<p>4-3 Prepare the web-contents of results of statistical surveys</p>			
<p>4-4 Prepare the statistical maps of results of statistical surveys</p>			
<p>4-5 Compile the census tables of results of statistical surveys</p>			
<p>4-6 Conduct training for using results of statistical surveys to the ministries concerned and provincial governments (including planning departments)</p>		<p>Equipment</p>	
<p>4-7 Hold the workshops to disseminate the result of the 2011 Economic Census</p>		<p>Personal computers, printers, projectors, photo copiers, etc.</p>	
<p>4-8 Hold the workshops to disseminate the result of the 2013 inter-censal population survey</p>			
<p>4-9 Hold the workshops to disseminate the result of the 2014 economic statistics survey</p>			
<p>4-10 Hold the seminar to make the Project widely known to the public</p>			
<p>5 [Small area statistics]</p>			
<p>5-1 Develop the village-level data processing systems of the Economic Census in NIS</p>			
<p>5-2 Conduct training for using the village-level results of the Economic Census to the ministries concerned and provincial governments (including planning departments)</p>			
<p>6 [Trainings of provincial planning departments]</p>			
<p>6-1 Conduct training for regional officers of NIS to become instructors of training for provincial planning departments</p>			
<p>6-2 Conduct training on tabulation and scrutiny of data for the 2008 Population Census and the 2011 Economic Census (including the 2008 Establishment Listing)</p>			
<p>6-3 Conduct training on dissemination of results for the 2008 Population Census and the 2011 Economic Census (including the 2008 Establishment Listing)</p>			
<p>7 [Institutional memory]</p>			
<p>7-1 Develop and maintain documents on detailed procedures for statistical surveys</p>			
<p>8 [Coordination]</p>			
<p>8-1 Take part in the necessary meetings for statistical surveys</p>			
<p>This list is subject to change through the discussion between both sides whenever the necessity arises, and it will be reflected to the annual plan of the Project.</p>			

5

Project Design Matrix (PDM)

プロジェクト名:カンボジア政府統計能力向上プロジェクトフェーズ3

対象者: 計画省統計局職員、州計画局統計部職員

ver.0

プロジェクト期間: 2010年10月～2015年3月

対象地域:カンボジア全土

2010年6月10日  
2010年12月16日一部修正

プロジェクトの要約	客観的な評価指標	入手手段	外部条件
<p>上位目標</p> <p>NIS及び州計画局により有用な統計情報が提供され、中央省庁及び州政府の政策、計画、戦略等の立案・実施・モニタリングに活用される。</p>	<p>・NIS及び州計画局が提供する統計情報が、政策、計画及び戦略等に利活用された数</p> <p>・NIS及び州計画局が実施した統計調査の数</p> <p>・NIS及び州計画局が提供した統計結果の数</p>	<p>インタビュー</p> <p>NIS資料</p> <p>NIS資料</p>	
<p>プロジェクト目標</p> <p>NIS及び州計画局が、経済センサス、中間年人口調査、経済統計調査及びその他統計活動を実施する能力が向上する。</p>	<p>・経済センサス、中間年人口調査、経済統計調査その他統計調査の計画・データ収集、集計、分析、結果提供、及び結果の利活用を行う能力のあるNISの職員数</p> <p>・経済センサス及び人口センサスの結果表作成、結果提供、利用についての訓練を受け、州計画局を対象に実施する研修で指導員となるに十分な能力を身に付けたリージョナル・オフィサー(RO)、アシスタント・リージョナル・オフィサー(ARO)の数</p>	<p>能力評価結果、インタビュー</p> <p>能力評価結果、インタビュー</p>	<p>・政策立案者が統計情報の重要性について認識する。</p> <p>・必要な予算が確保される。</p>
<p>成果</p> <p>1 NIS及び州計画局が経済センサスをはじめ政府統計調査に関する政府統計の計画、調査実施を行えるようになる。</p> <p>2 NISが経済センサスをはじめ政府統計調査における集計・結果表作成を行えるようになる。</p> <p>3 NISが経済センサスをはじめ政府統計調査における結果分析を行えるようになる。</p> <p>4 NISが、経済センサスをはじめとする政府統計調査結果の提供及び政府統計に関する理解促進を行えるようになる。</p> <p>5 NISが経済センサスに関する小地域統計を実施できるようになる。</p> <p>6 州計画局が州レベル以下の行政単位における結果表の作成・公表を行えるようになる。(小地域統計サブプロジェクト)</p> <p>7 NIS及び州計画局が政府統計に必要な技術・知識を維持するための仕組みが構築される。</p> <p>8 NIS及び州計画局の調整能力が向上する。</p>	<p>1-1 作成したVillage地図及び調査区地図の数</p> <p>1-2 作成したVillage地図及び調査区地図を利用した統計調査数</p> <p>2-1 結果表数(作成された数、公表された数)</p> <p>2-2 個別データの件数(作成された件数)</p> <p>3-1 NIS及び州計画局により作成、公表された分析レポートの数</p> <p>4-1 刊行物、CD、ウェブサイト、統計地図及びセンサスアトラスの数(作成された数、公表された数)</p> <p>4-2 研修受講者数</p> <p>4-3 研修受講者の結果提供の準備・実施方法及びツールについての理解度</p> <p>4-4 開催されたワークショップ、セミナー数</p> <p>5-1 経済センサスに関する、District、Commune、Village及び調査区別の小地域統計表数(作成された数、公表された数)</p> <p>5-2 研修の受講者数</p> <p>5-3 研修受講者の理解度</p> <p>6-1 州計画局向けに実施した研修数</p> <p>6-2 研修を受講した州計画局の職員数</p> <p>6-3 結果表作成、結果公表に関する研修受講者の理解度</p> <p>6-4 結果表数(作成された数、公表された数)</p> <p>7-1 詳細手続きに関し整備した各種資料数</p> <p>8-1 関係機関との会議記録</p> <p>8-2 関係機関との調整会議数</p>	<p>統計結果報告書、プロジェクト報告書</p> <p>統計結果報告書、プロジェクト報告書</p> <p>統計結果報告書</p> <p>分析レポート</p> <p>プロジェクト報告書</p> <p>プロジェクト報告書</p> <p>小テスト、インタビュー</p> <p>プロジェクト報告書</p> <p>統計結果報告書、プロジェクト報告書</p> <p>統計結果報告書</p> <p>小テスト、インタビュー</p> <p>プロジェクト報告書</p> <p>プロジェクト報告書</p> <p>小テスト、インタビュー</p> <p>統計結果報告書</p> <p>プロジェクト報告書</p> <p>会議議事録</p> <p>プロジェクト報告書</p>	<p>・関係機関との必要な調整がNISによって適切に行われる。</p> <p>・カウンターパートが定着する。</p> <p>・必要な予算が確保される。</p>



活動	投入	外部条件	
1 【計画・調査実施】	<p style="text-align: center;">カンボジア側</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カウンターパートの配置</li> <li>プロジェクト・ダイレクター</li> <li>プロジェクト・マネジャー</li> <li>その他スタッフ</li> </ul>	<p style="text-align: center;">日本側</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短期専門家： チーフ・アドバイザー、 集計/プログラミング、 集計/審査、 センサス/調査計画、 データ分析、 地図作成、 小地域統計/業務調整</li> </ul>	
1-1 経済センサス及びその他統計調査の企画及び調査の実施			経済センサスに必要な予算が確保される。
1-2 経済センサスの統計調査の調査区設定の実施			
1-3 経済センサスの統計調査の調査区の維持・管理			
2 【集計・審査】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本人専門家執務スペース、執務室家具</li> </ul>		
2-1 NISにおける経済センサスに関する統計調査の集計システムの構築			
2-2 統計調査の集計の実施			
2-3 統計調査の個別データの審査		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクト活動に必要な経常経費</li> </ul>	
2-4 統計調査の結果表の作成及び審査			
3 【分析】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクト活動に必要な統計データへのアクセスに対する許可</li> </ul>		
3-1 調査集計結果の分析		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修実施 2010年度：人口調査計画 2011年度：人口調査集計、分析 2012年度：経済統計調査計画 2013年度：経済統計調査集計、分析</li> </ul>	
4 【結果提供】		カンボジア政府が2011年経済センサス、2013年中間年人口調査、2014年経済統計調査を中止または延期しない。	
4-1 経済センサス報告書の編集			
4-2 経済センサス結果のCDの作成			
4-3 経済センサス結果のウェブコンテンツの作成			
4-4 経済センサス結果に基づく統計地図の作成			
4-5 経済センサス結果に基づくセンサスアトラスの作成			
4-6 主要関係省庁及び州政府（計画局含む）に対する経済センサスの結果利用・分析に係る研修			
4-7 2011年経済センサス結果公表時にワークショップを開催			
4-8 2013年中間年人口センサス結果公表時にワークショップを開催			
4-9 2014年経済統計調査結果公表時にワークショップを開催			
4-10 プロジェクト広報のためのセミナー開催		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機材供与 コンピューター、プリンター、プロジェクター、コピー機、等</li> </ul>	
5 【小地域統計】			
5-1 経済センサスのVillage別詳細集計システムの構築			
5-2 中央省庁及び州政府（計画局を含む）を対象とした、経済センサスのVillage別詳細集計結果の利用・分析に係る研修実施			
6 【州計画局に対する研修】			
6-1 NISのリージョナル・オフィサーを対象とした、州計画局研修のインストラクターになるための研修実施			
6-2 2008年人口センサス及び2011年経済センサス（2009年事業所リスティング含む）データに関する結果表作成の研修実施			
6-3 2008年人口センサス及び2011年人口センサス（2009年事業所リスティング含む）に関する結果提供についての研修実施			
7 【ナレッジマネジメント】			
7-1 政府統計調査詳細手続き関連の文書の作成及び維持・管理			
8 【調整】			
8-1 統計調査実施上必要とされる各種会議への参加			

評価グリッド【実績・プロセス】

評価項目	大項目	小項目	判断基準	必要なデータ	情報源	データ収集方法
実績	投入は計画どおり行われたか	日本側投入は計画どおり行われたか（特に州計画局への機材）	計画・実績の比較	専門家派遣実績、機材供与実績、C/P研修実績、現地業務費実績	実績表、事業進捗報告（PR）	資料レビュー
		カンボジア側投入は計画どおり行われたか（特に予算確保）	計画・実績の比較	プロジェクト事務所設置実績、C/P配置実績、ローカルコスト負担実績	実績表、PR	資料レビュー
	アウトプットは予定どおり産出されているか	1) NIS及び州計画局が経済センサスをはじめ政府統計調査に関する政府統計の計画、調査実施を行えるようになるか	Village地図、調査区地図の作成数が目標数に達しているか（指標1）	・Village地図、調査区地図の作成数 ・想定された目標数	実績表、専門家、C/P	資料レビュー、質問票/インタビュー
			上記地図を利用した統計調査数が目標数に達しているか（指標2）	・Village地図、調査区地図を利用した統計調査数 ・想定された目標数	実績表、専門家、C/P	資料レビュー、質問票/インタビュー
			調査団内協議	・NIS、州計画局の計画、調査実施能力に関する専門家の見解 ・同、NIS及び州計画局担当課職員の自己評価 ・関連研修時の理解度測定の結果	専門家、C/P、PR	資料レビュー、質問票/インタビュー
		2) NISが経済センサスをはじめ政府統計調査における集計・結果表作成を行えるようになるか	結果表の作成数、公表数が目標数に達しているか（指標1）	・結果表の作成数、公表数 ・想定された目標数	実績表、専門家、C/P	資料レビュー、質問票/インタビュー
			個別データ作成件数が目標数に達しているか（指標2）	・個別データ作成件数 ・想定された目標数	実績表、専門家、C/P	資料レビュー、質問票/インタビュー
			調査団内協議	・NISの集計・結果表作成能力に関する専門家の見解 ・同、NISの担当課職員の自己評価 ・チームとしての集計のルーティーン化（システム化/構造化）に関する専門家の見解並びにC/Pの自己評価 ・関連研修時の理解度測定の結果	専門家、C/P、PR	資料レビュー、質問票/インタビュー
	3) NISが経済センサスをはじめ政府統計調査における結果分析を行えるようになるか	NIS及び州計画局によるレポートの作成数、公表数が目標数に達しているか（指標）	・作成、公表レポート数 ・想定された目標数	実績表、専門家、C/P	資料レビュー、質問票/インタビュー	
		調査団内協議	・NISの結果分析能力に関する専門家の見解 ・同、NISの担当課職員の自己評価	専門家、C/P、PR	資料レビュー、質問票/インタビュー	
	4) NISが経済センサスをはじめとする政府統計調査結果の提供及び政府統計に関する理解促進を行えるようになるか	刊行物、CD、ウェブサイト、統計地図及びセンサスマップの作成数、公表数が目標数に達しているか（指標1）	左記の作成数、公表数 ・想定された目標数	実績表、専門家、C/P	資料レビュー、質問票/インタビュー	
			関連研修受講者数が目標数に達しているか（指標2）	・研修受講者数 ・想定された目標数	実績表、専門家、C/P	資料レビュー、質問票/インタビュー
研修受講者の結果提供の準備・実施方法及びツールについての理解は想定された目標レベルに達しているか（指標3）		研修時理解度測定の結果	PR	資料レビュー		
開催されたワークショップ、セミナー数は目標数に達しているか（指標4）		開催ワークショップ、セミナー数 ・想定された目標数	実績表、専門家、C/P	資料レビュー、質問票/インタビュー		
		調査団内協議	・調査結果提供、政府統計の理解促進に関するNISの能力に関する専門家の見解 ・同、NISの担当課職員の自己評価	専門家、C/P、PR	資料レビュー、質問票/インタビュー	

評価項目	大項目	小項目	判断基準	必要なデータ	情報源	データ収集方法
	5) NISが経済センサスに関する小地域統計を実施できるようになるか		District、Commune、Village及び調査区別の小地域統計表作成数、公表数は目標数に達しているか(指標1)	・左記の作成数、公表数 ・想定された目標数	専門家、C/P、PR	資料レビュー、質問票/インタビュー
			小地域統計に関する研修受講者数は目標数に達しているか(指標2)	・研修受講者数 ・想定された目標数	専門家、C/P、PR	資料レビュー、質問票/インタビュー
			関連研修受講者の理解度は目標レベルに達しているか(指標3)	研修時理解度測定の結果	PR	資料レビュー
			調査団内協議	・小地域統計に関するNISの能力に関する専門家の見解 ・同、NISの担当課職員の自己評価	専門家、C/P、PR	資料レビュー、質問票/インタビュー
	6) 州計画局が州レベル以下の行政単位における結果表の作成・公表を行えるようになるか		州計画局向け研修数、研修受講者数は目標数に達しているか(指標1、2)	・州計画局向け研修数 ・研修受講者数 ・上記2つの目標数	専門家、C/P、PR	資料レビュー、質問票/インタビュー
			関連研修受講者の理解度は目標レベルに達しているか(指標3)	研修時理解度測定の結果	PR	資料レビュー
			調査団内協議	・州以下行政単位の結果表の作成・公表に係る州計画局の能力に関する専門家の見解 ・同、州計画局の担当課職員の自己評価	専門家、C/P、PR	資料レビュー、質問票/インタビュー
	7) NIS及び州計画局が政府統計に必要な技術・知識を維持するための仕組みが構築されるか		詳細手続きに関する各種資料数(指標)	・詳細手続きに関する各種資料数(資料の種類) ・想定された目標数(資料の種類)	専門家、C/P、PR	資料レビュー、質問票/インタビュー
			調査団内協議	・NIS及び州計画局の資料保管・維持、情報共有等の方法 ・上記に係る問題点	専門家、C/P、PR	資料レビュー、質問票/インタビュー
	8) NIS及び州計画局の調整能力が向上するか		関係機関との会議にて必要な調整がなされているか(指標1)	・センサス関連委員会(NCC、CTC、CIES-TC、CIPS-TC)会合議題、決定事項 ・C/P、出席機関、専門家の見解	議事録、専門家、C/P、他機関会議出席者	資料レビュー、質問票/インタビュー
			関係機関との会議の開催回数は適切か(指標2)	・上記会合会議回数 ・C/P、出席機関、専門家の見解	議事録、専門家、C/P、他機関会議出席者	資料レビュー、質問票/インタビュー
			調査団協議	・NIS、州計画局の調整能力に関する専門家見解 ・同、NIS及び州計画局担当課職員の自己評価 ・同、他出席機関の見解	議事録、専門家、C/P、他機関会議出席者	資料レビュー、質問票/インタビュー
プロジェクト目標の達成は見込まれるか	NIS及び州計画局が経済センサス、中間年人口調査、経済統計調査及びその他の統計活動を実施する能力が向上するか	統計調査の計画・データ収集、集計、分析、結果提供、結果の利活用を行う能力のあるNISの職員数は想定どおりの増加を示しているか(指標1)	・プロジェクト開始時能力評価結果 ・目標とする能力レベルと目標数 ・現状についての専門家、C/P見解	実績表、専門家、C/P	資料レビュー、質問票/インタビュー	
		州計画局対象の研修で指導員となるに十分な能力を身に付けたRO、AROの数が想定どおりの増加を示しているか(指標2)	・プロジェクト開始時能力評価結果 ・目標とする能力レベルと目標数 ・現状に関する専門家、C/P見解	実績表、専門家、C/P	資料レビュー、質問票/インタビュー	

評価項目	大項目	小項目	判断基準	必要なデータ	情報源	データ収集方法
実施プロセス	活動は計画どおり実施されているか	活動は計画どおり実施されたか	計画・実績の比較	活動計画と実績	実績表、PR、C/P、専門家	資料レビュー、質問票/インタビュー
		州計画局における小地域統計に係る活動に遅れはないか、ある場合、原因は何か		遅れの有無、原因、対処方法	実績表、PR、C/P、専門家	資料レビュー、質問票/インタビュー
		上記以外の活動の遅れや支障の原因は何か、対処方法は適切であったか		遅れや支障の内容・原因、対処方法	PR、C/P、専門家	資料レビュー、質問票/インタビュー
	プロジェクトマネジメントは適切か	NIS、州計画局の実施体制は適切か		・NIS、州計画局のプロジェクト実施体制 ・C/P、専門家見解	C/P、専門家、PR	資料レビュー、質問票/インタビュー
		意思決定は円滑に行われているか		・意思決定構造 ・C/P、専門家見解	C/P、専門家	質問票/インタビュー
		プロジェクト内での活動状況や結果の報告・共有は適切に行われているか		・報告・情報共有の体制・方法	C/P、専門家	質問票/インタビュー
		関係部署・組織（NIS各部、州計画局、関係省庁）との調整は円滑か		・調整システム ・NISと州計画局との連絡体制 ・JCC会合開催実績、議事・決定事項 ・センサス関連委員会（NCC、CTC、CIES-TC、CIPS-TC）会合開催実績、議事・決定事項 ・上記の有効性に関する関係者見解	議事録、C/P、州計画局の参加者、専門家	質問票/インタビュー
		他ドナーとの調整や連携は円滑に行われているか		・他ドナー支援内容詳細 ・調整システム ・C/P、専門家、JICA、他ドナー見解	C/P、専門家、JICA、UNFPA、Sida等	質問票/インタビュー
		NISトップのコミットメントは確保できているか		・幹部のプロジェクト理解度 ・C/P、専門家見解	C/P、専門家	質問票/インタビュー
		C/Pと専門家のコミュニケーションは円滑に行われているか		・C/P、専門家見解	C/P、専門家	質問票/インタビュー
		JICA本部、事務所の監理、支援は適切であったか		・監理体制、支援内容 ・C/P、専門家、JICA見解	C/P、専門家、JICA	質問票/インタビュー
	C/P配置は適切であったか	C/Pの人数、職責、配置時期等は適切であったか		・C/P配置実績 ・C/P、専門家見解	C/P配置実績、専門家、C/P	資料レビュー、質問票/インタビュー
	C/Pの十分な参加が確保されているか	C/Pの主体性は確保されているか		・各活動におけるC/Pの役割 ・C/P、専門家見解	C/P、専門家、PR	質問票/インタビュー
		C/P、関係者がプロジェクト活動参加時間を確保できているか		・活動への参加実績 ・C/P、専門家見解	C/P、専門家、PR	質問票/インタビュー
	その他、実施プロセスで問題はなかったか					

NCC: National Census Committee  
 CTC: Census Technical Committee  
 CIES-TC: Cambodia Inter-Censal Economic Survey Technical Committee  
 CIPS-TC: Cambodia Inter-Censal Population Survey Technical Committee  
 JCC: Joint Coordination Committee  
 PCC: Provincial Census Committee

評価グリッド【評価5項目】

評価項目	評価設問		判断基準	必要なデータ	情報源	データ収集方法	
	大項目	小項目					
妥当性	ニーズに合致しているか	プロジェクト目標、上位目標はカンボジアのニーズに合致しているか		カンボジアの統計分野、地方分権に係る課題	詳細計画報告書、四辺形戦略、NSDP	資料レビュー	
		プロジェクト目標、上位目標はターゲットグループのニーズに合致しているか		NIS、州統計局の課題	詳細計画報告書、州計画局	資料レビュー	
	優先度は高いか	プロジェクト目標、上位目標はカンボジアの開発政策に合致しているか		開発政策における位置づけ	詳細計画報告書、四辺形戦略、NSDP	資料レビュー	
		プロジェクトのめざすところは日本の援助政策に沿っているか		日本の政策における本プロジェクトの位置づけ	国別援助方針	資料レビュー	
	手段として適切か	プロジェクトの戦略は効果的か	ロジックの妥当性、ターゲットグループの規模・対象の適切性、過去教訓・提言の計画への反映状況、他支援との相乗効果の有無	・本案件のロジックモデル ・ターゲットグループの適切性 ・本案件とフェーズ1、2の教訓、提言 ・他ドナー支援との関係 ・日本の他協力との関係	PDM、詳細計画調査報告書、前フェーズ評価報告書、C/P、専門家、JICA	資料レビュー、質問票/インタビュー	
日本の優位性はあるか			・統計分野の日本の技術力 ・日本の同分野支援実績	フェーズ1、2評価報告書、フェーズ3詳細計画調査報告書、JICA	資料レビュー		
有効性	プロジェクト目標は期間内に達成される見込みか	NIS及び州計画局が経済センサス、中間年人口調査、経済統計調査及びその他の統計活動を実施する能力は向上する見込みか	「実績」の検証結果				
	プロジェクト目標と成果の因果関係は適切か	プロジェクト目標の達成に、ほかに必要な成果はないか	ロジックの妥当性	C/P、専門家、調査団見解	C/P、専門家、調査団	資料レビュー、質問票/インタビュー	
	外部条件は満たされるか	各種統計調査活動実施に必要な予算は確保されるか		・NISの2010-12年予算実績、2013年以降見込み ・経済センサスのための特別予算の実績 ・中間年人口調査、経済統計調査のための特別予算見込み ・その他統計活動実施に必要な予算確保の実績、見込み	C/P、専門家		質問票/インタビュー
		C/P（研修を受けた職員？）が定着するか		・フェーズ1、2での離職状況 ・NIS各部、州計画局での離職、異動の現状	C/P、専門家		質問票/インタビュー
		統計活動に関し、関係機関との調整に問題はなにか	「実施プロセス」の検証結果				
	その他にプロジェクト目標達成を阻害する要因はあるか			C/P、専門家、調査団見解	C/P、専門家、調査団	質問票/インタビュー	
効率性	アウトプットは予定どおり算出されているか		「実績」の検証結果				
	活動、投入とアウトプットの因果関係は適切か	アウトプット産出に過不足ない活動、投入であったか		・アウトプット、投入実績データ ・C/P、州計画局、専門家、調査団見解	実績表、C/P、州計画局、専門家、調査団	資料レビュー、質問票/インタビュー	
	アウトプット産出に外部条件の影響はなかったか	経済センサスに必要な予算は確保されたか		・経済センサスに係るカンボジア政府負担分（約20%）の予算配分実績 ・見返り資金（あるいは他ドナー資金）の配分実績	C/P		資料レビュー、質問票/インタビュー
		中間年人口調査、経済統計調査は予定どおり実施予定か		・左記の実施計画 ・予算確保状況、見込み（カンボジア分、ドナー支援分）	CIPS-TC及びCIES-TC議事録、C/P、専門家		資料レビュー、質問票/インタビュー

活動実施に適切な量・質・タイミングの投入であったか	専門家のMM、分野、派遣時期は適切か		・投入実績 ・C/P、専門家見解	投入実績表、C/P、州計画局、専門家	資料レビュー、質問票/インタビュー	
	供与機材の種類、量、タイミングは適切か(特に州計画局への機材供与)		・投入実績 ・C/P、専門家見解	投入実績表、C/P、州計画局、専門家	資料レビュー、質問票/インタビュー	
	C/P研修の人数、分野、タイミングは適切か		・投入実績 ・C/P、専門家見解	投入実績表、C/P、州計画局、専門家	資料レビュー、質問票/インタビュー	
	第三国への技術交換の人数、分野、タイミングは適切か		・投入実績 ・C/P、専門家見解	投入実績表、C/P、州計画局、専門家	資料レビュー、質問票/インタビュー	
	ローカルコストの負担は適切なレベルであったか		・カンボジア側費用負担実績 ・JICA、専門家、C/P見解	投入実績表、C/P、専門家、JICA	資料レビュー、質問票/インタビュー	
	C/Pの人数、能力・専門分野、配置期間は適切か	「実施プロセス」の検証結果				
ほかに効率性を阻害する要因はなかったか	実施プロセスに問題はなかったか	「実施プロセス」の検証結果				
インパクト	上位目標は発現が見込まれるか	アウトプット産出状況から、将来的にNIS及び州計画局による統計情報が政策、計画、戦略等の立案・実施・モニタリングに活用されることが見込まれるか	・アウトプット実績 ・NSDP改訂への2011年経済センサス結果の活用の見込み ・各種統計調査、結果提供の継続的な実施の見込みに対する関係者見解 ・省庁や州政府による統計情報活用に関する関係者の見解	実績表、C/P、州計画局、専門家、JICA、(可能であれば)他省庁	資料レビュー、質問票/インタビュー	
	上位目標とプロジェクト目標の因果関係は適切か	プロジェクト目標達成により上位目標達成が見込めるか	ロジックの妥当性、上位目標に向けたシナリオが実現可能かどうか	・上位目標達成に向けたシナリオ ・上位目標達成に向けて必要な取り組み ・上記を踏まえたC/P、専門家、調査団見解	C/P、専門家、州計画局、JICA	質問票/インタビュー
	外部条件は満たされるか	政策立案者が統計情報の重要性を認識しているか		・経済センサス結果公表のワークショップや報告書に対する各省の反応 ・過去の人口センサス結果の各省庁による活用状況 ・各省庁や州政府によるNISの統計情報活用の計画の有無	ワークショップ報告書、C/P、州計画局、専門家、(可能であれば)他省庁	資料レビュー、質問票/インタビュー
		2014年経済統計調査後も統計調査実施の予算が確保される見込みか		・今後のNIS、州計画局の統計活動計画 ・NIS、州計画局の統計活動予算の推移、今後の見込み	C/P、州計画局、計画省	質問票/インタビュー
	上位目標達成に貢献、あるいは阻害する他の要因はあるか	他ドナーの支援等が貢献する可能性はあるか		他ドナーの支援内容・計画と上位目標との関係	C/P、専門家、他ドナー	質問票/インタビュー
		その他の要因はあるか		C/P、専門家見解	C/P、専門家	質問票/インタビュー
	上位目標以外の正負のインパクトは生じているか、あるいは生じることが想定されるか	経済センサス結果は一般国民に活用されている(される)か		・政府以外の活用事例 ・一般国民による活用に向けたプロジェクトの取り組み	C/P、専門家	質問票/インタビュー
		統計予算拡大、政策・制度への影響は見込まれるか		C/P、州計画局、専門家、JICA見解	C/P、専門家	質問票/インタビュー
		他プロジェクトへの影響や相乗効果はあるか		・相乗効果等の具体事例 ・C/P、専門家、他ドナー見解	C/P、専門家、他ドナー	質問票/インタビュー

		社会・文化的側面（ジェンダー、人権等）への正負の影響はあるか	C/P、州計画局、専門家見解	C/P、州計画局、専門家	質問票/インタビュー
		上記以外の予期しない正負の影響はあったか、あるいは想定されるか	C/P、専門家見解	C/P、専門家	質問票/インタビュー
自立発展性	政策・制度面	カンボジア政府の統計の整備重視の姿勢は変わらないか	・ NSDP改定の方角性 ・ 計画省、C/P見解	計画省、C/P	質問票/インタビュー
	組織・財政面	プロジェクト終了後、人材育成を継続できる体制（予算含む）がNIS、州計画局に整っているか	・ NIS、州計画局の研修制度 ・ 人材育成予算の推移、見込み ・ 人材育成システムの有効性についてのC/P、州計画局職員、専門家見解	C/P、専門家	質問票/インタビュー
		プロジェクト終了後も質の高い統計活動を行っていく組織体制はあるか	・ NIS、州計画局の人材の配置状況、今後の見込み、離職率 ・ 職員評価、インセンティブシステムとその有効性についてのC/P見解	C/P、専門家	質問票/インタビュー
		プロジェクト終了後も習得技術を維持するに十分な統計活動を行っていく予算は確保されるか	・ MTBF（あれば） ・ 政府予算に占めるNIS実施分統計予算の推移 ・ 予算確保の見込み	MTBF、予算書、C/P、専門家	資料レビュー、質問票/インタビュー
	技術面	整備されたマニュアルは活用されるか	・ 整備済みのマニュアルの活用状況 ・ 整備されたマニュアルについてのC/P、州計画局意見	C/P、州計画局	質問票/インタビュー
		整備されたマニュアル、データベースを更新・維持していく技術がNIS、州計画局に備わるか	・ 更新・維持のシステム/計画の有無 ・ 専門家、州計画局、C/P見解	C/P、州計画局、専門家	質問票/インタビュー
		NIS及び州計画局による供与機材の維持管理は適切に行われているか	・ 供与機材の維持管理状況 ・ 問題があった場合の原因	C/P、州計画局	質問票/インタビュー
	社会・文化面	ジェンダー、貧困層、社会的弱者等への配慮不足により効果の持続性を妨げないか	C/P、州計画局、専門家見解	C/P、州計画局、専門家	質問票/インタビュー
	その他	上記以外に自立発展性の阻害・貢献要因はあるか	C/P、専門家見解	C/P、専門家	質問票/インタビュー

NSDP : National Strategic Development Plan  
MTBF : Medium-Term Budgetary Framework

#### 4. 政府統計団員所見

平成 24 年 12 月 25 日

総務省統計研修所

小林良行

統計専門家として中間レビュー調査団に参加したなかで得た印象を中心に報告する。

##### 1. プロジェクトによる技術協力の特徴

まず、JICA のあまたの技術協力のなかでも統計の分野での技術協力というのは数少ないのではないかと思う。そのようななかで、①フェーズ 1 では統計研修（中央研修及び地方研修）中心の支援を通じて調査の実施に必要な統計能力を身に付けた人材育成を行い、フェーズ 2 の人口センサス及びフェーズ 3 の経済センサスの実務を通じて知識の定着を図っていること、②統計調査の川上（企画・設計段階）から川下（分析・公表段階）まで一貫した技術協力を行っていること、③NIS だけでなく他省庁の職員に対し統計研修を実施することによりカンボジア政府全体の統計能力向上にも寄与していること、④人口センサス、経済センサスの 2 大センサスの実施に加え、センサス結果に基づく小地域統計の整備、事業所名簿情報の整備、中間年人口調査や経済統計調査といった標本調査のためのフレーム（母集団の台帳）の整備を行っていること、⑤プロジェクトの最初から官民合同で、なおかつ短期専門家（シャトル型）のみで技術協力を行っていること、⑥国連人口基金（UNFPA）と連携して人口センサスや中間年人口調査に技術協力を行っていること、⑦インドネシア、スリランカ及びラオスの第三国の政府統計機関と技術交換を行っていることなどが特徴と考えられる。

##### 2. 今後の展開

人口センサス及び経済センサスの結果（統計表、分析レポート、統計地図など）は、カンボジア政府が人口・社会政策、経済政策といった各種政策を企画・立案していくうえでの基礎資料となり得るものである。また、小地域統計の整備は地方レベルでの施策の企画・立案に資することが期待される。

統計の整備が進むことにより、わが国のみならず国外からのよりの確な投資判断ができるようになり、カンボジアの発展に資することとなる。例えば、経済センサスの結果を利用して産業連関表を作成すれば直接投資の経済波及効果をより高い信頼性をもって推計できるようになるだろう。

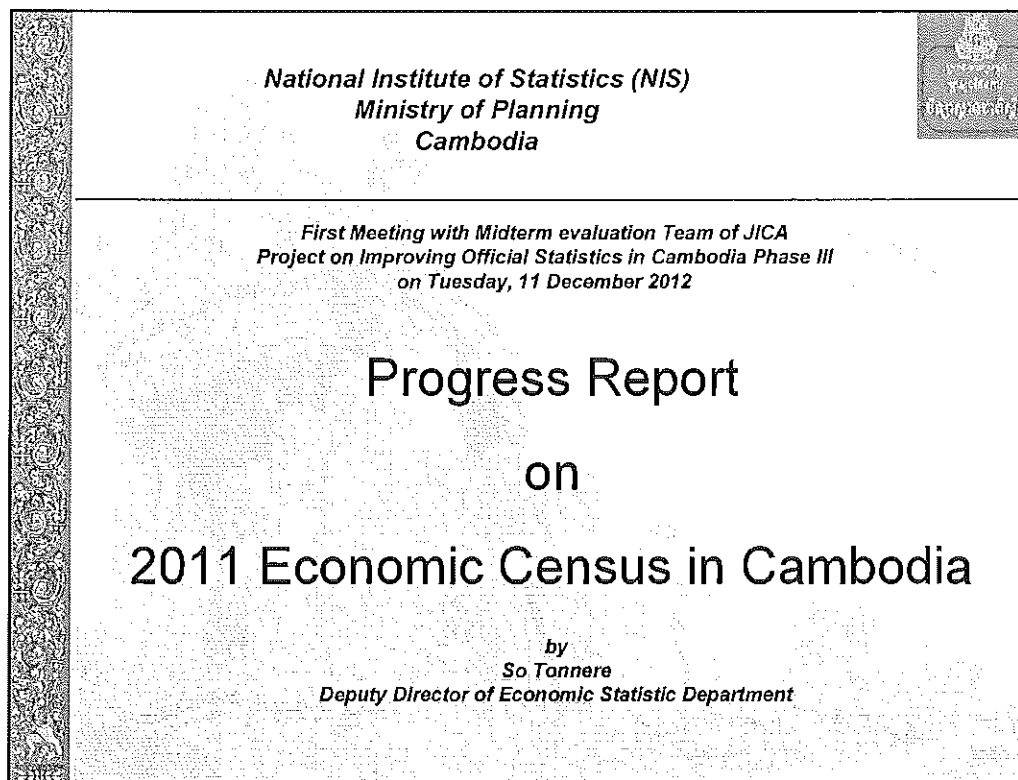
センサスの結果から整備されるフレームは NIS だけでなく他省庁が標本調査を実施しようとする際の基盤をも与えるものであり、中間年人口調査や経済統計調査を通じて NIS 自らが他の標本調査の設計を行い得る能力を身に付けるよう、プロジェクトの残りの期間を通じて支援をしていく必要があるだろう。

近年、わが国の公的統計では、調査手段として従来の調査員調査と併用してセキュリティを確保したインターネット調査の導入が進んでいる。情報通信技術を統計調査に利用する場合のメリットのひ



とつとしては総予算の縮減が考えられる。情報通信技術の利用に関しては、いわゆる先進国と発展途上国といった図式はないといっても過言ではなく、財政的に厳しい発展途上国で統計調査を実施するうえで電子的な調査技術を導入することには意味があるといえる。

以 上



## Contents

1. Purpose of the Census
2. Period of the Census enumeration
3. Legal basis of the Census
4. Coverage of the Census
5. Enumeration unit
6. Organization Chart of the 2011 Economic Census
7. Method of the Census enumeration
8. Enumerators and Supervisors
9. Training of local staff, supervisors and enumerators
10. Submission of documents to the superior organizations

## **Contents**

- 11. Topics to be studied**
- 12. Tabulation and Data processing**
- 13. Dissemination**
- 14. Statistical Tables to be produced**
- 15. Safekeeping of the Census Forms and other related documents.**
- 16. Mapping**
- 17. Pretest and pilot survey**
- 18. Post-census stage's business**

3

## **1. Purpose of the Census**

- a) To provide the fundamental statistics on the current status of the business activities of the establishments and enterprises
- b) To provide the directories of establishments and enterprises as the master sampling frame of various sample surveys on businesses.

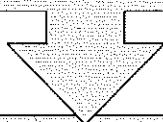
## **2. Period of the Census enumeration**

From 1<sup>st</sup> March to 31 March 2011.

4

### 3. Legal basis of the Census

- a) Statistics Law, Article 6 and 7
- b) Sub-decree on Defining Date, Organizing and proceeding of Cambodia 2011 Economic Census



National Committee for Establishment Census (NCC)  
Technical Committee of Establishment Census (TCC)  
Publicity Committee of Establishment Census (PCC)

5

### 4. Coverage of the Census

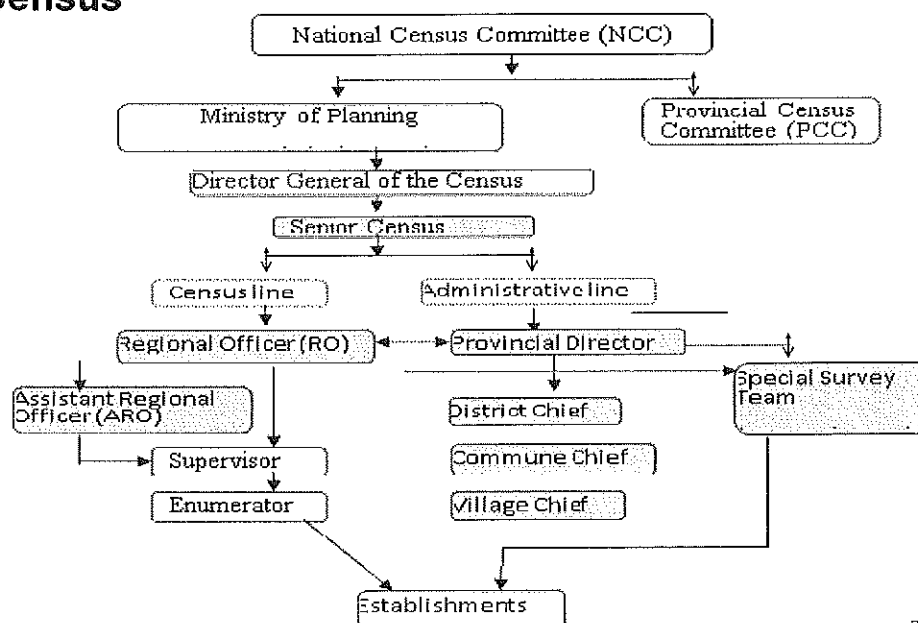
- ✓ All kind of establishments are included in the census
- ✓ Establishments classified into “Section A, Agriculture, forestry and fishing”, Section O, Section T, Section U Revision 4 (hereinafter, quoted as the ISIC); are excluded in the Census

#### 5. Enumeration unit

- ✓ The establishment can be defined as an economic unit that engages, under a single ownership or control - that is, under a single legal entity - in one, or predominantly one, kind of economic activity at a single physical location – for example, a mine, factory or workshop.

6

## 6. Organization Chart of the 2011 Economic Census



7

## 7. Method of the Census enumeration

- 1) An enumerator visited each establishment within a certain enumeration area, interviewed the owner or manager of the establishment or his/her substitute who was entitled to represent the establishment, and filled in the Census Form.
- 2) In addition to this, a self-enumeration method was applied to the establishment, which requested to fill in the form by themselves.
- 3) In case that the enumeration did not finish due to reasons of establishments until 20<sup>th</sup> March 2011, "Special Survey Team" carried out the enumeration.

8

## **8. Enumerators and Supervisors**

- 4,030 enumerators were employed temporarily for the Census.
- Each enumerator was assigned to one or two more villages,

### **Supervisors**

- 484 supervisors were employed temporarily for the Census.
- Each supervisor was assigned several enumerators to accomplish their duties which were described in Supervisor's Manual.

9

## **9. Training of local staff, supervisors and enumerators**

- 1) Provincial staff was done twice in the NIS: First 14 and 15 Dec 2010; the second from 17 to 21 January 2011.
- 2) District and commune chiefs was done for a half day on 18 or 25 February 2011 in each province.
- 3) Supervisors and enumerators was done for five days between 14 and 25 February 2011 in each province.
- 4) Core Staff of NIS and the trainers of trainees (hereinafter, it refer to as TOT), which were assigned from among the staff of NIS were charged with the training of the above-mentioned seminars.
- 5) TOTs carried out the duties as ROs and AROs at the stage of the Census-conducting.

10

## **10. Submission of documents to the superior organizations**

- 1) The enumerators submitted the documents including the Census Forms which were scrutinized completely to their supervisor no later than April 1<sup>st</sup> 2011.
- 2) Finally, the Provincial Census Officers submitted the documents to NIS Census officer by the prescribed date of April 2011 after checking them.

11

## **11. Topics to be studied**

- 1) Name of establishment, Address of establishment...
- 2) Sex of representative of establishment and Nationality of owner of establishment
- 3) Registration to Ministry of Commerce or Provincial Department of Commerce
- 4) Names of ministries which have issued a license or an approval for operating the businesses
- 5) Ownership of establishment (Legal status)
- 6) Single unit, head or branch office
- 7) Tenure, Kind and Area of business place
- 8) Year of starting business
- 9) Business hours
- 10) Number of persons engaged by sex, employment status and nationality during one week before 1<sup>st</sup> March 2011
- 11) Kind of main business activities (Industrial classification)

12

## **11. Topics to be studied**

- 12) Number of branch offices
- 13) Total number of entire regular employees at the end of December 2010
- 14) Kind of main and second main business activities as the entire enterprise
- 15) Does this establishment or this enterprise keep Balance Sheet and Income Statements?
- 16) Total amount of sales, operating expenses, and employees' salaries and wages per day or per month, and number of working days in February 2011 or past recent month
- 17) Total amount of assets at the end of December 2010
- 18) Total amount of equity held at the end of December 2010
- 19) Total amount of non-current liabilities at the end of December 2010
- 20) Total amount of current liabilities at the end of December 2010
- 21) Total amount of revenues and expenses during 2010, under "Accrual basis accounting" which records revenues and related expenses during 2010.

13

## **12. Tabulation and Data processing**

- 1) Preliminary Results  
The data of the Establishment Lists and Summary Sheets were checked and tapped in the computer in NIS, and were tabulated as the Preliminary Results.
- 2) Final Results
  - a) Manual editing and coding are being done at NIS by province one after the other immediately after NIS receives the Census Forms and related documents and keeps them systematically in the storage in NIS building.
  - b) The data entry is being done manually and the computer editing and the tabulation will be done.
  - c) This work will be done by province one after the other in NIS.

14



## 12. Tabulation and Data processing

### 3) Analysis of the results

The results will be analyzed from various viewpoints.

4) National Atlas Statistical maps of the country and each province will be compiled.

### 5) Database

Databases will be constructed for more academic analysis and as the master sampling frame of various economic sampling surveys.

15

## 13. Dissemination

1) Preliminary results were released on 8 August 2011

2) Final Results

a) Basic results on national and province are to be released by March 2012

b) Detailed results are to be released by March 2013

3) Results of Analysis are to be released by October 2012

4) National Atlas is to be published by July 2012

5) Databases are to be constructed by March 2013.

- ✓ Publications
- ✓ CD
- ✓ Website
- ✓ Workshop
- ✓ National level
- ✓ Provincial level

16

## **14. Statistical Tables to be produced**

National, province, district, commune and small area:

- 1) Distributional statistics cross-tabulated by various topics
- 2) Average amount of sales, expenses etc. per establishment or enterprise classified by selected topics.

## **15. Safekeeping of the Census Forms and other related documents.**

### **16. Mapping**

Village Boundary Maps were drawn on the basis of Village Maps of 2008 Population Census

### **17. Pretest and pilot survey**

#### **1) Pretest**

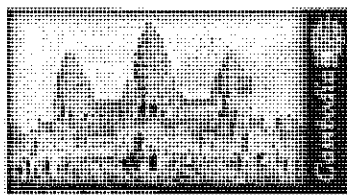
The pretest was carried out in around 15 Villages in Phnom Penh city as of 15 December 2009 for two weeks.

#### **2) Pilot survey**

17

## **18. Post-census stage's business**

- 1) Post Enumeration Survey was carried out in July 2011 in order to analyze coverage errors and content errors of the Census.
- 2) The Inter-censal Economic Survey is planned to be carried out in 2014 on the basis of the database constructed on the Census data in order to provide updated statistics on economic activities of establishments and enterprises of the country.



**Thank you for  
your attention**

18

# Progress Report on CIPS 2013

By:

**Meng Kimhor**  
Deputy Director General  
National Institute of Statistics  
Ministry of Planning  
Cambodia  
[www.nis.gov.kh](http://www.nis.gov.kh)

## Content

- Activities have done**
- Activities for 2013**
- Technical Assistant**
- Funding**

## Activities have done

- CIPS 2013 documentations had been completed
- Household questionnaires, Forms, and Houselist Stickers
- Manuals (Enumerator's manual, Supervisor's manual, Training guide manual)
- Draft for coding/editing manual, data entry manual and data entry program
- Guideline on duty of field official,
- Maps (Village map update, EA map update and Blank EA map) through conduction of field mapping and checking.
- Plans (Tabulation and data processing)
- Sampling Design and draft Sampling Note ( with the total number of PSUs is  $28,650/30 = 955$  PSUs/EAs)
- update village frame (955 villages) and
- List of priorities table for analysis
- The CIPS training materials for 2013 printed

## Activities for 2013

- Conduct training 1462 field staff of ROs, AROs, PCO, DPCO, Supervisors and Enumerators
- Conduct the 2013 CIPS field data collection
- Conduct training 60 staff on editing/ coding and data entry staff
- Editing and Coding and data entry for 3 months
- Data cleaning tabulation, data users workshop and analysis reports
- Release General Report on CIPS
- Conduct data users workshop on analysis of 7 topics and 24 provinces reports

## Dissemination by print media



- ❑ General Report on 2013 CIPS
- ❑ Analytical Reports by Topics:
  - 1) Fertility and Mortality
  - 2) Population Growth and change in spatial distribution
  - 3) Nuptiality
  - 4) Gender and age composition
  - 5) Disability
  - 6) Migration
  - 7) Literacy and education attainment
  - 8) Economic activity and employment
  - 9) Commuting
  - 10) Housing amenity
  - 11) Family and households
  - 12) Women In Cambodia
  - 13) Population Projections of Cambodia
  - 14) Urban Development in Cambodia
  - 15) Demographic of Population Ageing in Cambodia
- ❑ Wall maps/charts and census thematic atlases
- ❑ Priority Table at National and Provincial Level by topics.

## Electronic Dissemination products



- ❑ Off-line electronic dissemination products
  - Table Retrieval System (TRS)
  - Community Profile System (CPS)
  - Population Database
  - Mapping Application
  - CamInfo
  - CensusInfo
- ❑ On-line census dissemination
  - Statics Website
  - Dynamic Website
- ❑ Other Electronic products



## Technical Assistant

- JICA expert
- CIPS 2013 consultant (UNFPA)
- Sampling consultant (UNFPA)
- Data processing consultant (UNFPA)

## Funding

- UNFPA ?
- JICA ?
- Royal Government of Cambodia ?
- Budget Plan for CIPS 2013 (US\$ 701,817.00)
- Budget Estimate from June 2011 to  
December 2012 = **US\$ 989,337.78**

**Thank you for pay  
attention**



# **Progress Report of the 2014 Inter-censal Economic Survey**

**Presented by :Mr. Khin Sovorlak, DDG,NIS**

1

## **Contents**

- 1. Work Plan**
- 2. Outline of 2014 CIES**
- 3. Sampling Design for 2014 CIES**

2

## **DONE**

- **CIES work plan, Organization had already been done**
- **6 Senior Census Officers had already been appointed**
- **CIES-TC had already been created and conducted 1<sup>st</sup> meeting on 21<sup>st</sup> August, 2012**
- **Outline of the CIES 2014 had already been prepared**
- **Sampling design had already been done**

3

## **Discussion points in 1<sup>st</sup> CIES-TC**

- Coverage
- Topics
- Provincial Coordinator
- ARO
- E-Survey
- Short form and long form

4



**WORK PLAN**  
**(July 2012 to March 2015)**

- **Pretest**
  - 15 villages in P.P will be selected for CIES pretest
  - May 2013 will be appointed ROs and AROs
  - June 2013 training of enumerators and supervisors and field operations will be done
  - Form, manuals reviewed and revised if necessary
- **Mapping**
  - Nov 2013 Updated villages/EA maps for enumeration will be done
  - Dec 2013 Scrutinized villages/EA maps for enumeration

5

**WORK PLAN**  
**(July 2012 to March 2015)**

- **Procurement**
  - Dec 2013 to Jan 2014All survey forms, manuals, and related documents will be printed
- **Enumeration**
  - Dec 2013 ROs and AROs and provincial staff will be appointed
  - January 2014 Enumerators and Supervisors will be recruited and trained 5 days in February 2014
  - Enumeration will be done and finished completely during one month ( 1<sup>st</sup> to 31 March, 2014)

6

## **Outline of 2014 CIES**

- **Objective of the Survey**
  - a) to keep and improve the knowledge and skill required to conduct economic census and survey,
  - b) to update and maintain the directories of establishments and enterprises for the sampling frame of various sample surveys on businesses,
  - c) to collect information on establishments and enterprises,
  - d) to provide basic statistical data on establishments and enterprises for national and local policy planning three years after the 2011 Economic Census.

7

## **Outline of 2014 CIES**

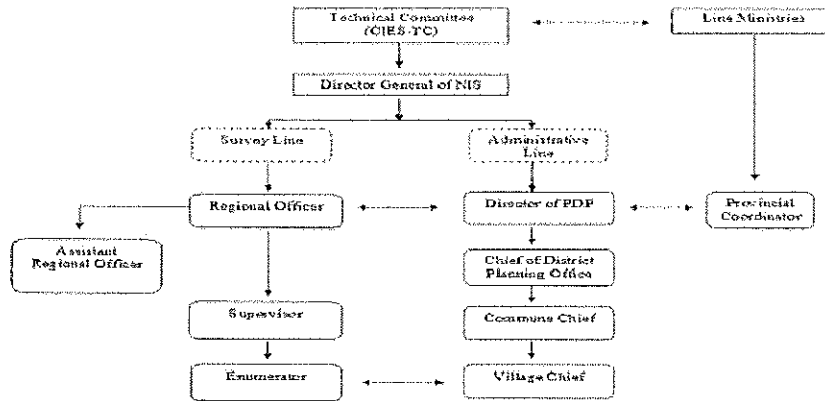
- **Legal basis of the Survey**
  - Statistics Law, article 8, 9
  - Sub decree of 2011 Economic Census
- **Coverage of the Survey**
  - Establishments classified into section A, O, T and U are excluded from the Survey
- **Survey Items**
  - Same as 2011 Economic Census

8

# Organization Chart of 2014 CIES

Organization Chart of 2014 Cambodia  
Inter-censal Economic Survey (CIES)

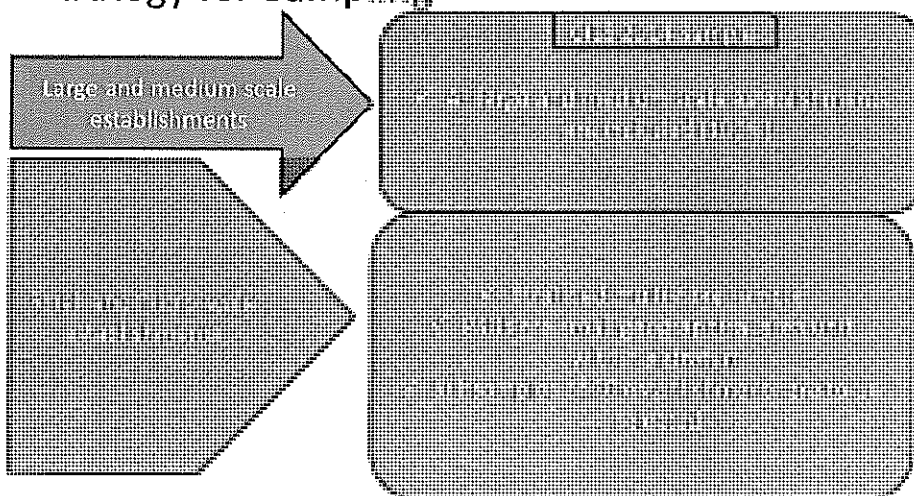
26 July 2012  
F. Nida, ICA Expert



9

# Sampling Design for 2014 CIES

- Strategy for Sampling



10

## Sampling Design for 2014 CIES

- Stratification of EAs
- EAs are stratified into three strata according to industrial characteristics
- Dominating industry
  - B- F
  - G- I
  - J- S

11

## Allocation of EAs to strata

- Number of EAs to be enumerated is a bout 500 (3%) taking into consideration
- Sample EAs are allocated to 3 strata proportionately to size in terms of number of EAs in each province.
- 20 EAs allocated equally to all provinces (480 Eas) or
- 30 EAs to 6 largest provinces (540 Eas)



សូមអរគុណ

Thank you for your attention! <sup>12</sup>



JICA MID-TERM EVALUATION OF PROJECT ON IMPROVING  
OFFICIAL STATISTICS IN CAMBODIA, PHASE III  
11 DECEMBER 2012

## Progressive Report on SMALL AREA STATISTICS

for Improvement of Statistical Technology in Provincial Departments of Planning  
Period Cover: 2011 and 2012

By KIM NET,  
DEPUTY DIRECTOR OF SOCIAL STATISTICS DEPARTMENT,  
NATIONAL INSTITUTE OF STATISTICS,  
MINISTRY OF PLANNING  
E-mail: [kimnet2010@yahoo.com](mailto:kimnet2010@yahoo.com)  
[kimnett@gmail.com](mailto:kimnett@gmail.com)

### 1. Introduction

- The Small Area Statistics Sub-project for Improvement of Statistical Technology in the Provincial Departments of Planning is one of the most important activities executed under the "JICA Project on Improving Official Statistics in Cambodia (Phase 3)".
- The SAS Subproject is carried out for a period of three years beginning from April 2011.
- SAS covers all provinces in the Kingdom of Cambodia mainly for strengthening information and communication technologies and improving technologies of tabulation, analysis and dissemination of statistics especially in the PDPs

- SAS is implemented in 2 stages, first stage and second stage in every fiscal year (FY):
  - First stage emphasizes on computer room renovation, training on SAS tabulation, SAS statistical map, and internet training.
  - Second stage emphasizes on SAS analysis and SAS report compilation.

## 2. Objectives

The SAS Subproject aims:

- a. to strengthen ICT of the PDP concerned;
- b. to improve technology for tabulating basic statistics on small areas such as communes, villages from micro data (individual data) possessed by the PDP;
- c. to develop methodologies for producing small area statistics, analytical summary tables, statistical graphs and maps, and analytical reports of the provincial situation in its jurisdiction on the basis of the statistics produced and possessed by the PDP; and
- d. to build up methodologies for dissemination of statistics in the PDP.
- e. to improve the above-mentioned technologies and methodologies in NIS.

### 3. Outcome

- The final goals of the SAS Subproject are:
    - a) to make statistical staff of the PDPs and National Institute of Statistics learn sophisticated technologies and methodologies for statistical activities, through which the official statistics of Cambodia can be developed sustainably, and
    - b) to publish a statistical report titled “Population, Households and Establishments of XXX Province” as part of dissemination of statistics.
- This report is exactly one of the outcomes of the SAS Subproject.

### 4. Period and target provinces

Period 2013-2014	On going 2012-2013	Will be done 2013-2014
<b>5 Provinces:</b>	<b>9 Provinces:</b>	<b>9 Provinces:</b>
Banteay Meanchey	Banteay Meanchey	Phnom Penh
Kampong Chhnang	Kampong Chhnang	Preah Vihear
Preah Vihear	Preah Vihear	Prey Veng
Kampong Speu	Kampong Thom	Kampong Speu
Kampong Speu	Keap	Ratanak Kiri
Prey Veng	Kah Kong	Stung Treng
	Kratie	Stung Treng
	Mondul Kiri	Oddar Meanchey
	Preah Vihear	Kantol

## 5. SAS Activities Completed in FY2011 to FY2012

### 5.1 Completed computer room renovation

- 15 computer rooms were renovated in the Provincial Planning Departments (PDP)

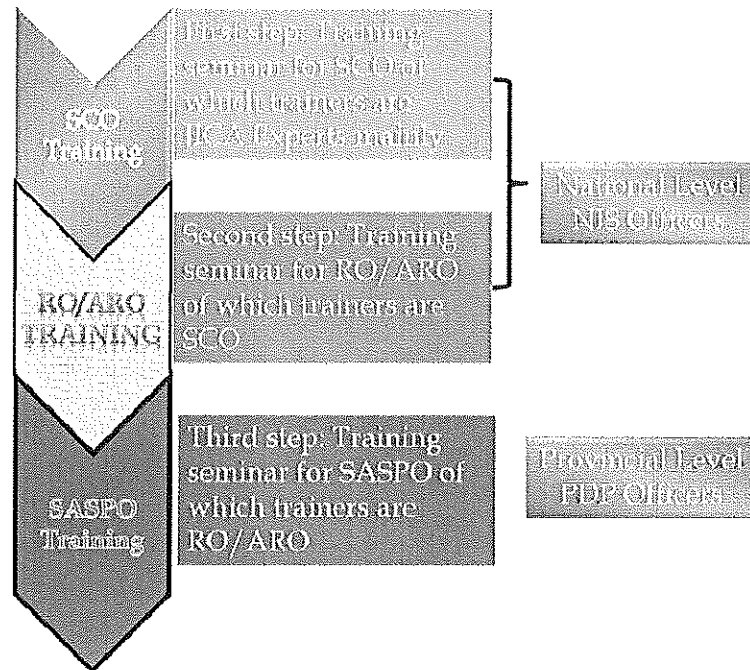
Province	Province Capital	Province	Province Capital
Battambang	Stung Treng	Kampong Chhnang	Prey Veng
Kampong Cham	PDPs	Pursat	PDPs
Kandal		Banteay Meanchey	
Siem Reap		Palin	
Preah Sihanouk		Kampong Thom	
Takeo		Kratie	
		Mondul Kiri	
	Koh Kong		
	Keap		

### 5.2 Machineries and Equipment provided for 15 PDPs

Sr	Machineries and equipment	Quantity
1	PC with MS-Office, acrobat, and Anti-virus	30
2	Printer	15
3	USB Modem	30
4	External HDD	15
5	Flash Disk	30
6	Projector	15
7	White Screen	15
8	white board	15
9	Photo copier	15
10	Slide pointer	15
11	Air conditioner (AC)	15



### 5.3 SAS training course conducted



### 5.4 Number of Trained-SAS Participants

#### At the national level:

➤ 7 Senior Commanding Officers (SCO) was trained by JICA Experts in FY2011 at the NIS.

➤ 15 Regional Officers (RO) and 45 Assistants Regional Officers (ARO) were trained by SCO at the NIS.

➤ SCOs, ROs, and AROs are the NIS officers

#### At the provincial level:

➤ 48 SAS Provincial Officers (SASPO), 3 of each province were trained by RO and ARO who were dispatched from the NIS.

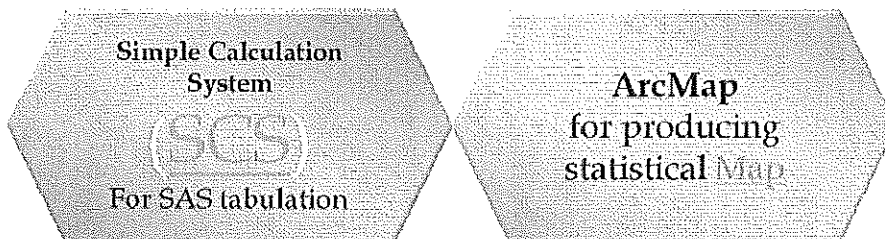
➤ Most of SASPO were assigned from Statistics Office in PDP.

## 5.5 Main Topics and Software used for SAS

### Main topics:

- Tabulation using Micro data of 2008 Population Census and 2009 Establishment Listing.
- Producing SAS statistical map
- Internet training
- SAS analysis and SAS report compilation

### Main software:



## 5.5 SAS Sample Report and Manuals

### A- SAS Sample Report :

- A sample SAS report of Banteay Mean Chey province was analyzed and written by JICA Experts and given to SASPOs as a sample for producing the same one for their respective province.

### B- SAS Documents and Manuals produced

- SAS Sub-project for Improvement of Statistical Technology in Provincial Department of Planning.
- SAS work plan in FY2011 and FY2012
- Basis Rules of Using Micro Data of 1998 and 2008 General Population Census of Cambodia; and 2009 Nation-wide Establishment Listing for Small Area Statistics
- Lecture note of Basic Excel.
- Lecture notes of Simple Calculation System (SCS)
- Lecture note of ArcMap

## **5.6 Field supervision and On-the Job Training**

### **A- Field supervision**

- Field supervisions were done during the SAS trainings in the PDPs in both first stage and the second stage.
- JICA Experts also visited some of 15 provinces.
- Six SCOs also supervised in all 15 provinces by divided into 2 groups. Group 1 consisted of H.E. Mr. Hor Darith, Mr. Kim Net, Mr. Khoun Sithana. Group 2 consisted of Mr. Sin Serey Vuth, Mr. Lay Sophat, and Ms. Hang Phally.

### **B- Conducted On-the Job Training (OJT)**

- OJT is one of the training methods which trainers train trainees who are working at their working place.
- OJT was carried out in working place of PDP by RO/ARO and sometimes by SCO in order to make up the training seminar.
- SCOs, ROs, and AROs were dispatched from NIS to PDP for implementing OJT.

### 5.7 SAS Reports by PDPs

- Six SAS reports of six provinces have been produced and ready for printing.

### 6. On going and planned activities

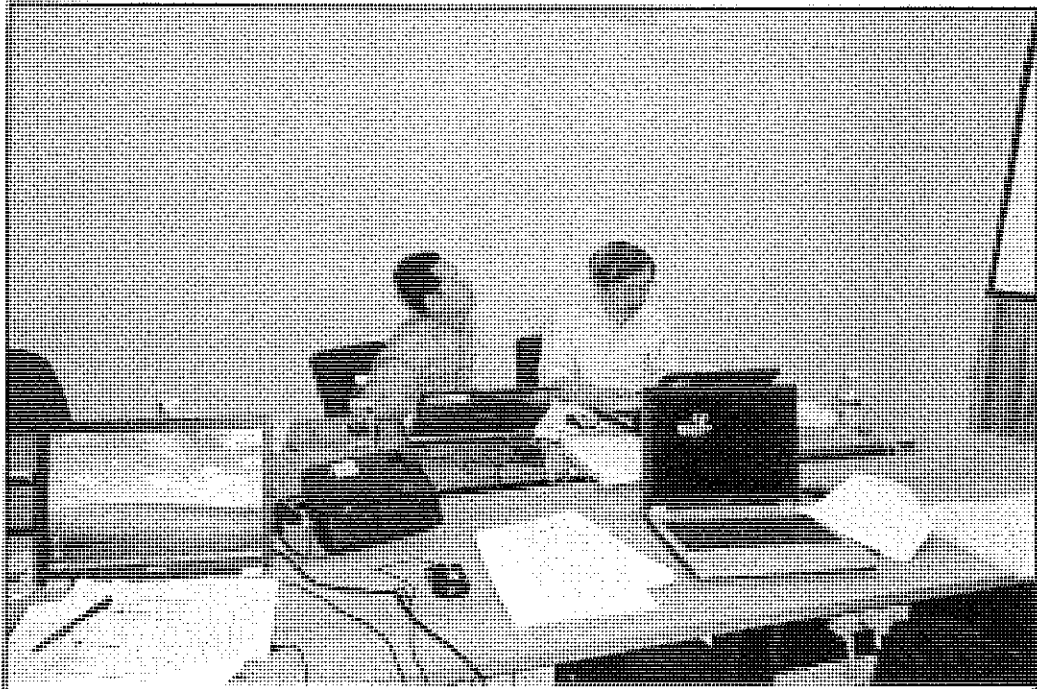
- SASPOs of none provinces are producing SAS report in Kampong Chhnang, Pursat, Banteay Meanchey, Pailin, Kampong Thom, Kraties, Mondul Kiri, Koh Kong, and Kep. These 9 report are required to finish by end of March 2013.
- Some of PDPs has submitted request letters to NIS to dispatch ROs and AROs for providing technical assistance to compile the report.
- Consider to dispatch ROs, AROs, and SCOs from NIS.

- Checking SAS reports by RO, AROs, and SCO when SASPO submit in March 2013.

- Printing six SAS reports.

### Next SAS in FY 2013 and 2014

The third FY2013	The fourth FY2014
5 Provinces	4 Provinces
1- Phnom Penh	1- Prey Veng
2- Preah Vihear	2- Ratanak Kiri
3- Oddar Meanchey	3- Stung Treng
4- Svay Rieng	4- Kampong
5- Kampong Speu	



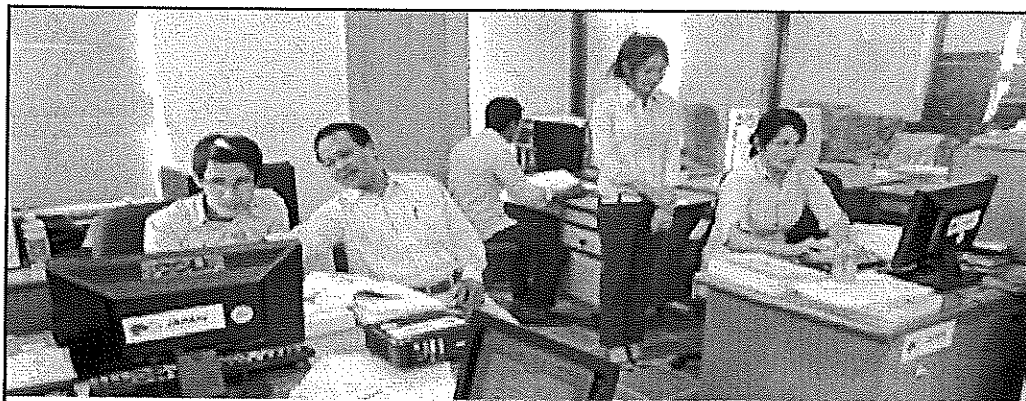
**Senior Commanding Officer Training  
Trained by JICA Expert**



**Regional Officer & Assistant Regional Officer Training at NIS  
Trained by SCO**



**Opening SAS Training in Kandal Provincial Hall  
By Secretary of State, Ministry of Planning**



**SASPO Training in Siem Reap PDP on SAS  
by RO and ARO of NIS**

**Thank Very Much for Your Kind Attention**

**NIS Website: [www.nis.gov.kh](http://www.nis.gov.kh)**



